

V 研究・研修及び実習・講師派遣

1 診療関係研究

C.P.C開催内容

通 常 型	開催番号	年月日	剖検番号	症例事項名	主治医	病理担当
	第369回 (合同第83回)	H26.6.18	S-1968	自己免疫性肝炎 + 血栓 性血小板減少性紫斑病	染谷 剛	清水 與一
	第370回	H26.7.16	A-5999	原発不明癌 (膵癌疑い)	有泉 健	杉浦 仁
	第371回	H26.9.17	A-6009	心筋梗塞 + 化膿性壁在 血栓	高橋 賢至	尾原 健太郎 杉浦 仁
	第372回 (合同第84回)	H26.11.19	A-6004	全身性結核症	萬谷 京子	西村 瑤子 杉浦 仁

各診療科カンファレンス状況

各科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
内科	週1回	週1回	月1回	内科 (週1回) 循環器 (週1回) 内視鏡 (週1回) リウマチ (週1回) 腎臓 (週1回) 神経 (週1回) 呼吸器 (週1回) 総診 (週1回) 消化器 (週1回)
精神科	週1回			病棟カンファレンス (週1回) 医局カンファレンス (週1回) 病棟回診 (週1回)
小児科 新生児内科	週1回	週1回		神奈川県下10病院合同症例検討会 (年1回) 川崎市小児科医会症例検討会 (年2回) 病棟回診 (週2回) カルテ回診 (週1回) 慶大小児科高橋教授回診 (月2回) X線画像カンファレンス (週1回) 症例検討会 (月2回)
外科	週1回	月1回		部長回診 (週1回) 術前・術後カンファレンス (各週1回) 消化器カンファレンス (隔週) 救急外科カンファレンス (不定期) 合併症カンファレンス (不定期)
脳神経外科	週4回	適宜		脳神経カンファレンス (週1回) カルテ回診 (週1回) 術前カンファレンス (週1回) 病棟カンファレンス (週1回)
整形外科	週1回	月2回	年2回	X線画像カンファレンス (週5回) 入院患者カンファレンス (週1回) 全体カンファレンス (月1回)
形成外科	週1回	月1回	年2回	術前カンファレンス (週1回) 抄読会(月1回) 同門会 (年2回)
心臓血管外科	週1回			循環器合同 (週1回) 術前カンファレンス (週1回)
皮膚科	週1回	月1回		皮膚病理 (週1回) 市皮膚科医会症例検討 (年2回) 県7病院症例検討会 (年3回)
泌尿器科	週2回			術前カンファレンス (週1回) 病棟カンファレンス (週1回)

各 科	検討会	抄読会	研究会	各カンファレンス内容
産 科 ・ 婦 人 科	週 1 回		年 2 回	ハイリスク症例検討（週 1 回） 手術症例検討会（週 1 回） 勉強会（月 2 回） カルテ回診（週 1 回） 放射線カンファレンス（月 1 回）
眼 科	週 1 回	月 1 回		術前カンファレンス（週 1 回）
耳鼻咽喉科	週 4 回	週 1 回		術前カンファレンス（週 1 回） 病棟カンファレンス（週 1 回） 癌治療カンファレンス（週 1 回） 耳鼻科・放射線合同カンファレンス（週 1 回） 耳鼻科・リハ科合同嚥下カンファレンス（月 1 回）
放 射 線 診 断 科	月 1 回		月 1 回	放射線科画像カンファレンス（週 1 回） 消化器画像カンファレンス（月 2 回） 小児科画像カンファレンス（週 1 回） 産婦人科画像カンファレンス（月 1 回） 呼吸器画像カンファレンス（週 1 回） 脳神経カンファレンス（週 1 回）
放 射 線 治 療 科	週 1 回			耳鼻科・放射線治療科合同カンファレンス
麻 酔 科	毎日	月 2 回		術前カンファレンス（週 5 回） 症例検討会（月 1 回）
リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	週 1 回	月 1 回		リハビリテーション科カンファレンス（上肢月 2 回）（下肢月 2 回） 耳鼻科・リハビリテーション科合同嚥下カンファレンス（月 1 回） 摂食嚥下ランチ回診、カンファレンス（月 2 回） SCU部会（月 2 回） NSTカンファレンス（週 1 回） NST部会（月 1 回） 神経カンファレンス（週 1 回） 整形外科カンファレンス（週 1 回）
歯科・口腔外科	週 1 回	適宜	年 3 回	カンファレンス（週 1 回） 川崎病院症例検討会（年 3 回）
救 急 科	週 14 回	月 4 回		総合カンファレンス（週 1 回）、研修医症例レビュー（週 1 4 回）

2 院内研究交流会 平成27年3月5日(木) 18:00~19:50

演 題	演 者	所 属
救命救急センターにおけるTeenSTEPの取り組みについて ～ブリーフィング・ハドル・デブリーフィングを導入して～	松 下 貴代子	救命救急センター
電子カルテ連携バイタル測定機器の院内評価結果	檜 林 敦	システム運用検討部会
当院におけるフェンタニル速報性製剤の使用状況調査	木 田 貴 子	薬剤部
平成26年度不具合・破損連絡用紙に関する報告	芝 真 佐 樹 菊 地 寿 人 山 下 絵 里 門 間 栄 菜 井 汲 康 典 高 森 修 平 山 口 和 哉 中 尾 一 俊 安 藤 嘉 門 菅 規 久 子 森 田 慶 久	MEセンター 麻酔科
新たなセルブロック作製法の導入と今後の活用方法について	杉 山 早 絵	検査科・病理検査室
リハビリテーション部門と内科モデル病棟(14S)との連携による在宅復帰困難者軽減を目指した試み	中 村 優 太 小 島 巖 山 口 さと美 尾 原 恵 美 日 景 歩 宿 田 友 子 伊 藤 真 梨 田 中 君 枝	リハビリテーション科 脳血管 チーム 14S病棟 看護師
個人被ばく線量計について	小 林 水 紀	放射線診断科・放射線管理室
当院におけるSGA評価の現状について	亀 山 亜希夫 金 澤 美穂 長 澤 恵梨子 清水谷 弘美 太 田 博 子 樋 口 直 美 井 上 彰 大 坪 田 結 香 内 海 俊 一 吉 田 稔 細 田 智 弘 土 井 賢 治 渡 部 桂 子 伊 藤 真 梨 井 上 健 太郎 津 村 和 大	食養科 薬剤部 総合診療科 感染症内科 救急科 リハビリテーション科 内科

脳腫瘍摘出術（覚醒下手術）に対する取り組み	富林訓之 鈴木木見香 出植田要 植山山良 片山山真 森田慶 吉野華久 菜	看護部 脳血管外科 麻酔科
当院初期臨床研修医による血液培養コンタミネーションに関する検討	安東一樹 高聖山琴 郡山川和 白川朋宏 竹原麻実 橋本麻亮 花田太 廣瀬大 渕田幹 前田裕 津村和	初期臨床研修医 (2013年度入職) 内科 教育指導部 臨床研究支援室
14S病棟とリハビリテーション科連携における廃用・在宅復帰困難チェックリスト(Bartel Index)の介入効果の検討 ～「できるADL」と「しているADL」の比較	小島巖 中山村優 山口さと 尾原恵美 日景歩 宿田友子 伊藤真梨 田中君枝	リハビリテーション科脳血管チーム 14S病棟 看護師
手術安全チェックリストの効果 ～手術安全チェックリストとは～	石井容子 野村里織 佐藤律子 眞藤祐子 葛西香菜 出水要紗 掛水敏子 竹中裕夫	看護部 手術部
RSI活動報告	吉田龍也 大川順子 高橋貴子 小澤康子 森田慶久 安藤嘉門 中尾一俊 高森修平 門間恵菜 井口絹枝	看護部 麻酔科 臨床工学技士 医療安全室
病棟専任栄養士におけるミールラウンドについて	清水谷 弘 美	食養科 13N病棟 看護師

嚥下障害を伴う患者に対する栄養サポートチーム介入の分析	金澤美穂 亀山亜希夫 長澤恵梨子 清水谷弘美 太田博子 樋口直美 井上彰大 坪田結香 内海俊一 土井賢治 渡部桂子 伊藤真梨 井上健太郎 津村和	食養科 薬剤部 救急科 リハビリテーシ ョン科 内科
川崎病院栄養サポートチーム活動の現状と課題	内海俊一 坪田結香 井上彰大 阿部正	薬剤部
レボフロキサチン内服による腎機能障害	井上彰大	薬剤部
針刺し損傷・インデンドレポーター等の過少報告に関する検討	玉城博章 朝比奈祐一 有田祐起 小川卓範 木下卓葵 高橋水菜 田中香尋 津軽千尋 津崎盾哉 西浦美穂 脇坂悠介 倉持悠信 新增谷花々 津村本村和	初期臨床研修医 (2014年度入職) 内科 教育指導部 臨床研究支援室
川崎市立川崎病院小児科における臨床能力評価の導入	津村由紀 安藏慎 檜林敦 後藤正之 荒木耕生 吉田祐 本田堯 三谷麻里 江原和美 長田枝利 鳥居健一 番場正博	小児科

3 看護研究発表会

(1) 事例研究

第17回 院内発表会

① 平成26年11月29日(土) 13:00~16:40

研 究 テ ー マ	研 究 者	所 属
終末期患者が看護師に求める事 ～看護師がそばにいることの意味とは～	石部 未来	14階南病棟
ターミナル期の在宅支援が必要な患者との関わりを振り返りから 学んだこと	中村 絵美莉	14階南病棟
終末期にある患者、家族への退院支援についての振り返りから学 んだこと	中村 亜希	14階南病棟
心不全患者に対する退院指導	高瀬 瑤子	13階北病棟
心筋梗塞を発症した糖尿病への退院後の生活指導について振り返る	小野 詩央里	13階北病棟
緊急入院にてストーマを造設した患者への看護介入	石井 汀	11階北病棟
ケアを拒否する高齢・単身者に対する関わり	室 朱美	11階北病棟
疼痛を訴える患者との関わりを通して	高木 怜美	11階南病棟
統合失調症患者の清潔ケアへの看護	中村 咲貴	9階北病棟
認知症患者の不安感を助長させないための関わり合い	小野寺 賢	9階北病棟
手術患者の羞恥心への関わり	眞榮田 和恵	手術室
羞恥心に配慮したかわり	梅 英里奈	手術室

② 平成26年12月6日(土) 9:00~14:30

研 究 テ ー マ	研 究 者	所 属
インスリン注射・血糖測定を行う患者との手技獲得までの関わり	菅野 久乃	12階北病棟
術後抑うつ状態となった患者の看護	岡田 美莉	12階北病棟
ターミナル期にある患者との関わり	中村 麻衣	12階北病棟
ケアを拒否する幼児後期の児に対する効果的な関わり	松本 彩佳	8階南病棟
退院に前向きでない家族に対する在宅支援に向けた関わり	磯本 奈苗	8階南病棟
ストレス反応がある児への効果的な関わり	佐藤 佳奈	NCU・CCU
初めて手術を受ける患者とのかかわりの中で学んだこと	酒井 智穂	手術室
突然上下肢麻痺となった患者の変化に環境がどのように影響したか	岡部 奈未	9階南病棟
呼吸困難を訴える患者への関わり ～タッチングと呼吸介助法を通して～	城詰 和貴	9階南病棟
離床が困難だった患者への関わりについて振り返る	藤本 望	ICU・CCU

研 究 テ ー マ	研 究 者	所 属
クリティカル領域におけるターミナル期の家族との関わりを振り返る	大田 美樹	ICU・CCU
全盲でターミナル期における食事介助について	三塚 夏美	14階北病棟
終末期において身体的苦痛が強い患者への関わりを振り返って	黒島 思央利	13階南病棟
苦痛の強い終末期がん患者との関わりを振り返って	原 加奈	13階南病棟
脊髄損傷の障害受容過程	上野 ちなみ	10階南病棟
高齢者の術後における心理過程の変化	蓮見 彩	10階南病棟
術後リハビリ期患者の意欲低下に対する介入を通して学んだこと	田中 亜季	10階南病棟

(2) 看護研究

第 69 回 院内発表会

平成 27 年 1 月 31 日 (土) 9:00~14:30

研 究 テ ー マ	所 属	発 表 者	研究メンバー
インシデントを体験した看護師に必要なソーシャル・サポートに関する考察	11階北病棟	水嶋 真帆	後藤 京子 天野 梓 鈴木 美賀
総合病院A精神科において、看護師が求めるメンタルサポートを明らかにする	9階北病棟	久米 直	片山 敦子 若林 美幸
「手術安全チェックリスト」を導入しての追跡調査 ～導入後、5年が経過しての手術安全チェックリストの現状と評価～	手術室	葛西 香菜紗	野村 里織 石井 容子 佐藤 律子 眞弓 祐子
救命救急センターにおける p - m SHELL モデルをもちいた気管内チューブ抜去の要因分析 ～気管内チューブ自己抜去の事例を通して～	救命救急センター	深沢 由美	金子 幸絵 清水 麻紀
退院調整に関わる 1 年目から 3 年目看護師の課題	12階北病棟	砂田 有貴子	石川 詩織
心不全で入退院を繰り返す患者や家族に対する退院指導の現状と課題	13階北病棟	根岸 愛	荒井 絵理 五十嵐 有紀 河野 彩夏 大野 亜由美
手術室看護記録の評価 ～術前情報との継続性に焦点を当てて～	手術室	小野塚 梨恵	小野塚 梨恵 山本 こづえ 江澤 朋絵 久野 昭子
肩関節手術後の患者の術前オリエンテーションの検討	10階北病棟	奥田 裕美	上野 瑞穂 大坂 榮子 盛永 紀

研究テーマ	所属	発表者	研究メンバー
骨盤ケアの提供に向けたスタッフへのアプローチ～効果的な指導方法の検討～	8階北病棟	丸山 由紀	丸山 由紀 山村 沙由里 大平 優香
母乳育児支援の充実にに向けた取り組み～スタッフのニーズアンケート調査を基にロールプレイを取り入れた効果～	8階西病棟	坂本 久美子	高橋 礼子 八畝 照与 塙佐 智子
初めての死産に関わった助産師の心理過程	8階北病棟	星野 夏樹	小松 由佳 倉原 愛未 市川 清美
口腔ケアを必要とする患者に対しての看護師のアセスメント能力と実践能力の実態調査	14階南病棟	中村 宏美	鶴田 典子
口腔ケアにおける強化プログラムの検証	12階南病棟	本多 小百合	波多野 くるみ
内科病棟における便秘の現状と看護師の便秘に対する認識とケアの実態	13階南病棟	早津 美雪	坂本 晴香 武樋 寿子 秋元 孝太

(3) 院外看護研究派遣者

No.	演題名	氏名	学会名	発表日
1	患者の安全と看護師の安全を守るコールB（モバイル型緊急コールシステム）の導入	吉崎 弘之	第39回日本精神科看護学会	6月7日
2	下肢救済した難治性糖尿病性足潰瘍の1症例	牛込 志乃	第6回日本下肢救済・足病学会学術集会	6月28日
3	原因不明の多発性足潰瘍ケアに難渋した1症例	佐藤 江利子	第6回日本下肢救済・足病学会学術集会	6月28日
4	A病院内科外来看護師による糖尿病透析予防指導が、糖尿病患者に及ぼしている影響の実態調査～腎症ステージ別検査データを比較して～	猪野瀬 美樹	第19回日本糖尿病教育・看護学会学術集会	9月21日
5	手術材料の適正管理における意識改革への取り組み～変革理論を用いたアプローチ～	山野 美智子	第45回日本看護学会学術集会 看護管理	9月26日
6	サブリーダーの目標設定活動の効果と評価の実態	岩本 祥子	第53回全国自治体病院学会	10月31日
7	クレームの内容分析から見た小児患者家族の思い	森 沙織	第53回全国自治体病院学会	10月31日
8	精神科病棟に個人用テレビを導入して	荒井 典子	第21回日本精神科看護学会学術集会専門Ⅱ	11月29日
9	ストレス反応がある児への効果的な関わり	佐藤 佳奈	公益社団法人川崎市看護協会 看護研究・活動報告会	2月5日

4 研 修

(1) 看護部 院内研修実施状況

No.	研 修 名	研 修 内 容	実施年月日	参加者 人 数	会 場	講 師
1	新人看護職員入職 ガイダンス（4月）	病院長あいさつ 副院長兼看護部長講話 看護部概要・看護部組織活動 電子カルテ基本操作 三役紹介事務連絡 防災、勤務管理、職員衛生 HS	2014/ 4/ 1 （半日） 2014/ 4/ 14 （1日）	4月採用者 71名	7階 講堂	増田院長 綱島副院長兼 看護部長 中原副看護部長 館山主任 庶務課：水嶋係長、矢 口主任、中村、斉藤、 柴田 管理係：毛利係長 救急部会 研修担当者
2	新人看護職員研修 安全な看護を提供する ために	薬剤管理の基礎知識 安全な与薬方法 院内感染防止と清潔操作 インシデント教訓事例からの 学び 安全な看護を提供するという こと（グループワーク）	2014/ 5/ 16 （1日）	4月新採用者 70名	7階 講堂	阿部副薬剤長 井口担当係長 駒場担当課長 佐藤副主任 研修担当者
3	看護助手研修	医療制度の概要及び病院の機 能と組織の理解他	2014/ 4/ 17 2014/ 4/ 18 14:00-16:00	38名	7階 大会議室	稲部副看護部長 研修担当者
4	新人看護職員 静脈注射技術テスト	静脈注射に関する 技術チェック	2013/ 5/ 23まで （期間内で 実施）	54名	各部署	新人教育担当 副主任会
5	新人看護職員 静脈注射筆記テスト	解剖整理及び実施上の注意 薬理作用と投与方法の注意点	2014/ 5/ 23	55名 （1名既卒）	7階 講堂	研修担当者
6	新人看護職員 静脈注射筆記テスト 追試	解剖整理及び実施上の注意 薬理作用と投与方法の注意点	2014/ 6/ 5	30名	7階講堂、 小会議室	研修担当者
7	新人看護職員 夜勤体験研修	教育担当者とペアで 夜勤体験をする	2013/ 6月～7月	54名	各部署	新人教育担当
8	新人実地指導者フォ ローアップ研修①	自部署における現状から課題 を見出し対策を考えOJTでの 取り組み方法を考える（KI法 ロジックツリー使用しグルー プディスカッション）	2014/ 7/ 8 （3時間）	27名	7階会議室	研修担当
9	新人実地指導者フォ ローアップ研修②	自部署における新人指導の取 り組み課題について発表	2013/ 12/ 5 （3時間）	23名	7階会議室	研修担当
10	新人研修—フィジカ ルアセスメント	呼吸不全、意識障害 講義及 びグループワーク	2013/ 9/ 19 （半日）	49名	7階講堂	集中ケア認定看護師 小澤、吉田 研修担 当
11	新人看護職員臨床研 修（院内留学）	1週間、希望する病棟で看護 を体験する	2013/ 10～11月	48名	各部署	各部署担当者
12	看護記録研修①	各部署別対面指導形式	2014/ 6/ 14	79名	7階 会議室	天理医療大学 永田 明先生
13	看護記録研修②	看護がみえる記録（看護過程 を実践活用し、看護実践の一 連の経過を記録できるように なる）講義及び質疑応答	2014/ 10/ 25	51名	フロラシオ ン新川崎	天理医療大学 永田 明先生

14	看護記録研修③	臨床推論を活用した看護診断の方法の理解（参加型講義）	2015/ 2/ 21	42名	7階講堂	天理医療大学 永田 明先生
15	新人同期会 I	茶話会形式でゲームや自由に語り合う場とする	2014/ 9/ 19 17: 00～18: 00	63名	7階講堂	副主任会
16	HS講習会	HS技術の習得	2014/ 4～ 2015/ 3	各部署未経験者全員	各部署	各部署インストラクター
17	認定看護師による講演（感染管理）	間違いだらけの感染対策	2014/ 5/ 7 17: 30～18: 30	192名	7階講堂	駒場担当課長
18	認定看護師による講演（集中ケア）	みて、聴いて、感じる呼吸アセスメント	2014/ 6/ 4 17: 30～18: 30	235名	7階講堂	吉田 龍也
19	認定看護師による講演（うつ病看護）	看護師のうつ	2014/ 7/ 2 17: 30～18: 30	97名	7階講堂	吉崎 主任
20	認定看護師による講演（緩和ケア）	シューカツ（終活）看取り看取られる準備	2014/ 8/ 6 17: 30～18: 30	108名	7階講堂	塩津 未季
21	認定看護師による講演（救急看護）	おかしいな？のサインを見逃さない	2013/ 9/ 4 17: 30～18: 30	154名	7階講堂	松下 貴代子
22	認定看護師による講演（皮膚排泄ケア）	自宅でやる褥創のケア	2013/ 10/ 2 17: 30～18: 30	160名	7階講堂	佐藤副主任 牛込副主任
23	認定看護師による講演（がん化学療法）	がん化学療法の副作用とケアの実際	2014/ 11/ 5 17: 30～18: 30	128名	7階講堂	伊東副主任
24	認定看護師による講演	知っておくと便利こどもの症状サイン・生後まもない赤ちゃんの異常の見分け方	2014/ 12/ 3 17: 30～18: 30	59名	7階講堂	吉川副主任 須貝 美弥
25	認定看護師による講演	脳卒中の患者のケア	2015/ 1/ 7	105名	7階講堂	森 亜沙美
26	認定看護師による講演	誤嚥性肺炎を起こさないためのコツ	2015/ 2/ 4	80名	7階講堂	古瀬 美徳
27	認定看護師による講演	糖尿病患者アセスメントのポイント	2015/ 3/ 4	155名	7階講堂	加藤 里賀子
28	キャリアアップニュース	臨地実習指導者研修、多職種連携推進課程研修参加者研修報告会	2014 / 2/ 5 18: 00- 19 : 00	42名	7階講堂	中津小百合 秤屋 正美 梶 麻乃
29	看護必要度研修	重症度、医療・看護必要度の必要性と評価方法を理解する	2014/ 7～ 2015/ 3	看護師・助産師全員	各部署	記録委員会 各部署研修修了者
30	事例研究ガイダンス	事例研究の目的・取り組み方	2015/ 3/ 13: 00- 15: 00	46名	7階講堂	川崎市立看護短期大学 武内 和子教授
31	担当看護師研修～2年目に向けて	看護経験を振り返り自己の看護観を考察する2年目の役割と責任を考え、課題を明確にする	2015/ 3/ 6 15: 15～17: 00	46名	7階大会議室	綱嶋たかえ 副院長兼看護部長
32	新人同期会 II	茶話会形式でゲームや自由に語り合い先輩からのエールをもらう	2015/ 3/ 6 17: 00～18: 00	57名	7階講堂	副主任会

(2) 検査科 院内研修会実施状況

No.	研修会名	研修内容	実施年月日	参加者数	会場	講師
1	検査科勉強会	臨床検査の将来像	H26. 5. 20	19名	4階会議室	安部 さやか
2	検査科勉強会	グラム染色	H26. 6. 10	18名	4階会議室	殿岡 弘敏
3	検査科勉強会	術中迅速診断について	H26. 8. 12	19名	4階会議室	坂井 瞳
4	検査科勉強会	血液型検査(試験管法)	H26. 10. 14	18名	4階会議室	三津田 太郎
5	検査科勉強会	臨床検査技師の検査説明	H26. 12. 9	17名	4階会議室	山崎 麻未
6	検査科勉強会	細菌検査業務について	H27. 2. 10	18名	4階会議室	金子 誠
7	検査科勉強会	新たなセルブロック作製法、不適合輸血を防ぐ為の検査	H27. 3. 12	20名	4階会議室	杉山 早絵 西乃坊 泰子
8	交流勉強会	臨床工学技士(CE)紹介	H26. 8. 7	9名	7階講堂	高森 修平
9	交流勉強会	業務紹介	H26. 10. 28	10名	7階講堂	斉藤 裕太 安部 さやか 松本 浩二
10	交流勉強会	脳梗塞について	H27. 2. 19	15名	7階講堂	野崎 博之 小菅 友也 山永 麻沙 永井 未知

(3) 放射線診断科・放射線治療科 院内研修会実施状況

No.	研修会名	研修内容	実施年月日	参加者数	会場	講師
1	科内勉強会	放射能汚染に対する養生訓練	H26. 10. 3	20名	7階講堂	小野 欽也
2	交流勉強会	業務紹介	H26. 10. 28	40名	7階講堂	松本 浩二
3	交流勉強会	脳梗塞について	H27. 2. 19	40名	7階講堂	小菅 友也
4	科内勉強会	科内災害対応訓練	H27. 2. 24	20名	放射線科 読影室	災害対策委員

5 院外看護活動

活 動 名	日 程	場 所	参加者
ACLにおける医療活動	平成26年4月1日 平成26年4月22日 平成26年5月7日	川崎等々力スタジアム	松下 貴代子 石井 沙織 尾崎 文人 稲葉 咲子 松本 貴子
神奈川県警主催 合同訓練	平成26年5月27日	浮島J A	塚田 千代子 吉川 佳子
幸署災害医療対応訓練	平成26年6月3日	幸消防署	内海 聡子 横須賀 敬子
川崎MCLSコース	平成26年7月5日 ～7月6日	川崎市立川崎病院	塚田 千代
川崎DMAT出場 高速湾岸線交通事故医療活動	平成26年8月14日	浮島町高速湾岸線	塚田 千代
政府主催広域医療搬送訓練	平成26年8月30日	厚木基地 → 宮崎県新田原基地	吉川 佳子 牧野 弘美
川崎市総合防災訓練	平成26年8月30日	多摩川緑地	小内 夕子 高海 聡子
川崎DMAT出場 大師中学校熱中症医療活動	平成26年9月8日	大師中学校	小高 夕子
ハロウィン救護班	平成26年10月26日	川崎第三庁舎前	鈴木 美香
羽田空港災害訓練	平成26年10月16日	羽田空港	佐藤 順正
DMAT-L 隊員養成訓練 DMAT-L 隊員養成訓練タスク参加	平成26年11月1日 ～11月2日	神奈川県消防学校	内海 聡子 松下 貴代子 吉川 佳子 塚田 千代
川崎DMAT出場 幸区交差点交通事故医療活動	平成26年11月14日	幸区交差点	牛尾 夏希
井田病院災害訓練	平成26年11月15日	井田病院	牛尾 夏希 松下 貴代子
川崎病院災害訓練	平成26年11月22日	川崎病院	牧野 弘美 松下 貴代子 牛尾 夏希 吉川 佳子 塚田 千代
関東ブロック訓練	平成26年11月28日 ～11月29日	群馬県内	牧野 弘美 吉川 佳子 塚田 千代
東部病院災害訓練	平成27年1月18日	東部病院	松下 貴代子 内海 聡子
川崎DMAT 隊員養成訓練タスク参加	平成27年2月19日	犬蔵訓練所	高橋 貴子 佐藤 順正 松本 貴子 古瀬 美穂
川崎DMAT 出場 観音町交通事故医療活動	平成27年2月19日	観音町	塚田 千代
救命救急センター災害訓練	平成27年2月20日	川崎病院ヘリポート	内海 聡子 佐藤 順正 松本 貴子 牛尾 夏希 小高 夕子 高橋 貴子 塚田 千代
川崎MCLSコース参加	平成27年3月1日	聖マリアンナ大学	塚田 千代

6 各科別実習状況報告

科・部	学校・病院名	人数	科・部	学校・病院名	人数	
内科・総合診療科	秋田大学	3名		東京女子医科大学	5名	
	大阪大学	1名		東邦大学	1名	
	香川大学	2名		日本医科大学	3名	
	金沢大学	2名		横浜市民病院	1名	
	北里大学	4名		大浜第一病院	2名	
	京都府立医科大学	1名		亀田総合病院	1名	
	杏林大学	1名		北里大学病院	4名	
	近畿大学	1名		杏林大学病院	2名	
	熊本大学	1名		国保旭中央病院	1名	
	群馬大学	1名		埼玉協同病院	1名	
	慶應義塾大学	13名		坂出市立病院	1名	
	神戸大学	1名		佐野厚生総合病院	1名	
	信州大学	2名		静岡赤十字病院	2名	
	センメルワイズ大学	1名		島根県立中央病院	1名	
	千葉大学	2名		順天堂大学医学部附属練馬病院	1名	
	筑波大学	4名		多摩南部地域病院	1名	
	東京医科歯科大学	1名		東京蒲田医療センター	2名	
	東京大学	7名		東京女子医大東医療センター	1名	
	東北大学	7名		豊橋市民病院	1名	
	名古屋市立大学	2名		虎の門病院	1名	
	奈良県立医科大学	1名		長野中央病院	1名	
	新潟大学	4名		名古屋第二赤十字病院	1名	
	浜松医科大学	1名		横浜市立大学附属病院	1名	
	弘前大学	2名		横浜市立みなと赤十字病院	2名	
	福井大学	2名		精神科	千葉大学	1名
	北海道大学	1名			三重大学	1名
	三重大学	1名			京都府立医科大学	1名
	山口大学	1名			慶應義塾大学	1名
	山梨大学	3名	小児科	佐賀大学	1名	
	横浜市立大学	4名		千葉大学	2名	
	琉球大学	2名		浜松医科大学	1名	
	金沢医科大学	3名		福島県立医科大学	1名	
	埼玉医科大学	1名		和歌山県立医科大学	1名	
	札幌医科大学	1名		横浜市立大学	1名	
産業医科大学	1名		慶應義塾大学	4名		
滋賀医科大学	4名		埼玉医科大学	1名		
自治医科大学	6名		聖マリアンナ医科大学	1名		
順天堂大学	1名		東京慈恵会医科大学	1名		
昭和大学	2名		東京女子医科大学	1名		
東京医科大学	3名		日本医科大学	1名		
東京慈恵会医科大学	10名					

科・部	学校・病院名	人数
外科	新潟大学	1名
	札幌医科大学	1名
	旭中央病院	1名
	順天堂練馬病院	1名
	湘南鎌倉総合病院	1名
	東北労災病院	1名
脳神経外科	高知大学	1名
	筑波大学	1名
	北海道大学	1名
整形外科	筑波大学	1名
	東京大学	1名
	新潟大学	1名
	浜松医科大学	1名
	名古屋市立大学	1名
	慶應義塾大学	1名
	順天堂大学	1名
	昭和大学	2名
	手稲溪仁会病院	1名
皮膚科	東京大学	1名
産婦人科	金沢大学	1名
	高知大学	1名
	筑波大学	1名
	東北大学	1名
	徳島大学	1名
	新潟大学	1名
	浜松医科大学	1名
	デブレツェン大学	1名
	宮崎大学	1名
	慶應義塾大学	1名
	東京女子医科大学	1名
	東邦大学	1名
	板橋中央総合病院	1名
	愛媛県立中央病院	1名
耳鼻咽喉科	北里大学	1名
放射線治療科	新潟大学	1名
麻酔科	高知大学	2名
	琉球大学	1名
	豊橋市民病院	1名
	名古屋掖済会病院	1名
	東戸塚記念病院	1名
	広島西医療センター	1名
	大和市立病院	1名

科・部	学校・病院名	人数
救急科	秋田大学	1名
	大阪大学	1名
	金沢大学	3名
	近畿大学	1名
	群馬大学	1名
	高知大学	1名
	神戸大学	1名
	千葉大学	3名
	筑波大学	4名
	東京医科歯科大学	2名
	東京大学	3名
	東北大学	2名
	新潟大学	5名
	弘前大学	1名
	北海道大学	3名
	横浜市立大学	3名
	金沢医科大学	1名
	北里大学	2名
	慶應義塾大学	7名
	札幌医科大学	1名
	産業医科大学	1名
	順天堂大学	1名
	昭和大学	3名
	聖マリアンナ医科大学	1名
	東海大学	1名
	東京医科大学	1名
	東京慈恵会医科大学	2名
東京女子医科大学	4名	
日本医科大学	1名	
浜松医科大学	1名	
市立横手病院	1名	
国保旭中央病院	1名	
豊見城中央病院	1名	
仙台循環器病センター	1名	

7 講師派遣

(1) 看護師

氏名	派遣場所	担当科目	期間
塚田 千代	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅲ（急性期にある人の看護）	4月22日
松下 貴代子	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅲ（急性期にある人の看護）	4月22日
鈴木 見香	川崎市立看護短期大学	成人看護方法Ⅴ（周手術期にある人の看護）	9月25日
森 亜沙美	川崎市立看護短期大学	看護職のための生涯学習支援講座 Aコース高齢者看護の最前線 転倒・転落の予防	9月27日
佐藤 江梨子 牛込 志乃	川崎市立看護短期大学	排泄への援助	7月19日
佐藤 江梨子 牛込 志乃	川崎市立看護短期大学	看護職のための生涯学習支援講座 Aコース高齢者看護の最前線 褥瘡の予防	8月23日
須貝 美弥	川崎市立看護短期大学	NICU・GCUの紹介と病棟における看護の実際	1月20日
吉田 龍也	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ（クリティカルケア）	11月12日・19日
館山 奈緒子	川崎看護専門学校	成人健康支援論Ⅰ（糖尿病患者の看護）	11月21日・28日
内田 美恵	川崎看護専門学校	母性発達支援論Ⅱ （妊娠・分娩・産褥の異常に対する看護）	11月28日・12月12日・19日
佐藤 江利子	川崎看護専門学校	老年健康支援論Ⅰ （人工肛門をもつ患者の看護）	10月7日
森田 純子	川崎看護専門学校	臨床看護技術Ⅰ（感染予防）	11月25日
武田 玲子 （医療安全管理室）	川崎看護専門学校	医療安全	10月14日
松下 貴代子	川崎看護専門学校	災害・国際看護（災害看護）	9月25日・10月9日・16日
牛尾 夏樹	川崎看護専門学校	災害・国際看護（災害看護演習）	10月16日
眞弓 祐子	医師会准看護学校	臨床看護概論Ⅱ 手術室看護	4月～5月
島田 佳代	医師会准看護学校	運動器看護	5月27日☐6月3日・10日
木村 一美	医師会准看護学校	女性生殖器看護	9月1日・8日・22日・29日
酒井 裕子	医師会准看護学校	臨床看護概論Ⅱ救急看護	9月～19月
武樋 寿子	医師会准看護学校	血液造血器アレルギー看護	4月～5月
小切 容子	医師会准看護学校	泌尿器疾患看護	11月11日
秋廣 代子	医師会准看護学校	腎疾患看護	10月21日・28日・11月4日
高橋 澄江	医師会准看護学校	感覚器看護（耳・口腔）	6月17日・24日・7月1日
小切 容子	医師会准看護学校	感覚器看護（眼科）	7月8日
中久 泰樹	医師会准看護学校	精神看護	4月～6月
岩見 裕司	医師会准看護学校	外科系看護（消化器）	10月1日・8日・15日・22日
新田 優子	医師会准看護学校	母子看護	11月～12月
成田 貴子	医師会准看護学校	小児看護	11月～12月

氏名	派遣場所	担当科目	期間
吉川 紀子	医師会准看護学校	低出生体重児看護	12月19日
大川 順子	病院局	新規採用者研修 基礎看護技術根拠編	5月24日
加藤 理賀子	地域医療機能推進機構	糖尿病患者の理解と看護 I	6月17日
加藤 理賀子	川崎糖尿病懇話会	川崎糖尿病市民講座	4月5日
加藤 理賀子	静岡県看護協会	糖尿病看護「重症化予防のためのフットケア」	12月5日
加藤 理賀子	川崎市キャリア開発センター	糖尿病足病変看護従事者研修（第一回）	6月7日・8日
加藤 理賀子	川崎市キャリア開発センター	糖尿病足病変看護従事者研修（第二回）	9月6日・7日
加藤 理賀子	川崎市キャリア開発センター	糖尿病足病変看護従事者研修（第三回）	12月6日・7日
加藤 理賀子	川崎市キャリア開発センター	糖尿病足病変看護従事者研修（第四回）	3月7日・8日
加藤 理賀子	川崎市キャリア開発センター	第6回実践から看護の意味を考える 川崎糖尿病看護研究会	2月22日
加藤 理賀子	川崎市看護協会	川崎市新人看護職員研修 インシュリンの取り扱いと血糖測定の方法	6月4日
加藤 理賀子	神奈川県糖尿病協会	神奈川県糖尿病デー2014市民講演会	11月17日
加藤 理賀子	神奈川県糖尿病対策推進会議	神奈川県糖尿病対策連絡会 糖尿病デー2014実行委員会	10月23日
加藤 理賀子	ノボノルディスクファーマ社	第25回糖尿病医療のための懇話会座長	5月8日
加藤 理賀子	ロシュ社	糖尿病看護に役立つCKDの話題 ファシリテーター	6月8日
加藤 理賀子	ロシュ社	糖尿病看護に役立つCKDの話題 ファシリテーター	5月31日
土屋 千恵子	日本看護協会	平成26年度ケースレポート発表会	12月4日
白田 美奈子	日本看護協会	平成26年度ケースレポート発表会	12月4日
白田 美奈子	日本小児救急学会	第28回日本小児救急医学会学術集会司会	6月7日
牛込 志乃	日本オストミー協会	川崎区・幸区・中原区別研修会	2月15日
大山 美和子	日本離床研究会	早期離床教育講座「血液生化学データの読み方」	5月18日
田中 美沙	神奈川県看護協会	平成26年度進路相談会	7月12日
稲部 眞由美	神奈川県看護協会	医療安全管理者の役割	9月1日
武田 玲子	川崎市立看護短期大学	看護職のための生涯学習支援講座 Bコース 医療・看護の安全 最新情報	5月17日
大山 美和子	日本看護学会	第45回日本看護学会-急性期看護- 学術集会第32群 座長	10月24日
吉崎 弘之	日本精神科看護技術協会	第39回日本精神科看護学術集会 座長	6月6日

(2) 医 師

派遣場所	川崎市立看護短期大学			学年学期	2年次 前期・後期
科目名	病態治療学Ⅲ・Ⅳ	単位数	2単位(選択)	科目区分	専門基礎科目
担当者	市東昌也 伊藤壮一 澤藤 誠 成松芳明 中道憲明 今西智之 増田純一 森 厚夫 原 智 宮川俊一 佐藤陽一郎 寺内直毅 夏 錦言 (宮本尚彦)				

「授業概要」

病態治療学Ⅲ・Ⅳでは、手術療法と血管塞栓術などの手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授します。それぞれの治療目的と適応、効果、治癒による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説します。

小児科は内科と重複する疾患が多いですが、年齢によって疾患の傾向が違います。それは、患者さんが成長していくからです。この講義の目的は、そのような特殊性を加味して、小児疾患を理解することにあります。

生殖器・特殊感覚器疾患については、手術療法と血管塞栓術など手術に準ずる治療、麻酔、救急・集中治療について教授する。それぞれの治療目的と適応、効果、治療による生体への侵襲と回復過程について概説し、さらに具体的な治療方法や関連する検査・援助について代表的な状態や疾患を引用して解説する。

「授業計画」

病態治療学Ⅲ	病態治療学Ⅳ
1 手術学総論 適応	1 小児1
2 手術学総論 術前検査	2 小児2
3 手術学総論 術後管理	3 小児3
4 内視鏡下手術 総論	4 小児4
5 内視鏡下手術 各論	5 小児5
6 I V R	6 産科手術
7 手術学各論 脳神経外科	7 婦人科手術
8 外科	8 産科正常編
9 呼吸器外科	9 産科異常編
10 整形外科	10 眼科
11 心臓外科	11 耳鼻科
12 救急	12 皮膚科
13 麻酔	13 泌尿器科
14 心肺蘇生	14 まとめ1
15 まとめ	15 まとめ2

(3) 薬 剤 師

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間	回 数
阿 部 正 視	川崎看護専門学校	病態薬理学	4月～6月	7回

(4) 放射線診断科・放射線治療科

氏 名	派 遣 場 所	担 当 科 目	期 間
田中 秀夫	川崎市立看護短期大学	画像診断	11月20日
狩野 真之介	川崎市立看護短期大学	画像診断	11月20日

VI 臨床研修概要

1 経緯

(1) 病院の沿革・特徴

昭和2年、伝染病組合病院が川崎市立病院に改称、昭和11年、大規模改築、昭和20年6月1日に総合病院となり、その後建物、設備、診療科の増設を逐次行い、市民の医療の中核を担う病院に発展してきました。

昭和40年、救急指定病院となり、昭和42年には研修医制度が発足しました。それ以降、各学会の指定医の研修施設に指定され、昭和63年には、外国人医師等を対象とした臨床修練指定病院となりました。

また、平成10年4月から総合診療科を設置したことに伴い、新たに後期臨床研修も実施しています。

なお、平成7年から全面改築を進めてきましたが、平成10年11月病棟・中央診療棟が完成し、そして平成12年4月、新外来棟がオープンしたことにより、当院を取り巻く医療環境は、大幅に改善されたばかりでなく、導入された総合医療情報システムや搬送システムが完全に稼動し、機能面でも一段とアップしました。

(2) 初期臨床研修

当院の臨床研修制度は、昭和42年4月に発足し、既に40年が経過しています。最初の10年間は研修期間3年のレジデント制度として行われ、昭和52年からは2年間の臨床研修制度となりました。

また、当初の12年間は学制と同じく4月に始まり、3月に終わる制度でありましたが、研修医内定者のうち医師国家試験に不合格となるものがあり、厚生省の指導や欠員を配慮して昭和54年からは6月開始・5月修了に改められました。そして、平成5年に至り医師国家試験の期日が3月に変更されたことに伴い、5月開始・4月修了という新たな制度に生まれ変わりました。

昭和50年度までは単一専門科か専門科と関連する他の1から2科を研修するのみでありましたが、昭和51年度からは専門科に重点を置きながらも、広く各科を研修するローテイト方式を採用してきました。

これは平成16年度から実施された卒後臨床研修制度を先取りしていたものであったといえます。

平成16年5月からは新たな卒後臨床研修制度義務化に伴って、単独型臨床研修病院として初期研修医各学年10名を受け入れ、更に川崎市立井田病院に対する協力型病院として各々2名（当院ローテイトは卒後2年目）を指導しています。

平成22年12月1日に卒後臨床研修評価機構の認定を受けました。

新制度実施後、多数の医学生から応募があるのは、当院がこれまで取り組んできた臨床研修制度が高く評価されたものと自負しつつも更に医療安全管理・倫理面も含めた教育内容を拡充し、優れた臨床医の育成を図りたいと考えています。

ア 臨床研修医年度別 採用者数

年 度	応 募 者	採 用	修 了	備 考
昭和44	5	3		
45	14	7	3	
46	19	4	2	
47	18	6	8	
48	17	8	4	
49	24	6	3	
50	39	10	7	
51	37	5	5	3年制→2年制度へ移行
52	26	8	5	
53	23	10	11	
54	42	10	11	
55	17	10		
56	12	3	9	
57	9	5	8	
58	4	3	2	
59	11	5	5	
60	11	1	11	
61	9	5	1	
62	6	2		
63	8	2	4	
平成元	12	8	2	
2	9	6	1	
3	9	7	6	
4	13	10	6	
5	12	7	5	
6	10	9	8	
7	11	11	6	
8	21	10	7	
9	13	6	8	
10	12	9	10	
11	16	9	4	
12	16	11	5	
13	14	10	8	
14	11	10	8	
15	8	7	7	
16	84	10	6	
17	126	9	4	
18	83	9	9	
19	103	10	9	
20	83	9	9	
21	62	10	9	
22	67	10	10	
23	79	10	10	
24	96	10	10	
25	77	10	10	
26	51	10	10	
計	1,449名	350名	286名	

イ 専修医年度別 採用者数

年 度	応募者数	採 用	備 考
12	12	9	
13	13	12	
14	8	8	
15	10	10	
16	13	10	
17	11	11	
18	13	12	
19	27	25	
20	44	36	
21	38	34	
22	32	29	
23	34	27	
24	38	34	
25	31	30	
26	40	39	
計	364名	326名	

ウ 臨床研修医出身校別採用者数

国・公立大学

私立大学

(平成26年4月1日現在)

出身校	年度							計	出身校	年度							計
	S42～ H1	22	23	24	25	26	S42～ H1			22	23	24	25	26			
北海道大	4					1	5	岩手医大	2						2		
札幌医科大	1						1	自治医大	7						7		
旭川医科大	0		1				1	埼玉医大	3						3		
弘前大	5						5	日本大	4						4		
秋田大	7						7	日本医大	2			2	1		5		
山形大	2						2	順天大	2		1				3		
東北大	2			2	1		5	慶應義塾大	67	3	5	2	5	6	88		
福島県医大	1						1	東京医科大	8			1			9		
群馬大	2	1					3	東京女子医	7	1		1			9		
筑波大	2						2	慈恵医科大	25	2	1				28		
千葉大	13			1		1	15	昭和 大	6			1	1		8		
東京大	1				1	1	3	東邦大	15						15		
東京医科歯科大	4						4	杏林大	7						7		
横浜市立大	3						3	聖マリアンナ大	14						14		
山梨大	1						1	北里大	5	1					6		
新潟大	3				1		4	東海大	12	1					13		
富山大	2						2	帝京大	1						1		
福井大	2						2	藤田保健大	9		1				10		
浜松医科大	4						4	愛知医科大	2						2		
岐阜大	2						2	関西医科大	3						3		
名古屋大	2						2	大阪医科大	2						2		
名古屋市大	3						3	兵庫医科大	1						1		
三重大	3						3	川崎医科大	2						2		
奈良県立大	1						1	産業医科大	5						5		
京都府医大	1						1	久留米大	2						2		
神戸大	3						3	金沢医大	2						2		
岡山 大	2						2								0		
島根 大	0	1					1								0		
山口 大	2						2								0		
徳島 大	2						2								0		
香川 大	1						1								0		
長崎 大	4						4								0		
佐賀 大	1						1								0		
熊本 大	2						2								0		
鹿児島 大	1						1								0		
琉球 大	2						2								0		
キングスレッジ	1		1				2								0		
大阪 大	0					1	1								0		
計	92	2	2	3	3	4	106	計	215	8	8	7	7	6	251		

エ 初期臨床研修修了者（平成25年度生）

修了年月日	氏名	出身校
平成27年3月31日	安東 一樹	慶應義塾大 医学
平成27年3月31日	高 聖淵	慶應義塾大 医学
平成27年3月31日	郡山 琴絵	新潟大 医学
平成27年3月31日	竹原 朋宏	慶應義塾大 医学
平成27年3月31日	廣瀬 恵	慶應義塾大 医学
平成27年3月31日	淵田 幹太	東北大 医学
平成27年3月31日	前田 裕斗	昭和大 医学
平成27年3月31日	白川 和宏	日本医科大 医学
平成27年3月31日	橋本 麻実	慶應義塾大 医学
平成27年3月31日	花田 亮太	東京大 医学

<3年間研修を受けた専修医>

・大河内 緑

<2年間研修を受けた専修医>

・長谷川 司 ・本橋 健史 ・井上 和茂 ・天貝 久 ・高橋 秀行 ・本田 堯
 ・近野 祐介

<1年間研修を受けた専修医>

・布施 彰久 ・藤澤 有希 ・米澤 栄里 ・安部 悠人 ・金子 厚 ・須賀 裕樹
 ・遠藤 裕子 ・乃木田 礼佳 ・大田 貴弘 ・川口 隆久 ・細田 篤志 ・切詰 和孝
 ・平賀 聡 ・岩井 貴洋 ・竹田 貴 ・大西 英之 ・富岡 拓矢 ・中島 淳

オ 在籍する臨床研修医（平成27年4月1日現在）

2年次生（平成26年度生）		1年次生（平成27年度生）	
氏名	出身校	氏名	出身校
朝比奈 祐一	東京大 医学	手塚 朋子	高知大 医学
有田 祐起	大阪大 医学	中屋 雅人	高知大 医学
小川 卓範	慶應義塾大 医学	石川 隆昭	筑波大 医学
木下水 葵	千葉大 医学	野間 絵梨子	北里大 医学
高橋 香菜	慶應義塾大 医学	道振 康平	昭和大 医学
田中 千尋	慶應義塾大 医学	大崎 典子	群馬大 医学
津軽 開	慶應義塾大 医学	石倉 佳代子	慶應義塾大 医学
津崎 盾哉	慶應義塾大 医学	河野 暉	慶應義塾大 医学
西浦 美穂	北海道大 医学	清河 駿樹	慶應義塾大 医学
脇坂 悠介	慶應義塾大 医学		

カ 在籍する専修医（平成27年6月1日現在）

4年次生以上			3年次生		
志望科	氏名	出身校	志望科	氏名	出身校
内 科	有馬 聖永	千葉大学	内 科	前田 麻実	東北大学
内 科	小林 茉莉	東邦大学	内 科	金澤 慶	東京医科大学
内 科	永岡 未来	北里大学	内 科	櫻井 香	慶応義塾大学
内 科	種本 俊	慶応義塾大学	内 科	花田 亮太	昭和大学
内 科	菅野 瑛梨	東京女子医科大学	内 科	平本 和音	慶応義塾大学
内 科	大谷 慧	順天堂大学医学科	内 科	兵頭 正浩	名古屋市立大学
内 科	坂本 容規	日本医科大学	内 科	横山 裕章	名古屋大学
内 科	鎌田 龍明	横浜市立大学	内 科	城下 郊平	香川大学
内 科	角 浩史	関西医科大学	内 科	松原 祥平	杏林大学
内 科	吉田 稔	順天堂大学医学科	内 科	明神 聡介	慶応義塾大学
精 神 科	高橋 希衣	秋田大学	内 科	長谷川 靖浩	北里大学
小 児 科	江原 和美	キングスカレッジ	内 科	鳥海 聡	杏林大学
小 児 科	及川 裕之	慶應義塾大学	内 科	宮田 順之	北里大学
小 児 科	長田 枝利香	東邦大学	内 科	鈴木 まり重	北里大学
外 科	堂本 佳典	岡山大学	内 科	的場 健太	北里大学
外 科	白井 俊	帝京大学	内 科	佐藤 悠	北里大学
婦 人 科	的場 優介	慶應義塾大学	内 科	萩原 裕也	慶應義塾大学
放射線診断科	鴨志田 久美	東京女子医科大学	内 科	小泉 知子	北里大学
放射線診断科	植松 敬子	旭川医科大学	内 科	片桐 翔治	慶応義塾大学
麻 酔 科	生駒 祐介	慶應義塾大学	外 科	飯尾 みなみ	筑波大学医学群医学類
麻 酔 科	柿沼 勇太	慶應義塾大学	脳 神 経 外 科	藏成 勇紀	横浜市立大学
検 査 科	堀井 千裕	東海大学	形 成 外 科	北畑 伶奈	北海道大学
救 急 科	三吉 貴大	三重大学	耳 鼻 咽 喉 科	島貫 茉莉江	慶応義塾大学
			麻 酔 科	石渡 博昭	福島県立医科大学
			麻 酔 科	伏見 茜	鶴見大学歯学部
			麻 酔 科	船山 拓也	東京医科歯科大学歯学部
			救 急 科	白川 和宏	慶応義塾大学
			救 急 科	宮寫 和宏	秋田大学
			救 急 科	増澤 佑哉	慶応義塾大学

2 初期臨床研修医プログラム

(1) 名 称

川崎市立川崎病院初期臨床研修プログラム

(2) 目的と特徴

当院の研修医制度は、昭和42年4月に発足し、その後教育指導部を設置して既に40年以上が経ちますが、この間多数の研修修了者を送り出して来ました。その後、幾度かの変遷を経て、現在では、毎年4月1日に研修開始して、2年後の3月31日に修了する方式を採っています。

ローテイトに当たっては、研修医と十分話し合いを持ち、それぞれに最も適した個別カリキュラムを組んで、限られた期間に充実した研修成果が上がるよう努めています。

また、各科の基礎的診断治療のための技能の習得のみならず、“病気を診るのではなく、悩める病人を診る”という、診療態度の修得やプライマリ・ケアを重視した研修を行っています。

医学の進歩に伴い医療の専門分化・高度化により各臓器疾患の専門医は増加し、これまで治療困難とされた疾患が克服できるようになりました。それに反して患者を全人的に診療できる医師（General Physician）は少なく、“病気のみを診るのではなく悩める病人を診る”ことのできるGeneral Physicianの養成が社会的に求められています。また、本当の意味での専門医はGeneral Physicianとしての素養を身につけた上で、自分の専門分野を追及していくべきと考えます。

そこで当院では、“臓器別専門医である前に、患者全体を診て適切な診療を行う”を基本方針の基に、臨床医としての基礎的臨床能力を養成することを主たる目標にしました。

(3) 指導者と研修施設

ア 指導者と研修プログラム責任者

研修管理委員会委員長 小宮 浩一郎

イ 研 修 施 設

診療各科及び検査科の施設、研究室、会議室

ウ 指導医リスト〔医師免許取得後7年以上〕

(平成27年6月1日現在)

内 科	野崎 博之	有馬 功一郎	津村 和大	高田 昌幸
	井上 健太郎	岡野 裕	大曾根 康夫	田口 博章
	東野 俊洋	玉井 博修	有泉 健	佐山 宏一
	大森 奈緒	田中 希宇人	加畑 宏樹	末吉 浩一郎
	李 慧崇	高橋 賢至	東谷 卓美	高木 英恵
	坂本 光男	細田 智弘	西澤 健也	深江 智明
精神科	齋藤 寿昭	小杉 哲平		
小児科	番場 正博	安藏 慎	津村 由紀	檜林 敦
	後藤 正之	荒木 耕生	外山 陽子	

新生児内科	森 和広	栗原 伸芳	古川 律子	梶原 久美子
外科	掛札 敏裕 松永 篤志 和多田 晋	市東 昌也 三原 規奨	夏 錦言 筒井 麻衣	萬谷 京子 切詰 和孝
内視鏡室	相浦 浩一			
救命救急センター	田熊 清継	伊藤 壮一	大城 健一	齋藤 豊
	竹村 成秀 荘司 清	櫛守 智 土井 賢治	進藤 健 塩島 裕樹	春成 学 野口 啓
脳神経外科	竹中 信夫	今西 智之		
脳血管外科	片山 真	植田 良		
整形外科	小柳 貴裕 別所 祐貴	中道 憲明 船尾 陽生	西脇 正夫 橘田 祐樹	小宮 浩一郎 福原 悠介
心臓血管外科	蜂谷 貴	石田 治		
呼吸器外科	澤藤 誠	井澤 菜緒子		
皮膚科	宮川 俊一	渡邊 絵美子		
泌尿器科	原 智	金子 剛	服部 盛也	石岡 桂
産婦人科	林 保良 染谷 健一	岩田 壮吉 上野 和典	樋口 隆幸 仙波 宏史	金 善恵
眼科	富田 洋平	鈴木 亜鶴	日高 悠葵	
耳鼻咽喉科	相馬 啓子	佐藤 陽一郎	中原 奈々	
放射線診断科	成松 芳明	長谷川 市郎	佐藤 宏朗	鳥飼 秀幸
放射線治療科	栗林 徹	黒岩 信子		
形成外科	畑野 麻子			
歯科口腔外科	鬼澤 勝弘	安居 孝純	佐藤 仁	
麻酔科	増田 純一 菅 規久子	森田 慶久 安藤 嘉門	逢坂 佳宗 阪本 浩平	永井 美江
検査科	杉浦 仁	入江 理恵		
リハビリテーション科	伊藤 真梨			

エ 専門医（認定医）教育病院等学会の指定状況

日本内科学会認定教育病院	日本放射線腫瘍学会認定協力施設
日本小児科学会専門医研修支援施設	日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本小児科学会小児科専門医研修支援施設	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本外科学会専門医制度修練指定施設	日本 IVR学会専門医修練認定施設
日本精神神経学会 精神科専門医制度研修施設	心臓血管外科専門医認定機構認定修練施設関連施設
日本脳神経外科学会専門医研修プログラム研修施設	日本集中治療医学会専門医研修施設

日本整形外科学会専門医研修施設	日本呼吸器学会認定施設
日本認知症学会認定教育施設	日本脳卒中学会認定研修教育病院
日本形成外科学会認定教育関連施設	日本感染症学会認定研修施設
日本皮膚科学会専門医研修施設	日本臨床細胞学会認定施設
日本泌尿器科学会専門医教育施設	日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設	日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
日本眼科学会専門医研修施設	日本口腔外科学会関連研修施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	呼吸器外科専門医合同委員会認定修練基幹施設
日本麻酔科学会指導医指導病院	日本心血管インターベンション治療学会認定研修施設
日本病理学会専門医研修認定施設	生殖医療医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
日本リハビリテーション医学会認定研修施設	日本胆道学会認定指導施設
日本消化器外科学会専門医修練施設	日本大腸肛門病学会認定施設
日本リウマチ学会認定施設	日本緩和医療学会認定研修施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設	日本がん治療医認定機構認定研修施設
日本アレルギー学会認定施設	日本手外科学会認定研修施設
日本神経学会専門医制度准教育施設	日本頭頸部外科学会準認定施設
日本消化器病学会専門医制度認定施設	日本脈管学会認定研修指定施設
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医認定教育施設	日本食道学会全国登録認定施設
日本核医学会専門医教育病院	日本消化管学会胃腸科指導施設
日本消化器内視鏡学会認定指導施設	日本アレルギー学会認定準教育施設
日本プライマリ・ケア学会認定医研修施設	日本周産期・新生児医学会専門医制度暫定認定施設
日本医学放射線学会専門医総合修練機関	日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設

オ 指導体制

各科とも原則としてマンツーマン方式を取れ入れています。

(4) プログラム委員会

本院には、研修管理委員会が設置されており、その委員がプログラム委員を兼務します。

(5) プログラム管理体制

ア 研修管理委員会の組織・機能

(ア) 委員長：小宮 浩一郎 研修管理委員会委員長

(イ) 構成：委員は各研修カリキュラムの責任者、院長、事務局長、副院長、庶務課長、研修協力施設の研修実施責任者（指導医等）、外部委員（医師等）

(ウ) 業務

a 研修プログラムの全体的な調整・管理

（研修プログラム作成方針の決定や、各研修カリキュラム間の相互調整など）

b 研修医の全体的な管理

（研修医の募集、他施設への出向、研修医の処遇、研修医の健康管理）

- c 研修医の研修状況の評価
(研修目標の達成状況の評価、臨床研修修了の評価)
- d 採用時における研修希望者の評価
- e 指導医の評価と記録
- f 研修後の進路について、相談等の支援を行う
- g 院内カンファレンス、研修資料と教育機材の管理、指導医研修

イ 研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法

研修医の勤務規定、顕彰・処罰規定及び採用方法は別途定める要綱によります。研修医は、毎年公募により採用されます。

ウ 研修プログラムの自己評価と改善体制

研修管理委員会では、研修医の研修成果や研修医・指導医の意見を踏まえ、常に研修プログラム自体の評価を行い、修正可能な点は速やかに修正します。また、大きなシステム上の問題は、関係各所と協議の上、適宜改善を行います。

エ 研修医からのフィードバック

研修医は、研修実行委員と定期的に面接を行い、研修プログラムや指導医に対する意見を述べることができます。臨床研修委員会は、できるだけ研修医の要望を実現できるよう配慮します。

オ 研修の継続が困難な研修医に対する処置

身体的・社会的・経済的理由などにより、研修継続が困難な状態に陥った場合は、臨床研修委員会及び研修責任者は、研修医個人の処遇を勘案し、適切な対応を行うものとします。

(6) 卒後臨床研修・ローテイトについて

ア 期間割り研修医予定配置

1年次の最初の月(4月)は、全員が救急科で研修を行います。厚生労働省の定める内科6か月、救急科3か月、地域医療1か月を必修科目として計10か月間研修します。選択必修は5科(外科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科)の中から2科を選択し、選択科(内科、外科、救急科、麻酔科、小児科、産婦人科、精神科、整形外科、放射線科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、脳神経外科、心臓血管外科、リハビリテーション科、検査(病理)科、の中から選択)と合わせて計14か月の研修を行います。

選択科目の研修期間は、プログラムの特性を配慮し、最低1か月とします。

選択科目の研修に当たっては、研修医が各研修カリキュラムを選択し、積極的に研修に取り組み、充実した研修ができるように留意します。

(7) 研修医定員及び処遇

研 修 医 定 員 : 1 年次10名、2 年次10名

募集及び採用方法 : 公募、小論文、集団面接及び集団討論にて選考、マッチングに参加

資 格 : 平成27年度日本で医師免許取得見込みの者

処 遇 : 川崎市非常勤嘱託職員
地方公務員法（以下「地公法」という。）第30条及び第32条から第35条を、遵守する義務を負う。

待 遇 : 給与月額 364,100円
健康保険・厚生年金・雇用保険・労働災害補償あり
レジデントハウス（単身者用）あり
（病院から歩いて1分以内の範囲）
（月額29,050円程度）
病院個室なし、個人の机及びロッカー有り
定期健康診断年1回
医師賠償責任保険は病院として加入
学会及び研究会への参加は研修に支障のない範囲で可。ただし、公費負担なし。

勤 務 時 間 : 1 週 5 日（月～金曜日）

月～金曜日：8時30分～17時まで 時間外勤務なし

研修以外の診療活動は認めない（地公法第38条の改正による）

当直は配属科により変わるが、内科の場合に平日当直2日、休日当直1日が目安である。

年 次 有 給 暇 等 : 1 年目10日、2 年目11日付与

夏期休暇5日（6月1日～10月31日までの間に取得）

(8) 研修修了認定基準

臨床研修医に関する要綱中、第10条の修了証書の授与に際しては、次の基準によるものとします。

ア 各研修医は、厚生労働省の指定した初期臨床研修到達目標の自己評価表に基づき、自己採点を行い、研修責任者に提出する。

イ 研修責任者は、研修管理委員会を開催し、ローテイトした科の指導責任者の採点によるレジデント評価表と研修医が採点した自己評価表を併せて審査し、その結果を院長に報告する。

ウ 院長は、報告に基づき研修が修了したと認定された研修医に対して、修了証書を授与する。

VII 業 績 目 録

科 別 業

科目	年度	科 別												
		内科・総合診療科	精神科	小児科	新生児内科	外科	呼吸器外科	脳神経外科	整形外科	形成外科	心臓血管外科	皮膚科	泌尿器科	産科・婦人科
学位取得	22													
	23													
	24													
	25					1							1	
	26									1				1
賞	22													
	23													
	24					1							1	
	25													
	26	1												
研究助成 共同研究	22	2												
	23	2				1								
	24	1						1						
	25	1						1						
	26	2						1					1	
書 籍	22	5							2					1
	23	5	3	1					4				1	1
	24	3		2		24			23					
	25	4		11		1			1					
	26	1		1		2			1					5
論 文	22	10	1			6			19					2
	23	3	1			33	1		24				2	3
	24	3				2	1		16			1	9	3
	25	10		2		8	2	2	20	2	6	1	2	
	26	18		9		5	3	1	20	1	1	7	4	11
学 会 研 究 会	22	38	1	9		40	10	9	38				3	19
	23	36	5	7		11	8	2	33			3	5	14
	24	22	4	4		1	8	1	18		3	6	13	31
	25	45	3	18	2	30	5	2	34	1		7	4	
	26	54	5	13	1	21	2	2	67	2	1	5	6	34
そ の 他	22	7	1						9				1	
	23	13	1	2		9		1					1	
	24	7							15				1	
	25	7	2	1										
	26	4	5	10	2			1	8				2	

※H25年度から業績目録の様式を変更。

※「新生児内科」「形成外科」はH25年度から計上。「放射線診断科」「放射線治療科」はH25年度から分離。「医療安全管理室」はH26年度から計上。

※H26年度から「学会」と「研究会」を統合。

※「書籍」は「著書」と「書籍の章」の合算。「その他」には「講演会等」を含む。

績 統 計

眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	放 射 線 治 療 科	放 射 線 診 断 科	麻 酔 科	救 急 科	リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 科	歯 科 口 腔 外 科	検 査 科	薬 剤 科	看 護 部	医 療 安 全 管 理 室	地 域 医 療 部	感 染 対 策 室	食 養 科	合 計
					1				1						0 0 2 1 3
1	1	1						1		3 4					1 0 4 3 6
					1	1	1 1 1 1								2 5 3 3 6
		3 1		1	1 4 1 15	2 1 3	1 1	2	2				2 1 1	1 1	14 26 56 35 16
2 1 1 1	5 5 2 2		2 4	3 9 3 7 1	7 3 5 19 3	2 2	1	4 12 6	3 1 4 2						62 99 60 94 97
2 3	6 22 17 12 16	13 15 7	25 4	20 18 16 18 13	24 20 24 33 34	3 4 5 2 5	2 1 4 2 14	9 11 12 9 8	3 7 4 3 4					7 9	249 222 202 269 327
	1	8 8 4		1 5 1 2	6 14 48 5 17			4 3	3				3 5 1	2	36 58 90 23 120

1 当院における学位取得者

(1) 形成外科

畑野麻子（形成外科）. 医学博士. 平成 26 年 5 月取得. Relationship between locations of rib defects and loss of respiratory function: a biomechanical study. Thoracic Cardiovasc Surg. 2014; 62: 357-362.

(2) 産婦人科

金 善恵（産婦人科）. 医学博士. 平成 25 年 12 月取得. Comparison of the right and left ventricular performance during the fetal development using velocity vector imaging. Early Human Development. 2013; 89: 675-681.

(3) 救急科

伊藤壮一（救急科）. 医学博士. 平成 27 年 3 月取得. Evaluation of problems in handoff communication in an emergency department -Development and application of handoff checklist- 救急外来でのハンドオフの問題点の評価-ハンドオフチェックリストの開発と運用-（未掲載）.

2 賞

(1) 内科

津村和大（糖尿病内科）. 平成 26 年度日本糖尿病協会ウィリアム・カレン賞. 平成 26 年 7 月. 受賞理由： 糖尿病診療やスタッフ教育のリーダーとしての日々を送りながら，同時に日本糖尿病協会や日本病態栄養学会などにおける学・協会活動，厚生労働省の戦略研究企画・調査専門検討会委員，厚生労働科学研究企画・事前評価委員等の行政関連での活動，糖尿病教育書籍の著作活動等の幅広い活躍と貢献が評価された.

(2) 検査科

殿岡弘敏（検査科）. 平成 26 年度川崎市病院協会優良職員表彰. 平成 27 年 3 月. 受賞理由： 病院職員としての長年の功労.

(3) 看護部

敦賀谷小百合（看護部）. 平成 26 年度神奈川県看護師等養成実習病院実習指導者表彰. 平成 26 年 7 月.

中原 淳（看護部）. 平成 26 年度神奈川県自治体病院開設者協議会永年勤続功労者表彰. 平成 26 年 8 月.

白井佳子（看護部）. 平成 26 年度川崎市病院協会優良職員協会会長表彰. 平成 27 年 3 月.

齋藤範子（看護部）. 平成 26 年度川崎市病院協会優良職員協会会長表彰. 平成 27 年 3 月.

3 研究助成及び共同研究

(1) 内科

津村和大（糖尿病内科）. 平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業. 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究に関連する研究開発管理の実施・評価に関する研究.（分担研究者）

津村和大（糖尿病内科）. 平成 26 年度厚生労働科学特別研究事業. 健康医療分野における大規模データ研究のあり方に関する研究.（研究協力者）

(2) 脳神経外科

植田 良（脳神経外科）. 脳腫瘍新生血管を治療標的としたペプチドワクチン療法確立のための効

果評価法の開発.

(3) 泌尿器科

服部盛也 (泌尿器科). 平成 26 年度慶應義塾大学医学部研究奨励費. 間葉系幹細胞による腎線維化に対する新規治療戦略の探索.

(4) 救急科

大城健一 (救急科). 平成 26 年度厚生労働科学事業特別指定研究 (研究協力). 「首都直下地震に対応した DMAT の戦略的医療活動に必要な医療支援の定量的評価に関する研究」【分担研究】「首都直下地震発生時の神奈川県における DMAT の対応に関する研究」.

(5) 歯科口腔外科

安居孝純 (歯科口腔外科). 平成 25 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金 若手研究 B 予期的に分離したヒト歯髄幹細胞の in vivo における評価と顎骨壊死治療への応用補助事業期間: 平成 25 年度~平成 27 年度.

4 著書

(1) 産婦人科

林 保良. 子宮鏡の臨床 ABC 初版. メジカルビュー社. 東京. 2014. 総ページ数 144.

5 書籍の章

(1) 内科・総合診療科

野崎博之. "中枢神経系の炎症性疾患". 脳神経外科一周術期管理のすべて一. 松谷雅生, 田村 晃, 藤巻高光, 森田明夫編. 東京, メジカルビュー社, 2014; 4, p. 522- 533.

(2) 小児科

安藏 慎. "Q10 下垂体疾患のトランジション治療のポイントは?". 内分泌代謝クリニカルクエスション 100. 成瀬光栄編. 東京, 診断と治療社, 2014 年 12 月; 初版, p. 18- 19.

(3) 外科

掛札敏裕. "血栓・塞栓除去法 (フォガティール・カテーテル)". 今日の治療指針 2015 年版. 山口 徹, 北原光夫 (監修) 編. 東京, 医学書院, 2015 年 1 月; 第 1 刷, p. 119- 120.

萬谷京子. "第 2 部⑤よくみられる乳房の疾患". もう困らない! プライマリ・ケアでの女性の診かた. 井上真智子編. 東京, 羊土社, 2015 年 3 月; 第 1 刷, p. 116- 130.

(4) 整形外科

Funao H, Kebai sh KM "Biomechanical Effects of Long Constructs on Proximal adjacent Levels: Considerations for Including or Excluding the Thoracolumbar Junction ". Global Spinal Alignment and Balance. 米国、セントルイス, Quality Medical Publishing, 2014 年 [in press].

(5) 産婦人科

林 保良, 藪野 彰, 岩田壮吉. "巨大粘膜下筋腫核出術 (TCR)". OGS NOW 11 子宮筋腫 こんなときどうする? 叡智を結集して安全手術. 平松祐司, 小西郁生, 櫻木範明, 竹田 省編. 東京都, メジカルビュー社, 2012 年 8 月; p. 98- 107.

岩田壮吉. "5. ラパロスコピー (腹腔鏡)". 産婦人科研修ノート. 永井良三 (総監修), 綾部琢哉, 大須賀 穰編. 東京, 診断と治療社, 2014 年 4 月; 改訂第 2 版, p. 149- 153.

林 保良, 岩田壮吉. "子宮鏡手術の実際 子宮筋腫、子宮内膜ポリープ". OGS NOW 19 腹腔鏡・

子宮鏡手術 [基本編] 上達をめざす基本手技の完全マスター. 平松祐司, 小西郁生, 櫻木範明, 竹田 省編. 東京, メジカルビュー社, 2014年8月; p. 196-201.

林 保良. "不妊症と子宮鏡". 今日の不妊症診療 = Modern Trends in Infertility Treatments = 新版. 鈴木秋悦編. 東京都, 医歯薬出版株式会社, 2013年11月; p. 149-153.

林 保良, 岩田壮吉. "子宮鏡特有の合併症". OGS NOW620 腹腔鏡・子宮鏡手術 [応用編] 悪性腫瘍手術及び合併症の予防・対処法. 平松祐司, 小西郁生, 櫻木範明, 竹田 省編. 東京, メジカルビュー社, 2014年11月; p. 192-201.

(6) リハビリテーション科

伊藤真梨. "脳疾患の基本を学ぼう! ②脳出血". 自信がもてる! リハビリテーション臨床実習 カード式評価集付 脳卒中ケースで臨場感を体験. 里宇明元 (監修) 編. 東京, 医歯薬出版株式会社, 2015年3月; p. 64-69.

(7) 歯科口腔外科

佐藤 仁. "歯科の痛みの特徴 象牙質知覚過敏の本態 知覚過敏症の本態は、象牙質か歯髄か?". Dental Diamond 増刊号 歯科の痛みを見極める診断・治療 50の Q&A 和嶋浩一編. 東京, デンタルダイヤモンド社, 2014年4月; p. 128-130.

佐藤 仁. "歯科の痛みの特徴 痛みの薬物療法 抗けいれん薬に分類されるカルバマゼピン、プレバガリンはどのようにして痛みを止めるのか?". Dental Diamond 増刊号 歯科の痛みを見極める診断・治療 50の Q&A 和嶋浩一編. 東京, デンタルダイヤモンド社, 2014年4月; p. 134-135.

鬼澤勝弘, 安居孝純. "急性疱疹性歯肉口内炎". 薬'15 / '16 歯科 疾患名から治療薬と処方例がすぐわかる本. 朝波惣一郎編. 東京, クインテッセンス出版, 2014年9月; p. 122-123.

(8) 薬剤部

小林 岳. "DPCを用いた効果的な病院マネジメント". 病院部門別管理・運営の実践. 薬剤部門のマネジメント. 赤瀬朋秀, 湯本哲郎編. 東京, 日本医療企画, 2014年4月; p. 90-99.

6 論文

(1) 内科・総合診療科

Atsumi C, Hasegawa Y, Tsumura K, Ueda T, Suzuki K, Sugiyama M, Nozaki H, Suzuki S, Nakane M, Nagashina G, Kitamura T, Nakido H, Sasanuma J. Quality Assurance Monitoring of a Citywide Transportation Protocol Improves Clinical Indicators of Intravenous Tissue Plasminogen Activator Therapy: A Community-based, Longitudinal Study. J Stroke Cerebrovasc Dis. . 2015; 24: 183-188.

Kanata H, Koh H, Okubo Y, Kunitomo H, Chiyotani A, Sayana K, Hasegawa N, Mikai M. Antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis involving diffuse alveolar hemorrhage, rapidly progressive glomerulonephritis and hypereosinophilia. Intern Med. 2013; 52: 2253-2257.

Meda Y, Taguchi H, Kudo T, Okano Y. Takayasu arteritis and ischaemic stroke. QJM 2015; pii: hcv063. [Epub ahead of print]:

Masaki K, Araku M, Nankong H, Miyakawa R, Nakajima T, Fukunaga K, Naoki K, Tasaka S, Soejima K, Sayana K, Sugita K, Iwata S, Gui L, Hanaki H, Hasegawa N, Betsuyaku T. Fatal Fulminant Pneumonia Caused by Methicillin Sensitive Staphylococcus aureus Negative for Major

High Virulence Factors Following Influenza B Virus Infection. *AmJ Case Rep.* 2015; 16: 454-458.

Masaki K, Suzuki Y, Kagawa S, Kodama M, Kabata H, Miyata J, Tanaka K, Fukunaga K, Sayana K, Ogura T, Kimura T, Anagai M, Betsuyaku T, Asano K. Dual role of interleukin 23 in epicutaneously-sensitized asthma in mice. *Allergol Int.* 2014; 63 Suppl 1: 13-22.

Matsusaka M, Kabata H, Fukunaga K, Suzuki Y, Masaki K, Michinaru T, Sakanaki F, Oyanada Y, Inoue T, Ogura T, Sayana K, Koh H, Nakamura M, Ueda A, Goto J, Ohta S, Izuhara K, Asano K, Betsuyaku T. Phenotype of asthma related with high serum periostin levels. *Allergol Int.* 2015; 64: 175-180.

Miyazaki M, Nakamura H, Chubachi S, Sasaki M, Hraguchi M, Yoshida S, Tsuduki K, Shirahata T, Takahashi S, Minenatsu N, Koh H, Nakamura M, Sakanaki F, Terashina T, Sayana K, Jones PW, Asano K, Betsuyaku T, Keio COPD Comorbidity Research (KCCR) Group. Analysis of comorbid factors that increase the COPD assessment test scores. *Respir Res.* 15: 13.

Tanaka K, Kamiishi N, Miyata J, Kabata H, Masaki K, Ogura Tomonatsu H, Tomonatsu K, Suzuki Y, Fukunaga K, Sayana K, Betsuyaku T, Asano K. Determinants of Long-Term Persistence with Tiotropium Bromide for Chronic Obstructive Pulmonary Disease. *COPD* 2015; 12: 233-239.

Yanada Y, Miyakawa Y, Sawano M, Okano Y. Successful treatment of severe lung hemorrhage caused by acquired factor V inhibitor with rituximab. *Intern Med.* 2014; 53: 1083-1085.

井上健太郎, 相浦浩一, 市東昌也, 星本相淳, 壁島康郎, 小柳和夫, 有泉 健, 高木英恵, 玉井博修, 入江理恵, 杉浦 仁. 癌との鑑別に管腔内超音波内視鏡検査が有用であった慢性胆嚢炎の1例. *Prog Dig Endosc.* 2014; 84: 188-189.

加畑宏樹, 茂呂和世, 小安重夫, 浅野浩一郎. Group 2 innate lymphoid cells. *アレルギー.* 2015; 64: 46-56.

加畑宏樹, 茂呂和世. IL-33とグループ2自然リンパ球(ILC2s). *医学のあゆみ.* 2015; 252: 1197-1202.

加畑宏樹, 茂呂和世. グループ2自然リンパ球: 特徴、機能、疾患との関連. *医学のあゆみ.* 2014; 251: 499-503.

加畑宏樹. ステロイド抵抗性 Up-to-date. *喘息.* 2014; 27: 74-78.

坂本光男, 細田智弘, 吉井 肇. 腸管感染症および食中毒. *感染と抗菌薬.* 2014; 17: 168-173.

中島由紀子, 坂本光男. ステロイド長期投与により cytomegalovirus (CMV) 性肛門潰瘍を認めた AIDS の1例. *日本性感染症学会誌.* 2014; 25: 119-121.

津村和大. 【糖尿病とチーム医療】 SNSを活用した連携コミュニケーション. *Diabetes Frontier.* 2014; 25: 726-732.

津村和大. 【臨床研修指定病院 69 施設からきいた これだけは押さえて欲しいルール&マナー】 (SECTION2) 医師として持っておきたい心構え 「ガイドライン」や「EBM のめざす本当の姿とは. *日本医事新報.* 2014; 4714: 47.

津村和大. 【臨床研修指定病院 69 施設からきいた これだけは押さえて欲しいルール&マナー】 (SECTION3) スキルアップのために日々勉強 「僕、興味ないので…」という食わず嫌いは卒業して、幅広く学ぼう!. *日本医事新報.* 2014; 4714: 50.

(2) 小児科

Anzo M, Inokuchi M, Mitsu N, Takayama JI, Hasegawa T. Wrist circumference centiles by age and sex for Japanese children based on the 1978-1981 cross-sectional national survey data. *Ann Hum Biol.* 2015; 42: 56-61.

Endo Y, Niguchi S, Hara Y, Hayashi Y, Mitomura K, Miyatake S, Mirakani N, Tanaka S, Yanashita S, Kizu R, Banba M, Goto Y, Mitsuoto N, Nonaka I, Nshino I. Dominant mutations in *ORAI1* cause tubular aggregate myopathy with hypocalcemia via constitutive activation of store-operated Ca^{2+} channels. *Hum Mol Genet.* 2015; 24:637-648.

Hirakawa K, Hayashi K, Tsumura Y, Nomura I, Narita M, Ohta Y, Saito H, Mitsuoto K. Total serum IgE level influences oral food challenge tests for IgE-mediated food allergies. *Allergy.* 2015; 70: 334-337.

Sugaya N, Sakai-Tagawa Y, Banba M, Yasuhara R, Yanazaki M, Kawakami C, Yanaguchi Y, Ide Y, Ichikawa M, Mitamura K, Kawaoka Y. Comparison between virus shedding and fever duration after treating children with pandemic A/H1N1/09 and children with A/H1N2 with a neuraminidase inhibitor. *Antivir Ther.* 2015; 20: 49-55.

Yasuhara J, Yanada Y, Hara K, Sahara R, Hattori Y, Yanaguchi T, Mizuno Y, Kizu R, Banba M. Primary ciliary dyskinesia diagnosed on nasal mucosal biopsy in two newborns. *Pediatr Int.* 2014; 56: 258-261.

一色恭平, 原 香織, 安原理恵子, 山田悠司, 木津りか, 番場正博. 著明な低栄養と腹部膨満の診断に苦慮し、開腹手術を経てメッケル憩室による腸閉塞と診断した1例. *小児科.* 2014; 55: 1793-1796.

一色恭平, 原 香織, 安原理恵子, 木津りか, 番場正博. リジン尿性蛋白不耐症の8歳女児に発症したEBV-HHの一例. *小児感染免疫.* 2014; 26: 447-451.

山口哲司, 小島拓朗, 番場正博, 安原理恵子, 服部裕次郎, 木津りか, 高橋良英, 高橋 淳, 安原 潤, 土橋隆俊. 繰り返す頻拍発作に対しカテーテルアブレーションが奏効したWPW症候群の5歳男児例. *小児科.* 2014; 55: 483-486.

石川真由美, 松岡 恵, 江原和美, 本田 堯, 一色恭平, 中尾 歩, 安藏 慎, 番場正博. 処女膜閉鎖症による膣留血症の後に卵管留膿腫をきたした1例. *小児科.* 2014; 55: 1345-1348.

(3) 外科

Kusaka J, Fujii K, Yorozya K, Muri Y, Yoshida M, Nakano S, Fukutomi T, Takahashi E, Yokoi T. A case of quadruple primary malignancies including breast, tongue, thyroid cancers and osteosarcoma in a young female without karyotype abnormality. *Breast Cancer.* 2014; 21: 500-503.

岡村 亮, 小柳和夫, 相浦浩一, 市東昌也, 壁島康郎, 星本相淳, 萬谷京子, 和多田晋, 田中 求, 杉浦 仁, 掛札敏裕, 大森 泰. 粘膜下腫瘍様所見を呈した微小食道癌の1例. *Prog Dig Endosc.* 2014; 84: 78-79.

小柳和夫, 井垣弘康, 日月裕司, 掛札敏裕. 細径鉗子を用いた食道牽引による腹臥位胸腔鏡下食道切除術リンパ節郭清の手技. *手術.* 2014; 68: 1493-1497.

森田 覚, 小柳和夫, 田中 求, 和多田晋, 萬谷京子, 星本相淳, 壁島康郎, 市東昌也, 相浦浩一, 杉浦 仁, 掛札敏裕, 大森 泰. 内視鏡と病理組織学的所見の対比が可能であった食道癌肉

腫の1例. Prog Dig Endosc. 2014; 85: 68-69.

和多田晋, 掛札敏裕. Charcot 関節. 血管外科. 2014; 33: 52-54.

(4) 呼吸器外科

Eguchi K, Oyama T, Tajima A, Abiko T, Sawafuji M, Hbriio H, Hshizune T, Mitsutani N, Kato R, Nakayama M, Kawamura M, Kobayashi K. Intratumoral gene expression of 5-fluorouracil pharmacokinetics-related enzymes in stage I and II non-small cell lung cancer patients treated with uracil-tegafur after surgery: a prospective multi-institutional study in Japan. Lung Cancer. 2015; 87: 53-58.

Kamiyama I, Kohno M, Kamiya K, Nakamura H, Sawafuji M, Kobayashi K, Watanabe M. A new technique of bronchial microsampling and proteomic analysis of epithelial lining fluid in a rat model of acute lung injury. Mol Immunol. 2014; 59: 217-225.

Kohno M, Watanabe M, Goto T, Kamiyama I, Ohtsuka T, Tasaka S, Sawafuji M. Attenuation of lung ischemia-reperfusion injury by rho-associated kinase inhibition in a rat model of lung transplantation. Ann Thorac Cardiovasc Surg. 2014; 20: 359-364.

(5) 脳神経外科

Khanbani G, McKaveney K, Sakaki M, Ueda R, Mintz AH, Anankulor N, Fujita M, Ohlfest JR, Okada H. GM-CSF promotes the immunosuppressive activity of glioma-infiltrating myeloid cells through interleukin 4 receptor- α . Cancer Research. 2013; 73: 6413-6423.

(6) 整形外科

Funao H, Ishii K, Minoshina S, Iwanami A, Hosogane N, Watanabe K, Nakamura M, Toyama Y, Mitsunoto M. Surgeons' exposure to radiation in single- and multi-level minimally invasive transforaminal lumbar interbody fusion: a prospective study. PLoS One. 2014; :

Ishii K, Kaneko Y, Funao H, Ishihara S, Shinohara A, Nakanishi K, Hkato T, Fujita T, Iwanami A, Hosogane N, Watanabe K, Nagura T, Nakamura M, Toyama Y, Mitsunoto M. A novel percutaneous guide wire (S wire™) for percutaneous pedicle screw insertion: its development, efficacy, and safety. Surg Innov. 2015; 2: 469-473.

Komiya K, Terada N. Entrapment of the Flexor Hallucis Longus Tendon by Direct Impalement in the Osseofibrous Tunnel Under the Sustentaculum Tali: An Extremely Rare Complication of a Calcaneal Fracture. JBJS Case Connector. 2014; 4: e100-e100.

Nshiwaki M, Welsh M, Cannon B, Ferreira LM, Johnson JA, King GJ. Distal radioulnar joint kinematics in simulated dorsally angulated distal radius fractures. J Hand Surg. 2014; 39: 656-663.

Ochi K, Hriuchi Y, Arino H, Toyama Y. Interfascicular neurolysis for incomplete spontaneous posterior interosseous nerve palsy with a surgical delay of 17 Years: Is It Still Effective?. Hand Surgery. 2015; 20: 302-303.

Ochi K, Hriuchi Y, Hriuchi K, Iwanoto T, Morisawa Y, Sato K. Shoulder position increases ulnar nerve strain at the elbow of patients with cubital tunnel syndrome. J Shoulder Elbow Surg. 2015; 24: 1380-1385.

Ochi K, Hriuchi Y, Nakamura T, Sato K, Morita K, Hriuchi K. Association between the ulnar nerve strain and accompanying conditions in patients with cubital tunnel syndrome. Hand Surg.

2014; 19: 329-333.

Theologis A, Tabaraee E, Funao H, Smith J, Burch S, Tay B, Kebaiish K, Deviren V, Anes C. Three-column osteotomies of the lower cervical and upper thoracic spine: comparison of early outcomes, radiographic parameters, and peri-operative complications in 48 patients. *Eur Spine J*. 2015; 24 (Suppl. 1): S23-S30.

Willing RL, Nshiwaki M, Johnson JA, King GJ, Athwal GS. Evaluation of a computational model to predict elbow range of motion. *Comput Aided Surg*. 2014; 19: 57-63.

Yoshioka K, Ishii K, Kuranoto T, Nagai S, Funao H, Ishihana H, Shiono Y, Sasaki A, Aizawa M, Okada Y, Koyasu S, Toyama Y, Mitsunoto M. A novel mouse model of soft-tissue infection using bioluminescence imaging allows noninvasive, real-time monitoring of bacterial growth. *PLoS One*. 2014;

原藤健吾, 谷川英徳, 森重雄太郎, 金田和也, 小柳貴裕, 堀内行雄. 高熱を伴った Van Neck 病の 2 例. *整形・災害外科*. 2014; 57: 461-465.

原藤健吾, 谷川英徳, 森重雄太郎, 金田和也, 小柳貴裕, 堀内行雄. 人工膝関節全置換術創閉鎖における knotless closure device の有用性と安全性評価. *整形外科*. 2014; 65: 519-521.

小宮浩一郎, 寺田信樹, 山田光子, 加藤慎一, 鈴木謙次. 反復する膝関節血症により急速に関節裂隙狭小化が進行した 1 例. *中部日本整形外科災害外科学会雑誌*. 2014; 57: 93-94.

西脇正夫. 橈骨遠位端骨折に対する手術治療の最新の知見 各手術法の適応と安全・安心な手技【手術法解説】 橈骨遠位端骨折に対する MICROWIRE を用いた手術治療. *整形外科 SURGICAL TECHNIQUE (整形外科サージカルテクニック)* 2014 年 2 号. 2014; :181-189.

石井 賢, 塩野雄太, 船尾陽生, 磯貝宜広, 日方智宏, 松本守雄. 経皮的椎弓根スクリュー固定の進歩. *脊椎脊髄ジャーナル*. 2014; 27: 909-916.

丹羽 理, 山田光子, 日下部浩, 寺田信樹, 小宮浩一郎, 加藤慎一. 当科における第三世代人工肩関節の小経験. *東海関節*. 2014; 6: 117-120.

丹羽 理, 日下部 浩, 寺田信樹, 山田光子, 小宮浩一郎, 加藤慎一. ピエール・ロバン症候群を背景とする 12 歳での両側 cavovarus foot に対しギプス矯正により治療した 1 例. *中部日本整形外科災害外科学会雑誌*. 2014; 57: 917-918.

平賀 聡, 小柳貴裕, 大門憲史, 浅野拓行, 磯貝宜広, 橘田祐樹, 堀内孝一, 別所祐貴, 小宮浩一郎, 西脇正夫, 中道憲明, 堀内行雄. 当科初診の亜急性連合性脊髄変性症の 2 例. *神奈川整形災害外科研究会誌*. 2015; 27: 111-113.

別所祐貴, 吉川泰弘, 高野勇人, 市川 亨. 手指 MP 関節側副靭帯不全損傷に対するトリアムシノロンアセトニド関節内注射の検討. *日本手外科学会誌*. 2014; 30: 960-962.

堀内行雄. 医原性末梢神経障害. *BRAIN and NERVE—神経研究の進歩*. 2014; 66: 1459-1469.

(7) 形成外科

畑野麻子. Relationship between Locations of Rib Defects and Loss of Respiratory Function: A Biomechanical Study. *Thoracic and Cardiovascular Surgeon*. 2014; 62: 357-362.

(8) 心臓血管外科

Ishida O, Hagi no I, Nagaya N, Shimizu T, Okano T, Sawa Y, Mori H, Yagihara T. Adipose-derived stem cell sheet transplantation therapy in a porcine model of chronic heart failure. *Translational Research*. 2015; 165: 631-639.

(9) 皮膚科

Kurihara Y, Watanabe E, Miyakawa S. Novel FDA hemizygous frame-shift mutation c. 731delG (p. R244Gfs*36) underlies hypohidrotic ectodermal dysplasia in a Japanese family. *J Dermatol.* 2014; 41: 1110-1112.

Watanabe-Okada E, Kurihara Y, Miyakawa S. dermatoscopy of folliculosebaceous cystic hamartoma. *Dermatol Pract Concept.* 2014; 4: 47-49.

熊谷宜子, 栗原佑一, 土井亜希子, 田中京子, 宮川俊一, 四枚田耕平, 入江理恵. ALK陽性全身型未分化大細胞型リンパ腫の1例. *皮膚科の臨床.* 2014; 56: 947-950.

栗原佑一, 宮川俊一. ネズミ咬傷より生じ白色のコロニーを呈したスポロトリコーシスの1例. *日本臨床皮膚科医会雑誌.* 2014; 31: 477-480.

栗原佑一, 渡邊絵美子, 宮川俊一. 仙骨前類表皮嚢腫の1例. *日本臨床皮膚科医会雑誌.* 2014; 31: 369-372.

栗原佑一, 渡邊絵美子, 宮川俊一. 仙骨前類表皮嚢腫の1例. *日本臨床皮膚科医会雑誌.* 2014; 31: 369-372.

佐藤美聡, 栗原佑一, 西尾有紀子, 宮川俊一, 井上健太郎. 多発性骨髄腫に合併し, 舌の多発丘疹を認めた AL アミロイドーシスの1例. *臨床皮膚科.* 2014; 68: 415-419.

龍神 操, 栗原佑一, 土井亜希子, 高橋京子, 宮川俊一. Calciophylaxis の1例. *臨床皮膚科.* 2014; 68: 651-656.

(10) 泌尿器科

Hirasawa Y, Miyajima A, Hattori S, Miyashita K, Kurihara I, Shibata H, Kikuchi E, Nakagawa K, Oya M. Laparoendoscopic single-site adrenalectomy versus conventional laparoscopic adrenalectomy: a comparison of surgical outcomes and an analysis of a single surgeon's learning curve. *Surg Endosc.* 2014; 28: 2911-2919.

Kaneko G, Miyajima A, Yuge K, Yazawa S, Mizuno R, Kikuchi E, Jinzaki M, Oya M. Visceral obesity is associated with better recurrence-free survival after curative surgery for Japanese patients with localized clear cell renal cell carcinoma. *Jpn J Clin Oncol.* 2015; 45: 210-216.

Takeda T, Miyajima A, Kaneko G, Hasegawa M, Kikuchi E, Oya M. Uni-directional barbed suture for vesicourethral anastomosis during laparoscopic radical prostatectomy. *Asian J Endosc Surg.* 2014; 7: 241-245.

Tanaka N, Kikuchi E, Kanao K, Mitsunoto K, Shirotake S, Miyazaki Y, Kobayashi H, Kaneko G, Higashimura M, Ide H, Obata J, Hoshino K, Hayakawa N, Kosaka T, Hara S, Oyama M, Minna T, Nakajima Y, Jinzaki M, Oya M. A multi-institutional validation of the prognostic value of the neutrophil-to-lymphocyte ratio for upper tract urothelial carcinoma treated with radical nephroureterectomy. *Ann Surg Oncol.* 2014; 21: 4041-4048.

(11) 産婦人科

Higuchi T, Sato H, Iida M, Kimura N, Nariyoshi Y, Tanaka M. Early second-trimester diagnosis of body stalk anomaly by fetal magnetic resonance imaging. *Jpn J Radiol.* 2013; 31: 289-292.

Ito N, Nariyoshi Y, Tsukada J, Sato A, Hasegawa I, Lin BL. Two cases of postmyomectomy pseudoaneurysm treated by transarterial embolization. *Cardiovasc Intervent Radiol.* 2013; 36: 1681-1685.

Kim SH, Miyakoshi K, Kadohira I, Tanaka M, Minogishi K, Mitsunoto T, Yoshimura Y. Comparison of the right and left ventricular performance during the fetal development using velocity vector imaging. *Early Human Development*. 2013; 89: 675-681.

Lin BL, Iida M, Yabuno A, Hguchi T, Mirakoshi Y, Iwata S, Zhao Y. Removal of endometrial polyps through a small caliber diagnostic flexible hysteroscope using a Lin polyp snare system. *Gynecol Minim Invasive Thera*. 2013; 2: 18-21.

Lin BL, Iida M, Suzuki T, Kim SH, Iwata S, Ngai Y. Office management of lost intrauterine devices either with or without strings. *Gynecol Minim Invasive Thera*. 2014; 1: 15-18.

安達将隆, 浅井 哲, 原田佳奈, 鈴木 毅, 藪野 彰, 黒田恵子, 金 善恵, 樋口隆幸, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 脱毛症・他毛症を契機に卵巣セルトリ・ライディッヒ細胞腫と診断した1例. *神奈川産科婦人科学会誌*. 2013; 50: 43-47.

宮内安澄, 樋口隆幸, 金 善恵, 上野和典, 友坂真理子, 土屋佳子, 大河内 緑, 鈴木 毅, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 出生前に診断された Beckwith-Wiedemann syndrome の1例. *神奈川産科婦人科学会誌*. 2014; 1: 32-36.

黒田恵子, 浅井 哲, 鈴木 毅, 原田佳奈, 安達将隆, 藪野 彰, 金 善恵, 樋口隆幸, 村越行高, 染谷健一, 林 保良, 岩田壮吉. 卵巣膿瘍に対する腹腔鏡手術の有用性について. *神奈川産科婦人科学会誌*. 2013; 49: 80-83.

土屋佳子, 金善恵, 友坂真理子, 大河内緑, 宮内安澄, 鈴木毅, 樋口隆幸, 村越行高, 上野和典, 染谷健一, 岩田壮吉, 林保良. 巨大卵巣腫瘍のため膈ヘルニアをきたした悪性転化を伴う成熟嚢胞性奇形腫の1例. *神奈川産科婦人科学会誌*. 2014; 1: 71-74.

樋口隆幸, 鈴木 毅, 梶之浦佳奈, 安達将隆, 飯田美穂, 黒田恵子, 藪野 彰, 金 善恵, 浅井 哲, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 腹腔鏡手術、帝王切開術を経て発症した腹壁癒痕部子宮内膜症の1例. *神奈川産科婦人科学会誌*. 2013; 49: 76-79.

鈴木 毅, 林 保良, 原田佳奈, 飯田美穂, 藪野 彰, 金 善恵, 浅井 哲, 大河内緑, 樋口隆幸, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉. 子宮動脈塞栓術後、子宮鏡下に切除しえた巨大筋腫分娩の1例. *神奈川産科婦人科学会誌*. 2014; 1: 6-10.

(1 2) 耳鼻咽喉科

國弘幸伸, 相馬啓子. 下船病とその周辺疾患 脳脊髄液減少症の臨床像と病態 (解説) . . *Equilibrium Research*. 2014; 73: 174-186.

(1 3) 麻酔科

安藤嘉門, 増田純一. 硬膜外麻酔の晩期合併症. *日本医事新報* . 2014; 4689: 59-60.

(1 4) 救急科

Gonai S, Doi K, Noguchi K, Kanao K, Gonnori S, Saito Y, Oshiro K, Takahashi S, Ito S, Takuma K. Extraoral autoreduction of temporomandibular joint dislocation: a preliminary clinical study. *Am J Emerg Med*. 2015; 33: 588-589.

田熊清継. 【熱傷治療ガイド 2014】熱傷の病態と全身管理 熱傷感染対策. *救急医学*. 2014; 38: 1211-1218.

土井賢治. 【症状・訴えの変化から読み取る急変サインの見抜き方】(シーン7) 脳梗塞の患者さん。尿道留置カテーテル交換2時間後、尿量が急激に減少し、血尿が見られた. *エキスパートナース増刊*. 2014; 30: 45-50.

(15) 歯科口腔外科

安居孝純, 鬼澤勝弘, 軽部健史, 兵藤朋子, 臼田 慎, 河奈裕正. 自殺企図後にインプラント治療を行った統合失調感情障害の1例. . 日本顎顔面インプラント学会誌. 2014; 13: 9-14.

鬼澤勝弘, 安居孝純, 蔭山雄基, 軽部健史, 兵藤朋子, 岩崎良太郎. 頬脂肪体に発生した血管奇形の1例. . 日本口腔外科学会雑誌. 2014; 60: 416-420.

鬼澤勝弘, 安居孝純, 軽部健史, 岩崎良太郎, 蒔生田整治, 臼田 慎, 宮下英高, 小高利絵, 兵藤朋子, 内山公男. 鼻腔内に萌出した逆生過剰歯の1例. . 日本小児口腔外科学科誌. 2014; 24: 45-49.

鬼澤勝弘. 知らないと怖いお口の病気. . 川崎市歯科医師会健康通信. 2015; 6: 2-7.

佐藤 仁, 村岡 渡, 西須大徳, 臼田 頌, 蒔生田整治, 河奈裕正, 中川種昭, 和嶋浩一. 顎関節症・咀嚼筋痛障害に伴う慢性疼痛へのトラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠の使用経験. . 日本顎関節学会誌. 2014; 26: 9-14.

西須大徳, 落合駿介, 鳩貝 翔, 佐藤 仁, 臼田 頌, 村岡 渡, 蒔生田整治, 河奈裕正, 中川種昭, 和嶋浩一. 抗精神病薬による薬剤性口顎ジストニアの1例. . 日本顎関節学会誌. 2014; 26: 15-19.

(16) 検査科

Uetake Y, Ikeda H, Irie R, Tejima K, Mitui H, Ogura S, Wang H, Mi S, Hrohana D, Ando K, Sawamura T, Yatomi Y, Fujita T, Shinosawa T. High salt in addition to high fat diet may enhance inflammation and fibrosis in liver steatosis induced by oxidative stress and dyslipidemia in mice. . *Lipids Health Dis.* 2015; 14:

(17) 薬剤部

小林 岳. 経営に貢献できる医療情報管理のあり方 第5回. . 最新医療経営 Phase 3 . 2014; 357: 44-45.

小林 岳. 経営に貢献できる医療情報管理のあり方 第6回. . 最新医療経営 Phase 3 . 2014; 358: 44-45.

(18) 看護部

吉崎弘之, 西森春江. 継続看護に向けた精神科病棟と外来の取り組み～現状と課題～. . 継続看護時代の外来看護. 2014; 19: 54-59.

高良由美子, 長澤聖子, 酒井友美, 篠山 薫. 継続看護に向けた産科病棟と外来の取り組み～現状と課題～. . 継続看護時代の外来看護. 2014; 19: 60-65.

7 学会・研究会

(1) 内科・総合診療科

Kabata H, Muro K, Fukunaga K, Suzuki Y, Miyata J, Masaki K, Koyasu S, Betsuyaku T, Asano K, Asano K. Hmzi de, a STAT5 inhibitor, counteracts corticosteroid-resistant airway inflammation induced by IL-33 and TSLP. Annual International Conference of American thoracic society. 2014年5月. サンディエゴ(アメリカ).

<http://www.atsjournal.s.org/doi/abs/10.1164/ajrccm.conference.2014.189.1.MeetingAbstracts.A4230>.

安部悠人, 井上健太郎, 相浦浩一, 星本相淳, 市東昌也, 有泉 健, 高木英恵, 玉井博修. 一連

の内視鏡的ドレナージが奏功した乳頭部嵌頓膵石由来の壊死性急性膵炎の1例. 第99回日本消化器内視鏡学会関東地方会. 2014年12月. 東京. 抄録: *Prog Dig Endosc* 86: Suppl. p. 121.

井上健太郎, 相浦浩一, 星本相淳, 市東昌也, 有泉 健, 高木英恵, 玉井博修. 緊急胆膵内視鏡検査における抗血栓薬内服と出血偶発症に関する検討. 第88回日本消化器内視鏡学会. 2014年5月. 福岡. 抄録: *Gastroenterol Endosc* 56: Suppl. 2 p. 3044.

井上健太郎, 相浦浩一, 星本相淳, 小柳和夫, 市東昌也, 有泉 健, 高木英恵, 玉井博修. 2チャンネルスコープを応用し, 胃内に落下したボタン型胃瘻バンパーを回収し得た1例. 第98回日本消化器内視鏡学会関東地方会. 2014年6月. 東京. 抄録: *Prog Dig Endosc* 85: Suppl. p. 107.

加畑宏樹, 茂呂和世, 小安重夫, 浅野浩一郎. シンポジウム: 重症喘息におけるナチュラルヘルパー細胞の関与と治療法の探索. 第26回日本アレルギー学会春季臨床大会. 2014年5月. 京都. 抄録集 p. 374.

加畑宏樹. IL-33 and TSLP induce corticosteroid-resistant eosinophilic airway inflammation via natural helper cells. 第54回日本呼吸器学会学術講演会. 2014年4月. 大阪. 抄録集 p. 364.

加畑宏樹. 講演: 「呼吸器研究の新機軸」喘息における Natural helper 細胞の関与. 第41回佐島シンポジウム. 2014年10月. 京都.

加畑宏樹. 講演: 重症喘息に対するアプローチ. 第10回川崎南部アレルギー研究会. 2015年1月. 川崎.

吉井 肇, 細田智弘, 坂本光男, 野崎博之, 岡野 裕, 秋月哲史. 免疫再構築症候群により進行性多巣性白質脳症にて死亡した AIDS の1例. 第606回日本内科学会関東地方会. 2014/06/01. 東京. 抄録集 p. 35.

吉井 肇, 坂本光男, 相楽裕子. 腸管出血性大腸菌感染症に伴う HUS/脳症合併状況に関する調査 2006年~2013年. 第88回日本感染症学会. 2014/06/01. 京都. 抄録: 感染症学雑誌 88: 802.

橋本麻実, 細田智弘, 吉井 肇, 坂本光男, 岡野 裕, 有馬聖永, 野崎博之, 秋月哲史. 経過と髄液圧上昇から診断しえたクリプトコックス髄膜炎による AIDS の1例. 第610回日本内科学会関東地方会. 2014/11/01. 抄録集 p. 42.

玉城博章, 工藤雄大, 東野俊洋, 田口博章, 大曾根康夫, 岡野 裕, 野崎博之, 秋月哲史. 顕微鏡的多発血管炎(MPA)の治療中にニューモシスチス肺炎(PCP)を併発し巨大肺嚢胞を呈したが、薬物治療により縮小した1例. 第609回日本内科学会関東地方会. 2014/10/01. 東京. 抄録集 p. 28.

工藤雄大, 田口博章, 楠 芳恵, 大曾根康夫, 岡野 裕. 虫垂炎遺残膿瘍合併のため免疫グロブリン大量療法単独で治療し効果がみられた初発皮膚筋炎の一例. 第47回関東リウマチ研究会. 2014/06/01. 東京.

工藤雄大, 東野俊洋, 田口博章, 大曾根康夫, 岡野 裕. リンパ増殖性疾患(LPD)を発症した関節リウマチ(RA)の臨床特徴. 第59回日本リウマチ学会総会・学術集会・国際リウマチシンポジウム. 2014/04/01. 名古屋. プログラム・抄録集 p. 599.

高橋香菜, 田中希宇人, 長谷川 司, 荒井亮輔, 加畑宏樹, 大森奈緒, 佐山宏一, 野崎博之, 岡野 裕, 秋月哲史. 喀血で診断された肺底動脈大動脈起始症の1例. 第613回日本内科学会関東地方会. 2014/06/01. 東京. 抄録集 p. 40.

高田昌幸, 津村和夫, 富岡拓矢, 宮川俊一, 野崎博之, 有馬 功一郎, 岡野 裕, 秋月哲史. 尋常性白斑と顔面神経麻痺を合併した緩徐進行型1型糖尿病の1例. 第611回日本内科学会関東地方会. 2014/12/01. 東京. 抄録集 p. 37.

細田智弘, 今村顕史. 赤痢アメーバ症に関する調査 2012年～2013年. 第88回日本感染症学会. 2014/06/01. 京都. 抄録: 感染症学雑誌 88: 725.

細田智弘, 松田直人, 高橋雄一, 鈴木麻衣, 福井由希子, 乾 啓洋, 内藤俊夫. ラルテグラビルの大量内服後に重篤な有害事象なく経過した HIV感染者の一例. 第28回日本エイズ学会. 2014/12/01. 大阪. 抄録: 日本エイズ学会誌 16: 631.

西澤健也, 深江智明. 上腕動脈内で断裂したアンプラッツ型ガイディングカテーテルをスネア鉗子を用いて回収できた一症例. 第44回日本心血管インターベンション治療学会関東甲信越地方会. 2014年5月. 東京.

津村和大. 糖尿病療養指導スタッフの育成と多職種連携への期待. 相模原市内科医会学術講演会. 2014年4月. 相模原市.

津村和大. 糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～. 平成26年度第1回糖尿病足病変の指導者研修. 2014年6月. 川崎市.

津村和大. 診療科・職種をまたいだ医療連携. 川崎 CKDフォーラム. 2014年6月. 川崎市.

津村和大. 糖尿病患者さんのフットケア ～フットケアについての正しい知識～. 神奈川県糖尿病協会研修. 2014年6月. 箱根町

津村和大. ウィリアム・カレン賞 受賞講演「これまでの歩み これからの歩み」. 第2回日本糖尿病協会療養指導学術集会. 2014年7月. 京都市.

津村和大. 糖尿病治療・ケアにおける地域医療連携と日糖協活動「新たなステージを迎えた糖尿病地域連携」. 第2回日本糖尿病協会療養指導学術集会. 2014年7月. 京都市.

津村和大. 糖尿病療養指導における食事療法の位置付け. 医薬連携講演会. 2014年7月. 川崎市.

津村和大. 糖尿病療養指導における多様なニーズに応える体制創り. 第2回地域の糖尿病診療を考える会. 2014年7月. 大阪市.

津村和大. 戦略研究の意義と大規模臨床研究としての戦略研究の仕組み. 厚生労働省「健康医療分野における大規模データの分析及び基盤整備に関する研究」説明会. 2014年8月. 東京

津村和大. 糖尿病診療・市民啓発における SNS活用の可能性「SNSを通じた市民啓発活動 ～日本糖尿病協会の試み～」. 第14回日本糖尿病情報学会年次学術集会. 2014年8月. 岐阜市.

津村和大. 糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～. 平成26年度第2回糖尿病足病変の指導者研修. 2014年6月. 川崎市.

津村和大. 臨床研究を取り巻く最近の話題 ～質の高い観察研究への期待～. 医薬連携講演会. 2014年11月. 川崎市.

津村和大. 糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～. 平成26年度第3回糖尿病足病変の指導者研修. 2014年12月. 川崎市.

高田昌幸, 津村和大, 富岡拓矢, 宮川俊一, 野崎博之, 有馬功一郎, 岡野裕, 秋月哲史. 尋常性白斑と顔面神経麻痺を合併した緩徐進行型1型糖尿病の1例. 第611回日本内科学会関東地方会例会. 2014年12月. 東京

津村和大. 糖尿病療養指導の“ちから”を最大限に伸ばすために ～仲間創り・組織創りの道標～. 第11回福井糖尿病療養指導セミナー. 2014年12月. 福井市.

津村和大. 糖尿病療養指導の“ちから”を最大限に伸ばすために ～仲間創り・組織創りの道標～. 第2回大磯地区糖尿病 Conference. 2014年12月. 大磯市.

金澤美穂, 亀山亜希夫, 長澤恵梨子, 清水谷弘美, 太田博子, 樋口直美, 井上彰大, 坪田結香, 内

海俊一，土井賢治，渡部桂子，伊藤真梨，井上健太郎，津村和大．嚥下障害を伴う患者に対する栄養サポートチーム介入の分析．第 18 回日本病態栄養学会年次学術集会．2015 年 1 月．横浜市．

津村和大．学会発表・論文作成のポイント ～実例を通じて学ぼう～．第 72 回明日からの実践に役立つ川崎市糖尿病セミナー．2015 年 1 月．川崎市．

津村和大．PARINER Study を通じて得られた経験と今後の臨床研究．糖尿病腎症に対する脂質治療を考える会．2015 年 1 月．川崎市．

津村和大．検査データの考え方 ～病態を理解した療養指導のために～．第 16 回神奈川県糖尿病療養指導研究会研修会．2015 年 2 月．川崎市．

津村和大．教育現場で感じる SGLT2 阻害薬のポジショニング．第 1 回糖尿病 Up Date in Kawasaki．2015 年 2 月．川崎市．

津村和大．糖尿病足病変の病態と治療 ～指導者としての心得～．平成 26 年度第 4 回糖尿病足病変の指導者研修．2015 年 3 月．川崎市．

津村和大．施策立案に繋がるエビデンスの創出を目指して ～医療を動かすために必要なこと～．第 50 回愛媛糖尿病チーム医療研修会（20 周年記念オープンセミナー）．2015 年 3 月．松山市．

川口隆久，工藤雄大，東野俊洋，田口博章，大曾根康夫，野崎博之，岡野 裕，入江理恵，秋月哲史．胃癌、食道癌の診断とほぼ時期を同じくして発症し、癌の治療により軽快した関節リウマチ（RA）の 1 例．第 613 回日本内科学会関東地方会．2015/ 03/ 01．東京．抄録集 p. 45.

前田裕斗，藤澤 有希，工藤雄大，田口博章，楠 芳恵，大曾根康夫，野崎博之，岡野 裕，秋月哲史．脳梗塞・腸炎を併発した男性・高齢発症の大動脈炎症候群の 1 例．第 605 回日本内科学会関東地方会．2014/ 05/ 01．東京．抄録集 p. 21.

大田貴弘，井上健太郎，有泉 健，高木英恵，玉井博修，岡野 裕，野崎博之，秋月哲史．急性胆嚢炎の加療中に発症した胆石性イレウスの 1 例．第 611 回日本内科学会関東地方会．2014 年 12 月．東京．抄録集 p. 41.

竹原朋宏，加畑宏樹，工藤雄大，田中希宇人，大森奈緒，杉浦 仁，佐山宏一，野崎博之，岡野 裕，秋月哲史．びまん性汎細気管支炎に ANCA 関連血管炎を合併した 1 例．第 608 回日本内科学会関東地方会．2014/ 06/ 01．東京．抄録集 p. 49.

津崎盾哉，東谷卓美，高橋 賢至，李 慧崇，西澤健也，末吉 浩一郎，田口博章，岡野 裕，野崎博之，秋月哲史．右橈骨動脈アプローチでの PCI 後に右肩痛で発症した RS3PE 症候群の 1 例．第 609 回日本内科学会関東地方会．2014/ 10/ 01．東京．抄録集 p. 33.

津村和大．新たなステージを迎えた糖尿病地域連携．抄録：DM Ensemble 3 増刊号 p. 52.

田口博章，東野俊洋，工藤雄大，大曾根康夫，岡野 裕，秋月哲史．関節リウマチに対するエタネルセプト（ETA）治療効果の超音波パワードプラ検査（PLS）による長期経時的評価．第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会・国際リウマチシンポジウム．2014/ 04/ 01．名古屋．プログラム・抄録集 p. 476.

田中希宇人，加畑宏樹，荒井亮輔，大森奈緒，佐山宏一，片山 真，野崎博之，岡野 裕，秋月哲史．肺癌による癌性髄膜炎に対してメトトレキサート髄腔内投与を施行した 32 例の臨床的検討．第 112 回日本内科学科総会・講演会．2014/ 04/ 01．京都．日本内科学会総会雑誌 104: Suppl. 225.

東野俊洋，工藤雄大，田口博章，大曾根康夫，岡野 裕．パクリタキセル投与によりびまん型皮膚硬化症を伴う全身性強皮症（diffuse cutaneous systemic sclerosis; dcSSc）を発症し、腎クリーゼから死亡に至った一例．第 59 回日本リウマチ学会総会・学術集会・国際リウマチシンポジウム．

2014/04/01. 名古屋. プログラム・抄録集 p. 578.

乃木田礼佳, 布施彰久, 坂本光男, 岡野 裕, 野崎博之, 秋月哲史, 金子淳太郎, 飯塚高浩, 西山和利. 精神症状が先行することなく意識障害で急性発症した非傍腫瘍性抗 **NMDA** 受容体脳炎の 20 歳男性例. 第 611 回日本内科学会関東地方会. 2014 年 12 月. 東京. 抄録集 p. 52.

白川和宏, 有泉 健, 井上健太郎, 高木英恵, 玉井博修, 岡野 裕, 野崎博之, 秋月哲史. 術前に診断し得た胃石による腸閉塞の 1 例. 第 607 回日本内科学会関東地方会. 2014 年 7 月. 東京. 抄録集 p. 23.

布施彰久, 工藤雄大, 井上典子, 細田智弘, 坂本光男, 岡野 裕, 野崎博之, 秋月哲史, 中島由紀子. 多発性脳内病変を認めトキソプラズマ脳炎と診断した **AIDS** の 1 例. 第 606 回日本内科学会関東地方会. 2014/06/01. 東京. 抄録集 p. 27.

淵田幹太, 深江智明, 高橋賢至, 李 慧崇, 西澤健也, 末吉浩一郎, 岡野 裕, 野崎博之, 秋月哲史. 失神にて搬送され、ドネペジルによる **torsades de pointes (TdP)** 発作と考えられた 1 例. 第 605 回日本内科学会関東地方会. 2014 年 5 月. 東京. 抄録集 p. 26.

(2) 精神科

Mizuno Y, Suzuki T, Hfer A, Fleischacker WY, Uchi da T, Yoshida K, Sakurai H, Watanabe K, Minura M, Uchi da H. Clinical and biological correlates of resilience in patients with schizophrenia: a cross-sectional study. 29th International College of Neuropsychopharmacology. 2014 年 6 月. カナダ、バンクーバー.

根本 康. シンポジウム：精神科医の勤務状況に関する Web 調査（速報）. 第 110 回 日本精神神経医学会. 2014 年 6 月. 横浜市.

根本 康. シンポジウム：法 41 条と総合病院精神医療. 第 110 回 日本精神神経医学会. 2014 年 6 月. 横浜市.

根本 康. 治療内容にこだわりを持つ家族の意向を考慮して措置診察を行った一例. 第 17 回精神保健指定医研修会. 2015 年 1 月. 東京都.

上野文彦, 鈴木健文, 中島振一郎, 内田貴仁, 大谷 愛, 三村 将, 内田裕之. ミルタザピン初期治療での改善に乏しいうつ病患者に対する増量効果. 第 24 回日本臨床精神神経薬理学会/ 第 44 回日本神経精神薬理学会合同年会. 2014 年 11 月. 名古屋市.

(3) 小児科

安藏 慎. 教育講演：川崎市における学校検尿成績と川崎病院 I 型および II 型糖尿病症例. 第 276 回川崎市小児科医会学術研究会. 2014 年 10 月. 川崎市.

遠藤ゆかり, 野口 悟, 原 雄二, 林由紀子, 村上信行, 木津りか, 番場正博, 埜中征哉, 西野一三. **ORA1** 遺伝子変異が **Tubular aggregate myopathy** を引き起こす. 第 56 回日本小児神経学会学術集会. 2014 年 5 月. 浜松市.

江原和美, 石川真由美, 檜林 敦, 安藏 慎, 番場正博, 高橋孝雄. 甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン療法が有用であった原因不明の小脳脳幹脳炎の 9 歳女児. 第 46 回 日本小児感染症学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 東京都.

江原和美, 鳥居健一, 三谷麻里絵, 本田 堯, 荒木耕生, 後藤正之, 檜林 敦, 津村由紀, 安藏 慎, 番場正博, 岩田 敏. 尿培養から **Haemophilus parainfluenzae** が分離された尿路感染症の男児例. 第 331 回日本小児科学会神奈川県地方会 第 56 回小児科分科会. 2014 年 11 月. 横浜市.

三谷麻里絵, 古市宗弘, 鳴海覚志, 長谷川奉延, 千賀宗子, 内田信一, 佐藤清二. **KHL3** 変異によ

る偽性低アルドステロン症に複合型下垂体機能低下症を合併した1男児例. 第48回日本小児内分泌学会学術集会. 2014年9月. 浜松市.

三谷麻里絵, 鳥居健一, 江原和美, 本田 堯, 荒木耕生, 後藤正之, 檜林敦, 津村由紀, 安藏慎, 番場正博, 梶原久美子, 森 和広. 感染を契機として溶血発作をおこし、グルコース6リン酸脱水素酵素 (G6PD) 欠損症と診断された1男児例. 第332回日本小児科学会神奈川県地方会第32回神奈川小児科医会総会. 2015年3月. 横浜市.

新庄正宜, 岩田 敏, 上牧 勇, 川上千春, 佐藤明弘, 木内 英, 込山 修, 佐藤吉壮, 城 裕之, 高橋弘剛, 中尾 歩, 檜林 敦, 葦澤眞理, 番場正博, 三田村敬子, 山田健一朗, 高橋孝雄, 菅谷憲夫. 小児インフルエンザワクチンの効果-迅速診断を用いた test-negative case-control study. 第63回日本感染症学会東日本地方会総会学術集会、第61回日本化学療法学会東日本支部総会 合同学会. 2014年10月. 東京都.

石川真由美, 鳥居健一, 江原和美, 三谷麻里絵, 本田 堯, 荒木耕生, 後藤正之, 檜林 敦, 津村由紀, 安藏 慎, 番場正博, 高橋孝雄. 急性炎症性脱髄性多発ニューロパチーの症状・所見が現病の脳性麻痺により修飾され診断に苦慮した1例. 第329回日本小児科学会神奈川県地方会・総会. 2014年6月. 横浜市.

津村由紀, 世間瀬基樹, 川口隆弘, 森田久美子, 小室久子, 近藤麻伊, 千葉剛史, 夏目 統, 北沢 博, 山本貴和子, 二村昌樹, 成田雅美, 大矢幸弘. 食物アレルギー診療に関する専門研修プログラム(第2期)の実施. 第46回日本医学教育学会大会. 2014年7月. 和歌山県和歌山市.

檜林 敦. 迅速抗原検査を用いたインフルエンザワクチンの有効性の検討. 第14回 神奈川 PRD 研究会. 2014年10月. 横浜市.

堀向健太, 林 啓一, 津村由紀, 野村伊知郎, 成田雅美, 大矢幸弘, 斎藤博久, 松本健治. 1歳から9歳未満児における、Grade 3以上の食物少量負荷試験陽性予測プロバビリティーカーブと陰性予測閾値. 第51回日本小児アレルギー学会. 2014年11月. 三重県四日市市.

堀向健太, 林 啓一, 津村由紀, 野村伊知郎, 成田雅美, 大矢幸弘, 斎藤博久, 松本健治. 1歳から9歳未満児における、総 IgE値・年齢を用い層別化を行った少量食物負荷試験陽性予測プロバビリティーカーブ. 第51回日本小児アレルギー学会. 2014年11月. 三重県四日市市.

本田 堯, 江原和美, 石川真由美, 一色恭平, 安藤枝里子, 小島拓朗, 檜林 敦, 津村由紀, 中尾 歩, 安藏 慎, 番場正博, 樋口昌孝, 川崎一輝, 松岡健太郎. 2か月前からの声低音化で発症した再発性多発軟骨炎13歳女児例. 第328回日本小児科学会神奈川県地方会. 2014年4月. 横浜市.

(4) 新生児内科

古川 律子, 坂井みのり, 原 香織, 梶原久美子, 森 和広. 寛解していない摂食障害の母体から出生した極低出生体重児の2症例. 第59回日本未熟児新生児学会. 2014年10月. 愛媛県松山市.

(5) 外科

井上和茂, 和多田 晋, 掛札敏裕, 鳥飼秀幸, 成松芳明. 尿管総腸骨動脈瘻による出血性ショックに対し、ステントグラフト内挿術を施行した1例. 第5回川崎大動脈ステントグラフト研究会. 2014年7月. 川崎市.

井上和茂, 和多田 晋, 掛札敏裕. 腹部大動脈瘤 Ygraft とステントグラフト脚吻合部破綻の1例. 第7回川崎大動脈ステントグラフト研究会. 2015年2月. 川崎市.

掛札敏裕. 血管外科から見た下肢虚血の診療. 第25回糖尿病チーム医療の為の懇話会. 2014年5

月. 川崎市.

高 聖淵, 和多田晋, 筒井麻衣, 松永篤志, 萬谷京子, 星本相淳, 夏 錦言, 市東昌也, 相浦浩一, 掛札敏裕. 幽門側胃切除後タンニンを主成分とする胃石イレウスを発症した 1 例. 第 76 回日本臨床外科学会. 2014 年 11 月. 福島県郡山市.

細田篤志, 相浦浩一, 市東昌也, 星本相淳, 白井 俊, 堂本佳則, 切詰和孝, 井上和茂, 筒井麻衣, 松永篤志, 和多田晋, 萬谷京子, 夏 錦言, 杉浦 仁, 掛札敏裕. 核出術により切除し得た膜リンパ管腫の 1 例. 第 41 回日本膜切研究会. 2014 年 8 月. 東京都.

市東昌也, 掛札敏裕, 田熊清継, 田中 求, 和多田晋, 萬谷京子, 星本相淳, 壁島康郎, 小柳和夫, 相浦浩一. *Acute care surgery* における消化器外科医の果たす役割-市中病院での実践と展望-. 第 69 階日本消化器外科学会. 2014 年 7 月. 福島県郡山市.

市東昌也, 星本相淳, 相浦浩一. 膜体尾部切除術の術後合併症に対する工夫-自動縫合器切離法の有用性-. 第 26 回日本肝胆膜外科学会学術集会. 2014 年 6 月. 和歌山県和歌山市.

市東昌也, 相浦浩一, 星本相淳, 筒井麻衣, 松永篤志, 和多田 晋, 萬谷京子, 夏 錦言, 掛札敏裕, 杉浦 仁. 無再発長期生存中の肝門部胆管原発悪性リンパ腫の 1 切除例. 第 76 回日本臨床外科学会. 2014 年 11 月. 福島県郡山市.

市東昌也, 相浦浩一, 星本相淳. 尾側膜切除術における膜断端処理法. 第 41 回日本膜切研究会. 2014 年 8 月. 東京都.

森田 覚, 小柳和夫, 田中 求, 和多田晋, 萬谷京子, 星本相淳, 壁島康郎, 市東昌也, 相浦浩一, 杉浦 仁, 掛札敏裕, 大森 泰. 食道癌肉腫の 1 切除例. 第 98 回日本消化器内視鏡学会関東地方会. 2014 年 6 月. 東京都.

星本相淳, 相浦浩一, 市東昌也. 腫瘍形成により膜癌との鑑別が困難であった限局性自己免疫性膜炎の 3 切除例. 第 26 回日本肝胆膜外科学会学術集会. 2014 年 6 月. 和歌山県和歌山市.

星本相淳, 相浦浩一, 市東昌也. 膜頭部切除時における胃管による胃(十二指腸)空腸吻合部直線化症例の DGE 発生要因に関する検討. 第 41 回日本膜切研究会. 2014 年 8 月. 東京都.

筒井麻衣, 松永篤志, 和多田 晋, 萬谷京子, 星本相淳, 夏 錦言, 市東昌也, 相浦浩一, 掛札敏裕. 80 歳以上高齢者胃癌切除症例の臨床学的特徴と周術期リスク解析. *Kanagawa Conference of Clinical Oncology*. 2015 年 2 月. 横浜市.

筒井麻衣, 松永篤志, 和多田晋, 萬谷京子, 星本相淳, 夏 錦言, 市東昌也, 相浦浩一, 大森泰, 掛札敏裕. 当院における胃癌内視鏡的切除例の異時性胃癌に関する検討. 第 87 回日本胃癌学会総会. 2015 年 3 月. 広島市.

和多田 晋, 岡村 亮, 掛札敏裕. 回収可能型下大静脈フィルター抜去に難渋した 1 例. 第 34 回日本静脈学会. 2014 年 4 月. 沖縄県名護市.

和多田 晋, 掛札敏裕. *A case report of inferior vena cava filter that was suffered from retrieval*. 東京上海インターナショナルカンファレンス. 2014 年 11 月. 東京都.

和多田 晋, 掛札敏裕. *PIA 後 8 カ月で重症虚血肢に至った 1 例*. 第 2 回 *J-Rescue THE RELATIONSHIP AWAKENS*. 2014 年 6 月. 東京都.

和多田 晋, 掛札敏裕. 回収可能型下大静脈フィルター抜去に難渋した 1 例. 第 42 回日本血管外科学会. 2014 年 5 月. 青森市.

和多田 晋, 掛札敏裕. 血管内レーザー焼灼術 (EMLA) におけるデクスメデトミジン塩酸塩による鎮静効果の検討. 第 55 回日本脈管学会. 2014 年 10 月. 岡山県倉敷市.

和多田 晋, 掛札敏裕. 動静脈瘻が **ABPI** 低下の原因と推察される 1 例. 第 161 血管外科症例検討会. 2014 年 9 月. 東京都.

萬谷京子, 白井 俊, 堂本佳典, 細田篤志, 切詰和孝, 井上和茂, 筒井麻衣, 松永篤志, 和多田 晋, 星本相淳, 夏 錦言, 市東昌也, 相浦浩一, 掛札敏裕. **TO-2NDM0** 乳癌手術症例における センチネルリンパ節生検の臨床上の意義の検討. 第 76 回日本臨床外科学会総会. 2014 年 11 月. 福島県郡山市.

(6) 呼吸器外科

江口圭介, 澤藤 誠. 化学療法に難渋した非結核性抗酸菌症に対して右肺全摘術を施行した 1 例. 第 31 回日本呼吸器外科学会総会. 2015 年 5 月. 東京都.

澤藤誠, 江口圭介. 主気管支浸潤をともなった左下葉肺腺癌に対し左下葉・舌区管状切除を施行した 1 例. 第 31 回日本呼吸器外科学会総会. 2015 年 5 月. 東京都.

(7) 脳神経外科

今西智之. 特別講演: 脳動脈瘤治療の現状と課題 ~川崎市立川崎病院における 660 例の治療経験から~. 平成 26 年度川崎区医師会合同常会 第 50 回ミート・ザ・スペシャリスト. 2014 年 11 月. 川崎市.

片山 真, 植田 良, 今西智之. **Stupp's regimen** 開始後、早期 **Bevacizumab** 導入が奏功した高齢者 **Glioblastoma** の一例. 神奈川悪性脳腫瘍セミナー. 2014 年 4 月. 横浜市.

(8) 整形外科

Anes C, Funao H, Tabaraee E, Scheer J, Deviren V, Kebai sh K. A report of 52 cases of three-column osteotomies of the upper thoracic spine and cervicothoracic junction: complications, outcomes and differential impact on spinal pelvic parameters, Cervical sagittal alignment and general health status. 21th International Meeting on Advanced Spine Techniques. 2014 年 7 月. スペイン、バレンシア.

Brooks J, Dafrawy M, Funao H, Naef F, Kebai sh K. Clinical and radiographic outcome of anterior lumbar interbody fusion (ALIF) using a low cost construct with femoral allograft and large fragment screws. 21th International Meeting on Advanced Spine Techniques. 2014 年 7 月. スペイン、バレンシア.

Funao H, Naef F, Brooks J, Skolasky R, Kebai sh K. Clinical results and functional outcome of revision surgery for distal junctional failure in the lumbosacral spine. 49th Scoliosis Research Society. 2014 年 9 月. 米国、アンカレッジ.

Funao H, Naef F, Brooks J, Skolasky R, Kebai sh K. Recurrence proximal junctional kyphosis following adult spinal deformity surgery: incidence and risk factors. 49th Scoliosis Research Society. 2014 年 9 月. 米国、アンカレッジ.

Funao H, Naef F, Lafage V, Schwab F, Mndis G, McCarthy I, Hart R, Hstin R, Smith J, Bess D, Anes C, Kebai sh K, International Spine Study Group. Time course changes of health related quality of life after three column osteotomies in adult spinal deformity. 29th North American Spine Society. 2014 年 11 月. 米国、サンフランシスコ.

Funao H, Naef F, Lafage V, Schwab F, Mndis G, McCarthy I, Hart R, Hstin R, Smith J, Bess D, Anes C, Kebai sh K, International Spine Study Group. Time course changes of health related quality of life after three column osteotomies in adult spinal deformity. 49th Scoliosis

Research Society. 2014年9月. 米国、アンカレッジ.

Funao H, Naeef F, Panchnati A, Li D, Skolasky R, Kebai sh K, Brooks J. Clinical results and functional outcome of lumbo-sacral 3 column osteotomies in adult spinal deformity patients. 21st International Meeting on Advanced Spine Techniques. 2014年7月. スペイン、バレンシア.

Funao H, Naeef F, Skolasky R, Kebai sh K. Recurrence proximal junctional kyphosis following adult spinal deformity surgery: incidence and risk factors. 29th North American Spine Society. 2014年11月. 米国、サンフランシスコ.

Ishihara S, Ishii K, Kaneko Y, Funao H, Fukui Y, Toyana Y, Koyanagi T, Mitsunoto M. Efficacy of minimally invasive spine stabilization for spinal infection. 41st International Society for the Study of the Lumbar Spine. 2014年6月. 韓国、ソウル.

Isogai N, Ishii K, Hosogane N, Hkato T, Fujita N, Kaneko Y, Koyanagi T, Nakanura M, Toyana Y, Mitsunoto M. Postoperative translation of upper instrumented vertebra is a risk factor for proximal junctional deformity in the coronal plane after posterior lumbar fusion surgery. 41st International Society for the Study of the Lumbar Spine. 2014年6月. 韓国、ソウル.

Kitta Y, Nagura T, Niki Y, Tsukimura T, Hirato K, Toyana Y, Suda Y. Arthroscopic measurement of cartilage stiffness of the knee in young patients using a novel indentation sensor. Osteoarthritis Research Society International. 2014年4月. フランス、パリ.

Nshiwaki M, Welsh M, Cannon B, Ferreira LM, Johnson JA, King GJ. The effect of dorsal translation in dorsally angulated distal radius fractures on distal radioulnar joint kinematic. 69th American society for surgery of the hand. 2014年9月. 米国、ボストン.

Nshiwaki M, Welsh M, Cannon B, Ferreira LM, Johnson JA, King GJ. The effect of volarly angulated distal radius fractures on forearm rotation: in vitro biomechanical study. 30th International Wrist Investigator's Workshop. 2014年9月. 米国、ボストン.

Panchnati A, Funao H, Naeef F, Brooks J, Li D, Skolasky R, Kebai sh K. Clinical and radiological outcomes of lumbo-sacral 3 column osteotomies in adult spinal deformity patients. 2014 annual meeting of British Scoliosis Society. 2014年10月. イギリス、ブリストル.

Zebala L, Naeef F, Funao H, Lafage V, Klineberg E, Kelly M, Gupta M, Kim HJ, Mundi S, Bess S, Hart R, Schwab F, Ames C, Kebai sh K, International Spine Study Group. Revision surgery in adult spinal deformity patients achieves similar improvement in HRQL compared to primary surgery: prospective, multicenter Analysis. 49th Scoliosis Research Society. 2014年11月. 米国、サンフランシスコ.

磯貝宜広, 船尾陽生, 岡田英次郎, 塩野雄太, 森下 緑, 大門憲史, 日方智宏, 石原慎一, 金子康仁, 小柳貴裕, 中村雅也, 松本守雄, 石井 賢. 胸腰椎椎体骨折に対する経皮的椎弓根スクリューを用いた最小侵襲脊椎安定術: 多椎間固定例における矯正損失およびルーニングの検討. 第6回日本MS研究会. 2015年2月. 神戸市.

磯貝宜広, 船尾陽生, 石井 賢, 金子康仁, 大門憲史, 戸山芳昭, 松本守雄, 小柳貴裕.

Minimally invasive transforaminal lumbar interbody fusion (MIS-TLIF) 導入初期の脊椎外科フェローによるラーニングカーブ. 第17回日本低侵襲脊椎外科学会. 2014年11月. 神戸市.

磯貝宜広, 船尾陽生, 大門憲史, 小柳貴裕, 中村雅也, 松本守雄, 石井 賢. 不安定型骨盤輪骨

折に対して小皮切 *Calveston*法と *transiliac rod fixation*を併用した一例. 第6回日本 *MSt* 研究会. 2015年2月. 神戸市.

越智健介, 堀内行雄, 堀内孝一, 中村俊康, 佐藤和毅. 肘部管症候群患者における尺骨神経伸張度一上腕三頭筋内側頭の関与一. 第57回日本手外科学会学術集会. 2014年4月. 沖縄宜野湾市.
岡崎真人, 西脇正夫, 早稲田明生, 武田和樹, 梅津太郎. 当院における骨性槌指の治療成績. 第40回骨折治療学会. 2014年6月. 熊本市.

岡崎真人, 田崎憲一, 西脇正夫, 谷野善彦. *Mini plate*による *PIP*関節背側脱臼骨折の治療経験 経皮的手術との比較. 第57回日本手外科学会学術集会. 2014年4月. 沖縄宜野湾市.

鎌田泰裕, 小柳貴裕, 平賀 聡, 金田和也, 大門憲史, 浅野拓行, 磯貝宜広, 橋田祐樹, 堀内孝一, 別所祐貴, 原藤健吾, 中道憲明, 堀内行雄. リウマチ性多発筋痛症と骨盤脆弱性骨折が合併し診断に難渋した1例. 神奈川整形災害外科研究会. 2014年7月. 横浜市.

金田和也, 小柳貴裕, 堀内行雄, 中道憲明, 原藤健吾, 金子康仁, 別所祐貴, 堀内孝一, 橋田祐樹, 磯貝宜広, 浅野拓行, 梅津太郎. *Crowned dens syndrome*の3例. 神奈川整形災害外科研究会. 2014年7月. 横浜市.

小宮浩一郎, 磯貝宜広, 中間楽平, 原藤健吾. *TKA*後に生じた膝蓋腱断裂に対し、*Leeds-Kei o*人工靭帯による再建に加えて大腿四頭筋腱の *VY*形成を要した1例. 第45回 日本人工関節学会. 2015年2月. 福岡市.

小宮浩一郎. 特別講演・招待講演：*BCG*骨髄炎. 第18回 神奈川東部整形外科症例検討会. 2014年11月. 横浜市.

小宮浩一郎. 特別講演・招待講演：*TKA*後の膝蓋腱断裂に対し人工靭帯を使用した再建術を行い、感染を生じた1例. 第7回 *OEC*アドバンスコース *KNEE* 2014年10月. 東京都.

小宮浩一郎. 特別講演・招待講演：生物学的製剤は関節リウマチ手術を減少させたか？. 第18回 川崎リウマチ・膠原病診療懇話会. 2014年6月. 川崎市.

小柳貴裕. 特別講演・招待講演：種々の疾患による下垂足. 第2回 *Kawasaki orthopedic conference*. 2014年7月. 川崎市.

小柳貴裕. 特別講演・招待講演：整形外科領域の結核脊椎カリエスを中心として. 第63回日本感染症学会東日本地方会学術集会 . 2014年10月. 東京都.

森田晃造, 大橋麻依子, 堀内行雄. 重度手根管症候群に対する長掌筋腱を用いた腱移行法の1考案. 第29回東日本手外科学会. 2015年3月. 仙台市.

森田晃造, 堀内行雄. *Polyaxial locking plate*を用いた橈骨遠位端骨折治療例の遠位骨片の固定本数の違いにおける固定性の検討—*2nd row*の意義—. 第57回日本手外科学会学術集会. 2014年4月. 沖縄宜野湾市.

西脇正夫, *Welsh M Cannon B Ferreira LM Johnson JA King GJ*. 橈骨遠位端骨折の背屈転位が遠位橈尺関節の *kinematics* に与える影響. 第57回日本手外科学会学術集会. 2014年4月. 沖縄宜野湾市.

西脇正夫, *Welsh M Cannon B Ferreira LM Johnson JA King GJ*. 橈骨遠位端骨折の背屈背側複合転位が遠位橈尺関節の *kinematics* に与える影響. 第87回日本整形外科学会. 2014年5月. 神戸市.

西脇正夫, *Welsh M Cannon B Ferreira LM Johnson JA King GJ*. 橈骨遠位端骨折の背屈背側複合転位が前腕自動回内外可動域に与える影響. 第40回骨折治療学会. 2014年6月. 熊本市.

西脇正夫, Willing R, Johnson J, King G, Athwal G, 堀内孝一, 別所祐貴, 堀内行雄. 肘関節3次元動的コンピューターモデルの妥当性の評価. 第27回日本肘関節学会. 2015年2月. 沖縄宜野湾市.

西脇正夫, 堀内孝一, 別所祐貴, 堀内行雄, 岡崎真人, 田崎憲一. シンポジウム: 橈骨遠位端骨折に対するMIRNAILを用いた手術治療. 第20回日本最少侵襲整形外科学会. 2014年11月. 栃木県宇都宮市.

西脇正夫. 特別講演・招待講演: 手・肘の骨折治療. 平成26年度 名倉接骨医学研究会. 2014年10月. 東京都.

西脇正夫. 変形性肘関節症に対するdebridement arthroplastyのコンピューターシミュレーション. 第27回日本肘関節学会. 2015年2月. 沖縄宜野湾市.

石原慎一, 石井 賢, 船尾陽生, 金子康仁, 戸山芳昭, 松本守雄. 脊椎感染症に対する経皮的挿入椎弓根スクリューを用いた最小侵襲脊椎安定術の治療成績. 第43回日本脊椎脊髄病学会. 2014年4月. 京都市.

石原慎一, 石井 賢, 船尾陽生, 金子康仁, 福井康之, 戸山芳昭, 松本守雄. 脊椎疾患に対する低侵襲脊椎固定術 難治性脊椎感染症に対するPPSを用いたMISの有効性. 第20回日本最小侵襲整形外科学会. 2014年11月. 栃木県宇都宮市.

石濱寛子, 石井 賢, 永井重徳, 柿沼祐亮, 佐々木文, 蔵本哲也, 吉岡研之, 船尾陽生, 相澤守, 岡田保典, 小安重夫, 戸山芳昭, 松本守雄. 生体内で優れた抗菌効果をもつ新規合成樹脂製インプラントの開発. 第43回日本脊椎脊髄病学会. 2014年4月. 京都市.

船尾陽生, 大門憲史, 磯貝宜広, 小柳貴裕, Khaled K. 強直性脊椎炎の頸椎骨折に対する後方固定術中に起きた脊髄モニタリング信号損失の1例. 第16回圧迫性脊髄症研究会. 2015年1月. 東京都.

船尾陽生, 大門憲史, 磯貝宜広, 小柳貴裕. 成人腰椎部における硬膜内髄外腫瘍として発生した類表皮嚢腫の1例. 第55回関東整形災害外科学会. 2015年3月. さいたま市.

船尾陽生, 大門憲史, 磯貝宜広, 小柳貴裕. 長期透析後に生じた透析性脊椎症の1例. 第85回神奈川脊椎脊髄研究会. 2015年2月. 横浜市.

船尾陽生, 平賀 聡, 大門憲史, 福原悠介, 磯貝宜広, 橘田祐樹, 別所祐貴, 小宮浩一郎, 西脇正夫, 中道憲明, 堀内行雄, 小柳貴裕. 脊椎疾患による神経根症状に似た帯状疱疹による神経痛様疼痛. 第32回川崎市医師会医学会. 2015年2月. 川崎市.

船尾陽生. 特別講演・招待講演: 低侵襲脊椎手術 経皮的椎弓根スクリュー 最近の知見. 日本ndm研修会. 2015年3月. 東京都.

大門憲史, 磯貝宜広, 中道憲明, 小宮浩一郎, 西脇正夫, 別所祐貴, 堀内孝一, 橘田祐樹, 平賀聡, 西田有正. 保存的治療で改善を認めた小児炎症性斜頸の2例. 第152回神奈川整形災害外科研究会. 2014年10月. 横浜市.

大門憲史, 小柳貴裕, 船尾陽生. MRI像で頸髄後角から後根進入部(dorsal root entry zone: DREZ)に輝度変化を伴いradiculopathy様症状を呈した2例. 第153回神奈川整形災害外科研究会. 2015年2月. 横浜市.

丹羽 理, 小宮浩一郎, 寺田信樹, 山田光子, 日下部 浩, 加藤慎一. 単顆人工膝関節置換術後の脛骨内顆骨折に対する治療経験. 第123回 中部日本整形災害外科学会・学術集会. 2014年10月. 名古屋市.

丹羽 理, 日下部 浩, 寺田信樹, 山田光子, 小宮浩一郎, 加藤慎一. ピエール・ロバン症候群を背景とする 12 歳での両側 **Cavovarus foot** に対しギプス矯正により治療した 1 例. 第 122 回 中部日本整形災害外科学会・学術集会. 2014 年 10 月. 名古屋市.

中間楽平, 別所祐貴, 橋田祐樹, 平賀聡, 大門憲史, 磯貝宜広, 堀内孝一, 船尾陽生, 小宮浩一郎, 西脇正夫, 中道憲明, 小柳貴裕. 股関節周囲の疼痛で整形外科を受診した閉鎖孔ヘルニアの 1 例. 第 152 回神奈川整形災害外科研究会. 2014 年 10 月. 横浜市.

中道憲明. 特別講演・招待講演: 修復不能な腱板断裂の診断と治療戦略. 西多摩整形外科医会学術講演会. 2014 年 9 月. 東京都.

田崎憲一, 岡崎真人, 森 武男, 西脇正夫, 池田 崇. 高齢者上腕骨遠位端骨折の手術治療. 第 27 回日本肘関節学会. 2015 年 2 月. 沖縄宜野湾市.

田崎憲一, 岡崎真人, 西脇正夫, 池田 崇. **CM**関節をのぞく手指関節固定術の検討. 第 57 回日本手外科学会学術集会. 2014 年 4 月. 沖縄宜野湾市.

渡辺航太, 野尻賢哉, 吉田英彰, 岡田英次朗, 船尾陽生, 日方智宏, 岩波明夫, 細金直文, 石井賢, 中村雅也, 戸山芳昭, 松本守雄. 中下位腰椎に圧迫骨折を伴った腰部脊柱管狭窄症の手術治療成績. 第 43 回日本脊椎脊髄病学会. 2014 年 4 月. 京都市.

日方智宏, 石井 賢, 磯貝宜広, 塩野雄太, 船尾陽生, 岡田英次朗, 藤田順之, 岩波明夫, 渡辺航太, 中村雅也, 戸山芳昭, 松本守雄. 転移性脊椎腫瘍に対する **MS (minimally Invasive spine Stabilization)**: 最小侵襲脊椎安定術) の有用性の検討. 第 17 回日本低侵襲脊椎外科学会. 2014 年 11 月. 神戸市.

福岡昌利, 中村俊康, 西脇正夫, 戸山芳昭, 名倉武雄. **TFC**尺側損傷における生体工学的検討. 第 57 回日本手外科学会学術集会. 2014 年 4 月. 沖縄宜野湾市.

平賀 聡, 小柳貴裕, 大門憲史, 浅野拓行, 磯貝宜広, 橋田祐樹, 堀内孝一, 別所祐貴, 小宮浩一郎, 西脇正夫, 中道憲明, 堀内行雄. 当科初診の亜急性性連合性脊髄変性症の 2 例. 第 151 回神奈川整形災害外科研究会. 2014 年 6 月. 横浜市.

別所祐貴, 小柳貴裕, 西脇正夫, 堀内孝一, 平賀 聡, 大門憲史, 磯貝宜広, 橋田祐樹, 船尾陽生, 小宮浩一郎, 中道憲明, 堀内行雄. 頸髄症に起因したと思われる環小指下垂指に対し腱移行術を施行した 1 例. 第 20 回神奈川上肢外科研究会. 2014 年 10 月. 横浜市.

別所祐貴, 西脇正夫, 平賀 聡, 中道憲明, 小柳貴裕, 堀内行雄. 掌側ロッキングプレート最遠位最橈側スクリューによる長母指屈筋腱皮下断裂の 1 例. 第 29 回東日本手外科研会. 2015 年 3 月. 仙台市.

別所祐貴, 堀内行雄, 堀内孝一, 中道憲明, 中村俊康. **CRPS** および類似症例に対する温冷交代浴を利用した拘縮予防の効果. 第 57 回日本手外科学会学術集会. 2014 年 4 月. 沖縄宜野湾市.

堀内孝一, 堀内行雄, 西脇正夫, 別所祐貴, 森田晃造, 越智健介. 当院における **KNOW** 人工関節の尺即ポリエチレンコンポーネント脱転に対する再置換症例の検討. 第 27 回日本肘関節学会. 2015 年 2 月. 沖縄宜野湾市.

堀内孝一, 堀内行雄, 別所祐貴, 中道憲明, 佐藤和毅. 重度 **Hbberden** 結節における X 線所見と疼痛との関連性についての検討. 第 57 回日本手外科学会学術集会. 2014 年 4 月. 沖縄宜野湾市.

堀内孝一, 堀内行雄, 別所祐貴, 中道憲明, 梅津太郎, 金田和也, 磯貝宜広, 橋田祐樹, 金子康仁, 原藤健吾, 小柳貴裕. **Von Recklinghausen** 病に発症した悪性末梢神経鞘腫瘍の 1 例. 第 57 回日本手外科学会学術集会. 2014 年 4 月. 沖縄宜野湾市.

堀内行雄, 矢部 裕, 越智健介. シンポジウム: 上肢末梢神経麻痺に対する運動機能再建の治療戦略. 第 25 回日本末梢神経学会. 2014 年 8 月. 京都市.

堀内行雄. 特別講演・招待講演: 『健康寿命 100 歳に向けての取り組み』一ロコモティブシンドローム対策一. 健康づくり三地区合同講演会. 2014 年 8 月. 川崎市.

堀内行雄. 特別講演・招待講演: 整形外科領域における CRPS の診断と治療の実際. 第 2 回両毛地区痛み研究会. 2014 年 8 月. 栃木県足利市.

(9) 形成外科

畑野麻子. 「ヌンチャク」型の癍痕はどのように修正されるべきか

ーバイオメカニクスの考察. 第 23 回日本形成外科学会基礎学術集会. 2015 年 10 月. 長野県松本市.

畑野麻子. 体内に発生する力を可視化する手法の開発 褥瘡の発症機転を探る新技術. 第 57 回日本形成外科学会学術総会. 2015 年 4 月. 長崎県長崎市.

(10) 心臓血管外科

石田 治, 森 厚夫. 大動脈弁狭窄症狭小弁輪に対する新規アプローチ; 立体パッチを用いた Nicks 変法の開発. 第 67 回日本胸部外科学会総会. 2014 年 9 月. 福岡市.

(11) 皮膚科

遠藤 恵, 渡邊絵美子, 大方詩子, 栗原佑一, 宮川俊一, 入江理恵. 小児の環状肉芽腫の一例. 日本皮膚科学会第 859 回東京地方会. 2015 年 1 月. 川崎市.

栗原佑一, 渡邊絵美子, 宮川俊一. ネズミ咬傷より生じ白色のコロニーを呈したスポロトリコーシスの 1 例. 第 66 回日本皮膚科学会西部支部学術大会. 2014 年 11 月. 香川県高松市.

栗原佑一, 渡邊絵美子, 宮川俊一. 局面状を呈した Nevus liponatosus cutaneous superficialis の 1 例. 第 78 回日本皮膚科学会東部支部学術大会. 2014 年 10 月. 青森県青森市.

渡邊絵美子, 栗原佑一, 土井亜希子, 宮川俊一, 碓井 遼. 家族性高脂血症患者に生じた黄色腫の 1 例. 第 113 回日本皮膚科学会総会. 2014 年 5 月. 京都市.

廣瀬 恵, 栗原佑一, 渡邊絵美子, 宮川俊一, 入江理恵, 工藤雄大. SLE に合併した多発性皮膚線維腫の一例. 日本皮膚科学会第 856 回東京地方会. 2014 年 9 月. 横浜市.

(12) 泌尿器科

Kaneko G, Miyajima A, Hasegawa M, Mizuno R, Uchida Y, Hara S, Kikuchi E, Nakagawa K, Jimzaki M, Oya M. Visceral obesity is a useful predictor of better recurrence-free survival after curative surgeries for Japanese patients with localized clear cell renal cell carcinoma. 29th Annual European Association of Urology Congress. 2014 年 4 月. スウェーデン、ストックホルム.

Kaneko G, Miyajima A, Kosaka T, Mizuno R, Kikuchi E, Oya M. MCR pathway regulates the expression of angiotensin II type 1 receptor in renal cell carcinoma. 29th Annual European Association of Urology Congress. 2014 年 4 月. スウェーデン、ストックホルム.

宮嶋 哲, 武田利和, 金子 剛, 水野隆一, 篠島利明, 菊地栄次, 大家基嗣. シンポジウム: 腹腔鏡下前立腺全摘除術における新たな工夫とそのアウトカム. 第 28 回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 2014 年 11 月. 福岡市.

金子 剛, 武田利和, 小堺紀英, 原 智. 腎実質内結石の後腹膜腔への迷入により生じた腸腰筋膿瘍を腹腔鏡下に治療した 1 例. 第 28 回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 2014 年 11 月. 福岡市.

金子 剛. 進行性尿管癌に対する腹腔鏡手術の経験. Laparoscope Urology Cancer Meeting. 2015

年2月、横浜市。

原 智, 金子 剛, 武田利和, 内田康光. ドレナージを施行した急性腎盂腎炎の臨床的検討. 第28回 日本泌尿器内視鏡学会総会. 2014年11月. 福岡市.

(13) 産婦人科

Lin BL 招請講演: 1) How to perform a safe and complete hysteroscopic myomectomy? 2) How to prevent hysteroscopic complications?. 22th Symposium of Beijing International Gynecological Endoscopy and Mini-invasive Surgery. 2014年5月. 中華人民共和国、北京.

Lin BL 招請講演: How to perform a safe and efficient hysteroscopic operation. 2013 APAGE JSOG Oncology Hands-on Workshop: Key to the Future of Advanced M.I.S. 2013年8月. 静岡市.

Lin BL 招請講演: How to perform a safe and effective hysteroscopic surgery. 2013 内視鏡手術研究会. 2013年11月. 中華人民共和国、無錫.

Lin BL 招請講演: Hysteroscopic management of intrauterine neoplasms. 2014 APAGE Laparoscopic Gynecologic Oncology Surgery & Hands-on Annual Workshop. 2014年3月. 中華人民共和国、上海.

Lin BL 招請講演: Hysteroscopic surgery - present and future -. The first forum of Tongji Gynaecologic minimally invasive medicine. 2013年3月. 中華人民共和国、上海.

Lin BL 招請講演: Hysteroscopy surgery for fibroids. 15th APAGE 2014年11月. マレーシア、クアラルンプール.

Lin BL 招請講演: Hysteroscopy: How to Manage Large Submucous Myoma. 1st RGE 2014年8月. 中華人民共和国、瀋陽.

Lin BL 招請講演: New advances in hysteroscopy. 2013 APAGE TAMG Advancements in minimally invasive surgery. 2013年6月. 中華民国、台中.

Lin BL 招請講演: Principles of hysteroscopic surgery. APAGE 2013 Laparoscopic Gynecologic Oncology Surgery & Hands-on Annual Workshop. 2013年3月. 中華人民共和国、上海.

Lin BL 招請講演: Recurrent intrauterine synechiae: where to go. 2014 Reproductive surgery hands-on workshop. 2014年7月. 中華民国、鹿港.

Lin BL 招請講演: The role of hysteroscopy in management of intrauterine diseases. 2014 Annual Meetings of Chinese Medical Association Taipei. 2014年6月. 中華民国、台北.

Lin BL 招請講演: The role of hysteroscopy in management of intrauterine diseases. 2014 婦人科微創技術手術研究会. 2014年8月. 中華人民共和国、内モンゴル、呼和浩特市.

Lin BL 招請講演: Tips for hysteroscopic myomectomy. 2013 APAGE 2013年11月. 大韓民国、ソウル.

Lin BL 招請講演: Tips of hysteroscopic myomectomy. Single-port workshop and advanced Laparoscopic Single-port workshop and advanced conference. 2014年4月. 中華民国、高雄.
宮内安澄, 樋口隆幸, 金 善恵, 上野和典, 齋藤真理子, 土屋佳子, 大河内 緑, 鈴木 毅, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 出生前に診断された Beckwith-Wiedemann syndrome の1例. 第403回神奈川産科婦人科学会. 2013年9月. 川崎市.

金 善恵, 宮越 敬, 門平育子, 正木 繭, 福武麻里絵, 池ノ上 学, 春日義史, 松本 直, 峰岸一宏, 吉村泰典, 青木大輔. Speckle tracking 法を用いた胎児心室壁運動特性に関する検討. 第

66回日本産科婦人科学会. 2014年4月. 東京都.

金 善恵, 鈴木 毅, 大河内 緑, 土屋佳子, 友坂真理子, 宮内安澄, 樋口隆幸, 村越行高, 上野和典, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 処女膜閉鎖症術後に卵管留膿症をきたした思春期女兒の1例. 第127回東連合産科婦人科学会. 2014年6月. 東京都.

上野和典, 土屋佳子, 友坂真理子, 大河内 緑, 宮内安澄, 鈴木 毅, 金 善恵, 樋口隆幸, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 再生不良性貧血合併妊娠の1例. 第405回神奈川産科婦人科学会. 2014年3月. 横浜市.

上野和典, 土屋佳子, 友坂真理子, 大河内 緑, 宮内安澄, 鈴木 毅, 金 善恵, 樋口隆幸, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 小腸捻転合併妊娠の1例. 第403回神奈川産科婦人科学会. 2013年9月. 川崎市.

村越行高, 末岡 浩, 五十畑 葵, 泉 陽子, 高橋香織, 佐藤 卓, 櫻井友義, 佐藤健二, 中林章, 吉村泰典. 卵子容積とミトコンドリア遺伝子の加齢による変化. 第31回日本受精着床学会. 2013年8月. 大分県大分市.

村越行高, 末岡 浩, 五十畑 葵, 泉 陽子, 高橋香織, 佐藤 卓, 櫻井友義, 田島博人, 佐藤健二, 中林 章, 吉村泰典. 卵子のミトコンドリア DNA copy 数と卵子容積が胚発達へ及ぼす影響. 第58回日本生殖医学会. 2013年11月. 神戸市.

大河内 緑, 樋口隆幸, 金 善恵, 上野和典, 田中 守. 胎児心臓超音波検査で診断された左上大静脈遺残の1例. 第25回日本超音波医学会関東甲信越地方会. 2013年10月. 東京都.

大河内 緑, 樋口隆幸, 金 善恵, 上野和典, 齋藤真理子, 土屋佳子, 鈴木 毅, 宮内安澄, 藪野 彰, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. MCA-PSVの測定により胎児貧血が示唆されたA型母体のABO血液型不適合妊娠の1例. 第402回神奈川産科婦人科学会. 2013年7月. 横浜市.

大河内 緑, 樋口隆幸, 竹田 貴, 鈴木 毅, 金 善恵, 上野和典, 染谷健一, 岩田壮吉, 林保良, 林 保良. 胎児心臓超音波検査で診断された左上大静脈遺残の2例. 第406回神奈川産科婦人科学会. 2014年7月. 横浜市.

土屋佳子, 金 善恵, 友坂真理子, 大河内 緑, 宮内安澄, 鈴木 毅, 樋口隆幸, 上野和典, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良. 巨大卵巣腫瘍のため膈ヘルニアをきたした悪性転化を伴う成熟のう胞性奇形腫の一例. 第403回神奈川産科婦人科学会. 2013年9月. 川崎市.

土屋佳子, 林 保良, 友坂真理子, 大河内 緑, 宮内安澄, 鈴木 毅, 金 善恵, 樋口隆幸, 村越行高, 上野和典, 染谷健一, 岩田壮吉. 外来における無麻酔下の子宮鏡下子宮内膜ポリープ除去術. 第66回日本産科婦人科学会. 2014年4月. 東京都.

樋口隆幸, 大河内 緑, 金 善恵, 上野和典, 齋藤真理子, 土屋佳子, 鈴木 毅, 宮内安澄, 藪野 彰, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉. 妊娠14週に胎児MRIで診断されたbody stalk anomalyの1例. 第402回神奈川産科婦人科学会. 2013年7月. 横浜市.

樋口隆幸, 大河内 緑, 竹田 貴, 鈴木 毅, 金 善恵, 上野和典, 染谷健一, 岩田壮吉, 林保良. 妊娠第2三半期前期に羊水過少を端緒にVACTERL連合の胎内診断に至った1症例. 第406回神奈川産科婦人科学会. 2014年7月. 横浜市.

樋口隆幸, 林 保良, 飯田美穂, 藪野 彰, 金 善恵, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉. 中隔子宮に対する子宮鏡下中隔切断術における3次元超音波の有用性. 第53回日本産科婦人科内視鏡学会. 2013年9月. 名古屋市.

林 保良, 土屋佳子, 齋藤真理子, 大河内 緑, 宮内安澄, 鈴木 毅, 金 善恵, 樋口隆幸, 村

越行高, 染谷健一, 岩田壮吉. 持続灌流式ヒステロファイバースコープ用の新しい軟性外套管の開発～第3報～. 第53回日本産科婦人科内視鏡学会. 2013年9月. 名古屋市.

林 保良. ミートザエキスパート: 子宮鏡下手術、私はここまで行っている 子宮鏡下手術のピットフォール. 第54回日本産科婦人科内視鏡学会. 2014年9月. 鹿児島県鹿児島市.

林 保良. 招請講演: 子宮鏡下手術の進歩. 第297回奇松会学術講演会. 2013年9月. 浜松市.

鈴木 毅, 槁之浦佳奈, 飯田美穂, 藪野 彰, 金 善恵, 樋口隆幸, 村越行高, 染谷健一, 岩田壮吉, 林 保良, 中田さくら, 宮本尚彦. 子宮動脈塞栓術後に子宮鏡下に切除し得た巨大筋腫分娩の1例. 第401回神奈川産科婦人科学会. 2013年3月. 横浜市.

槁之浦佳奈, 村越行高, 林 保良, 鈴木 毅, 飯田美穂, 藪野 彰, 金 善恵, 樋口隆幸, 染谷健一, 岩田壮吉. 汎発性腹膜炎を併発した難治性付属器腫瘍の1例. 第401回神奈川産科婦人科学会. 2013年3月. 横浜市.

(14) 耳鼻咽喉科

Sona K, Kunihiro T, Takei Y. Chronic dizziness following minor head trauma and whiplash. XXVIIth Brany Society Meeting. 2014年5月. アルゼンチン、ブエノスアイリス.

三浦康士郎, 佐藤陽一郎, 富岡拓矢. セツキシマブ投与中に急性腎梗塞を発症した一例. 第169回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会. 2014年12月. 横浜市.

三浦康士郎, 富岡拓矢, 猪野絢子. 治療に難渋した頸部・縦隔膿瘍の一例. 第60回慶浜耳鼻科研究会. 2015年3月. 横浜市.

相馬啓子, 富岡拓矢. 摂食嚥下・栄養に関する地域包括ケアへの取り組みと急性期病院の役割. 第38回日本嚥下医学会. 2015年2月. 福島県福島市.

相馬啓子, 國弘幸伸. 外傷後めまい症例における重心動揺と嗅覚、味覚の検討. 第73回日本めまい平衡医学会. 2014年11月. 横浜市.

相馬啓子. 特別講演: 誤嚥ってなんだろう. 川崎南部摂食嚥下・栄養研究会 市民公開フォーラム. 2014年7月. 川崎市.

相馬啓子. 特別講演: 摂食嚥下・栄養に関する地域包括ケアへの取り組みと急性期病院の役割. 第4回武蔵小杉耳鼻咽喉科セミナー. 2015年2月. 川崎市.

猪野絢子, 相馬啓子, 富岡拓矢. 第一鰓裂性瘻孔の2例. 第167回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会. 2014年6月. 横浜市.

猪野絢子, 富岡拓矢, 三浦康士郎. 開口障害、嚥下障害を主訴に来院した一例. 第12回慶應耳鼻咽喉科臨床懇談会. 2015年1月. 東京市.

猪野絢子. 放射線化学療法による味覚障害、唾液分泌障害の検討. 慶應大学耳鼻咽喉科学教室学術講演会. 2014年11月. 東京都.

富岡拓矢, 相馬啓子, 猪野絢子. 帯状疱疹ウイルスにより多発性脳神経障害をきたした3例. 第168回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会. 2014年9月. 横浜市.

富岡拓矢, 相馬啓子, 猪野絢子. 鼻腔内に認められた逆生過剰菌の1例. 第170回日本耳鼻咽喉科学会神奈川県地方部会. 2015年3月. 横浜市.

富岡拓矢, 相馬啓子. 水痘帯状疱疹ウイルスによる嚥下障害を発症した1症例へのSTの関わり. 第38回日本嚥下医学会. 2015年2月. 福島県福島市.

富岡拓矢, 猪野絢子, 三浦康士郎. 治療に難渋した義歯異物の一例. 第58回慶浜耳鼻科研究会. 2014年9月. 横浜市.

富岡拓矢. 上口唇腫瘍の1例. 第59回慶浜耳鼻科研究会. 2014年12月. 横浜市.

國弘幸伸, 相馬啓子. 脳脊髄液減少症の臨床像と診断のコツ. 第73回日本めまい平衡医学会.
2014年11月. 横浜市.

(15) 放射線治療科

金田朋也, 栗林 徹, 相馬啓子, 三浦康士郎. 頭頸部癌放射線療法における味覚障害、唾液分泌障害の検討. 日本放射線腫瘍学会第27回学術大会. 平成26年12月. 横浜市.

江里口貴久, 栗林 徹, 相馬啓子. 当院における下咽頭扁平上皮癌に対する化学放射線療法の治療成績. 第73回日本医学放射線学会総会. 平成26年4月. 横浜市.

高川佳明, 深田淳一, 茂松直之. 食道癌根治術後再発に対する救済放射線治療～局所に限局した照射野の妥当性の解析～. 日本放射線腫瘍学会第27回学術大会. 平成26年12月. 横浜市.

高川佳明, 武田篤也, 佐貫直子. 当院における肺癌 SBRT の治療成績・有害事象についての初期報告. 日本放射線腫瘍学会第27回学術大会. 平成26年12月. 横浜市.

(16) 放射線診断科

齋藤敦子. 99mTc 製剤心筋血流シンチにおける肝集積が心筋下壁欠損像に与える影響について. 第30回日本診療放射線技師学術大会. 2014年9月. 大分県別府市.

(17) 麻酔科

Ando K, Uekami K, Kusuhara M, Tanai S, Yanaguchi K, Morisaki H. Oxidative stress contributes to isoflurane-induced apoptosis in the PC12 neuronal cell line. Euro Anesthesia 2014. 2014年6月. スウェーデン、ストックホルム.

Nagai Y, Ishikawa S, Sakanoto K, Ando K, Suga K, Ishikawa A, Morita Y, Masuda J, Nakada S, Lin BH. The safety management for hysteroscopic operation from viewpoint of anesthesiologists - our experience of 5400 cases -. 15th Annual Congress of the Asia Pacific Association of Gynecologic Endoscopy and Minimally Invasive Therapy . 2014年11月. マレーシア、クアラルンプール.

安藤嘉門, 菅家裕子, 吉野華菜, 菊池亜矢, 花上まゆ, 小室祥子, 岡部久美子, 阪本浩平, 菅規久子, 永井美江, 森田慶久, 増田純一. 第4世代 FloTrac システムは急激な血圧変動時に動脈圧心拍出量 (APCO) を過大評価する問題を改善させる. 第15回麻酔科学ウインターセミナー . 2015年2月. 北海道ニセコ市.

永井美江, 花上まゆ, 森田慶久, 増田純一. 麻酔科の立場から見た子宮鏡下手術の安全管理 — 5400例の経験から—. 第54回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会. 2014年9月. 鹿児島県鹿児島市.

永井美江, 菅家裕子, 岡部久美子, 安藤嘉門, 菅 規久子, 増田純一. 肥満妊婦の前置癒着胎盤症例に対し二期的手術を行った一症例. 第118回日本産科麻酔学会学術集会. 2014年11月. 東京都.

永井美江, 菅家裕子, 岡部久美子, 石川紗希, 安藤嘉門, 菅 規久子, 石川明子, 小澤治子, 増田純一, 津崎晃一. 麻酔科の立場から見た子宮鏡下手術の安全管理 — 5400例の経験から—. 日本臨床麻酔学会第34回大会. 2014年11月. 東京都.

"吉野華菜, 菅 規久子, 菅家裕子, 阪本浩平, 安藤嘉門, 石川明子, 小澤治子, 森田慶久, 増田純一. 経皮的冠動脈形成術後に施行した鎖骨骨折手術後にステント血栓症を来した一例. 第42回日本集中治療医学会学術集会. 2015年2月. 東京都. "

菅家裕子, 安藤嘉門, 阪本浩平, 岡部久美子, 森田慶久, 増田純一. **Charcot-Marie-Tooth** 病患者に対する硬膜外麻酔の経験. 日本麻酔科学会関東甲信越・東京支部第 54 回合同学術集会. 2014 年 8 月. 東京都.

"菅家裕子, 生駒祐介, 吉野華菜, 阪本浩平, 安藤嘉門, 菅 規久子, 永井美江, 花上まゆ, 小室祥子, 岡部久美子, 森田慶久, 増田純一. 頸部膿瘍治療中に広範囲の心電図変化を認め、降下性壊死性縦隔炎の診断に至った症例. 神奈川麻酔科医会第 46 回学術集会. 2015 年 2 月. 横浜市."

"倉住拓弥, 鈴木武志, 菅規久子, 増田祐也, 森田慶久, 増田純一. **Proportional assist ventilation** モードにおける呼吸仕事量は患者の呼吸状態を反映するか?. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会. 2014 年 5 月. 横浜市."

増田純一. ランチョンセミナー講師: 手術室運営を変える情報共有化 ~自治体病院の現場改善事例~. 第 68 回国立病院総合医学会. 2014 年 11 月. 横浜市.

(18) 麻酔科・臨床工学

高森修平, 菊池寿人, 山下絵里, 今井 恵, 門馬栄菜, 井汲康典, 山口和哉, 中尾一俊, 森田慶久, 増田純一. 二酸化炭素吸収剤の従来品との性能比較 (メディソープとヤバシライム-f の同容積比較). 第 24 回日本臨床工学会. 2014 年 5 月. 仙台市.

高森修平, 山口和哉, 中尾一俊, 菅 規久子, 森田慶久, 増田純一. 非脱色性二酸化炭素吸収剤の従来品との性能比較 - 同重量での検討 -. 日本麻酔科学会第 61 回学術集会. 2014 年 5 月. 横浜市.

(19) 救急科

阿南英明, 大友康裕, 本間正人, 森野一真, 近藤久禎, 小井土雄一, 張替喜世一, 大城健一. **NBC** テロ対策 **MCS-CRNE** 試行コースの結果報告と活用. 第 20 回日本集団災害医学会総会・学術集会. 2015 年 2 月. 東京都.

伊藤壮一, 高橋俊介, 郷内志朗, 大城健一, 進藤 健, 齋藤 豊, 田熊清継, 伊藤壮一, 土井賢治, 田熊清継. 生活弱者 (路上生活者および生活保護受給者) の救急応需ための **MSW** を含めた多職種間連携の取り組み. 第 17 回日本臨床救急医学会総会・学術集会. 2014 年 5 月. 栃木県下野市.

伊藤壮一, 土井賢治, 郷内志朗, 齋藤 豊, 大城健一, 高橋俊介, 田熊清継. 侵襲的治療を必要とする救急集中治療における「臨床倫理学」の卒後教育の必要性. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

伊藤壮一, 土井賢治, 田熊清継. 救急医療の治療方針における臨床倫理的アプローチ法と言語技術の教育の必要性. 第 17 回日本臨床救急医学会総会・学術集会. 2014 年 5 月. 栃木県下野市.

塩島裕樹, 金尾邦生, 田熊清継. **IIE** により短時間で症状改善を認めた急性薬物中毒の一例. 第 17 回日本臨床救急医学会総会・学術集会. 2014 年 5 月. 栃木県下野市.

塩島裕樹, 中島由紀子, 坂本光男, 齋藤 豊, 大城健一, 郷内志朗, 高橋俊介, 伊藤壮一, 田熊清継. 過去 10 年間に当院で経験された破傷風の 3 例. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

丸藤 哲, 小倉裕司, 齋藤大蔵, 武山直志, 久志本成樹, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 荒木恒敏, 池田弘人, 小谷穰治, 白石振一郎, 鈴木幸一郎, 鈴木 泰, 田熊清継, 鶴田良介, 三木靖雄, 山口芳裕, 山下典雄, 相川直樹, 日本救急医学会 **sepsis registry** 特別委員会. 日本救急医学会 **Sepsis Registry** から見えた本邦の敗血症診療の現況 **Severe sepsis** における **PIC** 診断基準の検証. 第 27 回日本外科感染症学会総会学術集会. 2014 年 12 月. 東京都.

丸藤 哲, 齋藤大蔵, 小倉裕司, 久志本成樹, 武山直志, 荒木恒敏, 池田弘人, 小谷穰治, 白石振一郎, 鈴木幸一郎, 鈴木 泰, 田熊清継, 鶴田良介, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 三木靖雄, 山下典雄, 山口芳裕, 相川直樹, 日本救急医学会 sepsis registry 特別委員会. **DIC**診断/治療の新展開 急性期 **DIC**診断基準の severe sepsis と septic shock への応用. 第 36 回日本血栓止血学会学術集会. 2014 年 5 月. 大阪市.

久保田 翼, 大久保由美子, 齋藤 登, 村崎かがり, 伊藤壮一, 吉岡俊正, 高桑雄一. 臨床前および臨床実習中の学生主導型臨床推論学習の実践. 第 46 回日本医学教育学会大会. 2014 年 7 月. 和歌山県和歌山市.

郷内志朗, 進藤 健, 金尾邦生, 權守 智, 竹村成秀, 荘司 清, 齋藤 豊, 大城健一, 高橋俊介, 伊藤壮一, 田熊清継. 医師指導による extra oral approach での顎関節脱臼自己整復法. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

金澤美穂, 亀山亜希夫, 長澤恵梨子, 清水谷弘美, 太田博子, 樋口直美, 井上彰大, 坪田結香, 内海俊一, 土井賢治, 渡部桂子, 伊藤真梨, 井上健太郎, 津村和大. 嚥下障害を伴う患者に対する栄養サポートチーム介入の分析. 第 18 回日本病態栄養学会. 2015 年 1 月. 京都市.

高橋俊介, 大城健一, 郷内志朗, 伊藤壮一, 鈴木貴博, 田熊清継. 救急外来経由で入院となった 75 歳以上の高齢者におけるナトリウム値の検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

三吉貴大, 塩島裕樹, 土井賢治, 進藤 健, 伊藤壮一, 田熊清継, 市東昌也, 掛札敏裕, 田熊清継, 田中 求. 吐血による出血性ショックに対して Dynamic CT を行うことで Hemorrhagic Pancreaticus (HP) の早期診断できた一例. 第 65 回日本救急医学会関東地方会学術集会. 2015 年 2 月. 横浜市.

市東昌也, 掛札敏裕, 田熊清継, 田中 求, 和多田 晋, 萬谷京子, 星本相淳, 壁島康郎, 小柳和夫, 相浦浩一. Acute care surgery における消化器外科医の果たす役割 市中病院での実践と展望. 第 69 回日本消化器外科学会総会. 2015 年 7 月. 福島県郡山市.

春成 学, 田熊清継, 伊藤壮一, 高橋俊介, 郷内志朗, 大城健一, 齋藤 豊, 荘司 清, 竹村成秀, 進藤 健, 權守 智. 上部消化管出血疑い症例に対する腹部 CT 撮影の有用性に関する検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

"小倉裕司, 丸藤 哲, 齋藤大蔵, 武山直志, 久志本成樹, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 荒木恒敏, 池田弘人, 小谷穰治, 三木靖雄

白石振一郎, 鈴木幸一郎, 鈴木 泰, 田熊清継, 鶴田良介, 山口芳裕, 山下典雄, 相川直樹, 日本救急医学会 sepsis registry 特別委員会. 凝固・線溶異常の最前線 sepsis 患者における急性期 **DIC**スコアの意義 日本救急医学会 sepsis registry 解析結果. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市. "

小倉裕司, 丸藤 哲, 齋藤大蔵, 武山直志, 久志本成樹, 藤島清太郎, 真弓俊彦, 荒木恒敏, 池田弘人, 小谷穰治, 白石振一郎, 鈴木幸一郎, 鈴木 泰, 田熊清継, 鶴田良介, 三木靖雄, 山口芳裕, 山下典雄, 相川直樹, 日本救急医学会 sepsis registry 特別委員会. 日本救急医学会 Sepsis Registry から見えた本邦の敗血症診療の現況 世界と日本の sepsis registry 疫学データと今後の展望. 第 27 回日本外科感染症学会総会学術集会. 2014 年 12 月. 東京都.

植松敬子, 鳥飼秀幸, 成松芳明, 鴨志田久美, 佐藤宏朗, 長谷川市郎, 和多田 晋. 胃石による小腸閉塞の 1 例. 第 50 回日本医学放射線学会秋期臨床大会. 2014 年 9 月. 神戸市.

莊司 清, 田熊清継, 伊藤壮一, 高橋俊介, 郷内志朗, 大城健一, 齋藤 豊. 病院受診後 24 時間以内に心肺停止となった症例の検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

大城健一, 齋藤 豊, 進藤 健, 近藤英樹, 權守 智, 竹村成秀, 郷内志朗, 高橋俊介, 伊藤壮一, 田熊清継. 当院で開発した緊急度評価法『ARE U OK?アプローチ』を用いた緊急度評価の正確性・迅速性についての検証. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

竹村成秀, 春成 学, 權守 智, 齋藤 豊, 大城健一, 郷内志朗, 高橋俊介, 進藤 健, 近藤英樹, 伊藤壮一, 田熊清継. 虫垂炎診断における Alvarado score の有用性の検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

田熊清継, 藤島清太郎, 齋藤大蔵, 荒木恒敏, 池田弘人, 小倉裕司, 久志本成樹, 小谷穰治, 白石振一郎, 鈴木幸一郎, 鈴木 泰, 武山直志, 鶴田良介, 真弓俊彦, 三木靖雄, 山口芳裕, 山下典雄, 丸藤 哲, 相川直樹, 日本救急医学会 sepsis registry 特別委員会. 日本救急医学会 Sepsis Registry から見えた本邦の敗血症診療の現況 Severe sepsis 分離菌の検討. 第 27 回日本外科感染症学会総会学術集会. 2014 年 12 月. 東京都.

田熊清継. シンポジウム: 熱傷診療ガイドラインの改訂. 第 40 回日本熱傷学会・学術総会. 2014 年 6 月. さいたま市.

田熊清継. 教育講演: 重症対応 3 次救命救急施設の地域における役割と機能. 川崎市商工会議所 第 2・第 3 工業分科会 合同会員特別講演会. 2014 年 11 月. 川崎市.

田熊清継. 教育講演: 重症軟部組織感染症における抗菌化学療法. 第 5 回神奈川病院薬剤師感染症フォーラム. 2014 年 11 月. 川崎市.

田熊清継. 教育講演: 川崎市の救命救急センター 3 施設における「救急車ダイバージョン (diversion)」施行の報告. 第 2 回かわさき救急フォーラム. 2014 年 10 月. 川崎市.

田熊清継. 教育講演: 熱傷における感染対策: 熱傷診療ガイドライン 2009. 第 40 回日本熱傷学会・学術総会. 2014 年 6 月. さいたま市.

田熊清継. 教育講演: 熱傷感染症・分離菌から考える抗菌化学療法・ランチョンセミナー. 第 40 回日本熱傷学会・学術総会. 2014 年 6 月. さいたま市.

土井賢治, 大城健一, 伊藤壮一, 齋藤 豊, 近藤英樹, 莊司 清, 金尾邦生, 春成 学, 塩島裕樹, 進藤 健, 田熊清継. 救急科主導初期研修医オリエンテーションによる救急医療への興味喚起の可能性. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

藤島清太郎, 丸藤 哲, 齋藤大蔵, 真弓俊彦, 久志本成樹, 白石振一郎, 小倉裕司, 田熊清継, 小谷穰治, 池田弘人, 山下典雄, 鈴木幸一郎, 鶴田良介, 武山直志, 荒木恒敏, 鈴木 泰, 三木靖雄, 山口芳裕, 相川直樹, 日本救急医学会 sepsis registry 特別委員会. 日本救急医学会 Sepsis Registry から見えた本邦の敗血症診療の現況 敗血症バンドル遵守率と死亡率による診療の質の評価. 第 27 回日本外科感染症学会総会学術集会. 2014 年 12 月. 東京都.

本間洋輔, 權守 智, 船越 拓, 志賀 隆, 宮崎 大, 米本直裕, 田原良雄, 長尾 建, 矢口有乃, 森村尚登, 櫻井 淳, SOS-KANTO 2012 study group. 病院外心停止患者に対する病院前薬剤投与及び初回薬剤投与時間についての検討 SOS-KANTO 報告. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会. 2014 年 10 月. 福岡市.

野口 啓, 進藤 健, 近藤英樹, 權守 智, 竹村成秀, 齋藤 豊, 大城健一, 郷内志朗, 高橋俊介, 伊藤壮一, 田熊清継. 頻回救急要請搬送患者の検討. 第 42 回日本救急医学会総会・学術集会.

2014年10月。福岡市。

権守 智, 春成 学, 進藤 健, 竹村成秀, 荘司 清, 齋藤 豊, 大城健一, 郷内志朗, 高橋俊介, 伊藤壮一, 田熊清継. 救急搬送された院外心肺停止症例における高齢者の検討. 第42回日本救急医学会総会・学術集会. 2014年10月。福岡市。

齋藤 豊, 伊藤壮一, 土井賢治, 権守 智, 進藤 健, 近藤英樹, 竹村成秀, 大城健一, 郷内志朗, 高橋俊介, 田熊清継. 予期せぬ急変を減らすために 急変死亡症例の検討. 第42回日本救急医学会総会・学術集会. 2014年10月。福岡市。

(20) リハビリテーション科

小島 厳, 佐藤栄司, 小宮浩一郎, 原藤健吾. TKA術後患者におけるトレッドミル歩行訓練の効果. 第6回日本関節鏡・膝・スポーツ整形膝学会. 2014年7月。広島市。

小島 厳, 佐藤栄司, 小宮浩一郎, 原藤健吾. TKA術後患者に対するトレッドミル歩行訓練の効果. 第31回リハビリテーション懇話会. 2014年7月。東京都。

小島 厳, 佐藤栄司, 小宮浩一郎, 原藤健吾. 人工膝関節置換術後退院時の疼痛レベルは術前破局的思考の評価で予測可能か?. 第45回人工関節学会. 2015年2月。福岡市。

尾原恵美, 伊藤真梨, 村岡香織, 小島 厳, 佐藤栄司, 小宮浩一郎, 原藤健吾, 小島 厳, 佐藤栄司, 小宮浩一郎. 頸静脈孔症候群に顔面神経麻痺、舌下神経麻痺を呈した嚥下障害の一例. 第15回日本言語聴覚学会. 2014年6月。さいたま市。

尾原恵美, 古瀬美穂. 「食事に必要な体位と食具の工夫」介護職のためのスキルアップセミナー「食事介助」. 川崎南部摂食嚥下・栄養研究会主催. 2014年11月。川崎市。

(21) 歯科口腔外科

Gastrillon E, Sato H, Tamoto T, Ari na T, Hansen B, Svensson P. Entropy as a new measure of mechanical pain sensitivity in the masseter muscle. IASP - 15th World Congress on Pain. 2014年10月。アルゼンチン、ブエノスアイリス。

安居孝純, 鬼澤勝弘, 佐藤 仁, 軽部健史, 臼田 慎, 宮下英高, 蒔生田整治, 河奈裕正, 吉田俊一, 山田 学, 内山公男. 口腔癌切除症例に対する頬脂肪体有茎移植術. 第198回日本口腔外科学会関東支部学術集会. 2014年12月。横浜市。

安居孝純. 基調講演: 口腔乾燥症治療と口腔ケアの重要性. 第1回 Dry Syndrome Meeting in Kawasaki. 2014年11月。川崎市。

井上真梨子, 佐藤 仁, 西須大徳, 臼田 頌, 村岡 渡, 蒔生田整治, 河奈裕正, 中川種昭, 和嶋浩一. 頸部筋ストレッチが開口量に与える影響. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会. 2014年7月。福岡市。

鬼澤勝弘, 安居孝純, 佐藤 仁, 軽部健史, 臼田 慎, 宮下英高, 蒔生田整治, 河奈裕正, 山田学, 内山公男. 頬脂肪体有茎移植術による口腔癌切除後の再建. 第33回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会. 2015年1月。奈良県奈良市。

鬼澤勝弘, 安居孝純, 佐藤 仁, 軽部健史, 蒔生田整治, 河奈裕正. インプラント治療を施行した統合失調感情障害患者の長期観察例. 第18回日本顎顔面インプラント学会学術大会. 2014年11月。島根県出雲市。

鬼澤勝弘. 根尖性歯周炎からの続発症. 川崎病院症例検討会. 2015年2月。川崎市。

軽部健史, 安居孝純, 佐藤 仁, 片山 真, 栗林 徹, 鬼澤勝弘. 脳腫瘍に対する定位放射線照射におけるバイトプレートの有用性. 第68回日本口腔科学会学術集会. 2014年5月。東京都。

佐藤 仁, 安居孝純, 軽部健史, 蔭山雄基, 鬼澤勝弘. 小児の下顎骨に生じた歯原性粘液線維腫の1例. 第58回日本口腔外科学会総会. 2014年10月. 千葉市.

佐藤 仁, 柴田 護, 清水利彦, 萱間洋平, 芝田晋介, 安居孝純, 鬼澤勝弘, 赤澤智宏, 和嶋浩一, 中川種昭, 岡野栄之, 鈴木則宏. 三叉神経痛覚受容システムにおける活性酸素の発生と吸収機構. 第68回NPO法人日本口腔科学会学術集会. 2014年5月. 東京都.

佐藤 仁, 長縄拓哉, 村岡 渡, 西須大徳, 白田 頌, 安居孝純, 苜生田整治, 河奈裕正, 鬼澤勝弘, 中川種昭, 和嶋浩一, Svensson P. 頭頸部の筋組織における深部侵害刺激の相互作用. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会. 2014年7月. 福岡市.

竹内照美, 西須大徳, 佐藤 仁, 村岡 渡, 和嶋浩一. 持続性片側頭痛の二症例. 第42回日本頭痛学会総会. 2014年11月. 山口県下関市.

長縄拓哉, 飯田 崇, 佐藤 仁, 山口陽平, 奥山淳史, 佐々木 亮, 深田健治, 岡本俊宏. 顎顔面及び口腔領域の感覚検査のための新しい口腔内感覚検査器の評価. 第27回日本顎関節学会総会・学術大会. 2014年7月. 福岡市.

苜生田整治, 白田 慎, 杉山健太郎, 宮下英高, 小高利絵, 堀江伸行, 木村 彩, 安居孝純, 鬼澤勝弘, 中川種昭, 河奈裕正. AI-2-1 顎口腔腫瘍患者におけるインプラント再建治療の臨床的検討. 第18回日本顎顔面インプラント学会学術大会. 2014年11月. 島根県出雲市.

(22) 検査科

横屋瀬里香, 横山 颯, 川久保博文, 杉浦 仁. 病理標本作製・薄切. 神奈川県臨床衛生検査技師会病理研究班学術集会. 2015年2月. 横浜市.

横屋瀬里香, 杉山早絵, 坂井 瞳, 鈴木玲子, 鏑木友子, 入江理恵, 杉浦 仁, 森田 覚, 小柳和夫, 田中 求. 皮膚病変が先行し、捺印細胞診を施行した急性前骨髄球性白血病の1例. 第55回日本臨床細胞学会総会(春期大会). 2014年6月. 横浜市.

横屋瀬里香. スライドカンファレンス(リンパ節). 第33回神奈川県臨床細胞学会学術集会. 2014年10月. 相模原市.

横屋瀬里香. プロセッシングの原理・現状と応用. 神奈川県臨床衛生検査技師会病理研究班学術集会. 2014年10月. 川崎市.

細田篤志, 相浦浩一, 市東昌也, 星本相淳, 白井 俊, 同本佳則, 切詰和孝, 井上和茂, 筒井麻衣, 松永篤志, 和多田晋, 萬谷京子, 夏 錦言, 杉浦 仁, 掛札敏裕. 核出術により切除し得た腭リンパ管腫の1例. 第41回日本腭切研究会. 2014年8月. 東京都.

殿岡弘敏. 腸管系感染症の検査法. 神奈川県臨床衛生検査技師会微生物研究班学術集会実技講習会. 2014年10月. 神奈川県綾瀬市.

入江理恵. 肝移植後拒絶に対する治療に不応性の小児特発性劇症肝不全症例の病態に関する検討. 第60回日本病理学会秋期特別総会. 2014年11月. 沖縄浦添市.

入江理恵. 拒絶に対する治療に反応せずグラフト不全となった小児特発性劇症肝不全の1例. 第32回日本肝移植研究会. 2014年7月. 東京都.

(23) 薬剤部

井上彰大, 中野泰子, 酒井絵梨可, 坪田結香, 内海俊一, 飯島尚志. 脂肪乳剤の投与速度適正化と合併症の発生率. 第30回日本静脈経腸栄養学会学術集会. 2015年2月. 神戸市.

小林 岳. 教育講演: Anti microbial Stewardshipへのアプローチ. 第5回神奈川県病院薬剤師感染症フォーラム. 2014年11月. 川崎市.

内海俊一，坂井義則，阿部正視．インシデント報告の有効活用のために．第53回全国自治体病院学会．2014年10月．宮崎県宮崎市．

内海俊一，坂井義則，阿部正視．業務環境改善によるインシデント発生リスク軽減の可能性．日本病院薬剤師会関東ブロック第44回学術大会．2014年8月．さいたま市．

(24) 看護部

岩本祥子．サブリーダーの目標設定活動の効果と評価の実態．第53回全国自治体病院学会．2014年10月．宮崎県宮崎市．

吉崎弘之．患者の安全と看護師の安全を守るコールB(モバイル型緊急コールシステム)の導入．第39回日本精神科看護学術集会．2014年6月．広島市．

牛込志乃．下肢救済した難治性糖尿病性足潰瘍の1症例．第6回日本下肢救済・足病学会学術集会．2014年6月．札幌市．

荒井典子．精神科病棟に個人用テレビを導入して．第21回日本精神科看護学術集会専門Ⅱ．2014年11月．山梨県甲府市．

佐藤佳奈．ストレス反応がある児への効果的な関わり．公益社団法人川崎市看護協会．2015年2月．川崎市．

佐藤江利子．原因不明の多発性足潰瘍ケアに難渋した1症例．第6回日本下肢救済・足病学会学術集会．2014年6月．札幌市．

山野美智子．手術材料の適正管理における意識改革への取り組み～変革理論を用いたアプローチ～．第45回日本看護学会学術集会．2014年9月．宮崎県宮崎市．

森 沙織．クレームの内容分析から見た小児患者家族の思い．第53回全国自治体病院学会．2014年10月．宮崎県宮崎市．

猪野瀬美樹．A病院内科外来看護師による糖尿病透析予防指導が、糖尿病患者に及ぼしている影響の実態調査～腎症ステージ別検査データを比較して～．第19回日本糖尿病教育・看護学会学術集会．2014年9月．岐阜県岐阜市．

(25) 感染対策室

駒場瑠美子．認定看護師間の連携・協働～認定看護師会における活動～．全国自治体病院学会．2014年10月．宮崎県．

(26) 食養科

亀山亜希夫．教育講演：栄養部門の活動報告～refeeding syndromeを意識した活動～．川崎市病院栄養管理部会研修会．2014年6月．川崎市．

亀山亜希夫．教育講演：食物アレルギーの多彩な知識と食事管理～川崎市立川崎病院の現状と対応～．川崎市病院栄養管理部会研修会．2015年2月．川崎市．

亀山亜希夫．当院におけるNST活動と専従者としての活動報告．第52回全国自治体病院学会．2014年10月．京都市．

金澤美穂，亀山亜希夫，長澤恵梨子，清水谷弘美，太田博子，樋口直美，井上彰大，坪田結香，内海俊一，土井賢治，渡部桂子，伊藤真梨，井上健太郎，津村和大．嚥下障害を伴う患者に対する栄養サポートチーム介入の分析．第18回日本病態栄養学会．2015年1月．京都市．

長澤恵梨子．シンポジウム：市立川崎病院におけるアレルギー対応．川崎市栄養士研修会．2015年1月．川崎市．

8 講演会等
 (1) 内科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 11 月 18 日	川崎市医師会 ◆第 50 回ミー トザスペシャ リスト	野崎博之	パーキンソン病-四方山 話-	川崎市医師 会館
平成 27 年 2 月 18 日	川崎市医師会 ◆認知症サポ ート医フォロ ーアップ研修 会	野崎博之	レビー小体型認知症	中原休日急 患診療所

(2) 精神科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 5 月	緩和ケア研修 会	齋藤寿昭	研修項目一部:気持ちの つらさ、せん妄	院内
8 月 21 日	大日本住友製 薬株式会社	天貝久	当院で経験した遅発性 統合失調症疑いの 1 例	川崎日航ホ テル
9 月 14 日	川崎市鍼灸マ ッサージ師会	齋藤寿昭	うつ病と精神疾患	川崎市医師 会館
平成 27 年 1 月 11 日	日本総合病院 精神医学会	根本康	治療内容にこだわりを 持つ家族の意向を考慮 して措置診察をおこな った 1 事例	東京コンフ ァレンスセ ンター

(3) 小児科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 6 月 21 日	川崎市	津村由紀	第 13 回川崎市こども健 康フォーラム 「食物アレルギーの対応」	川崎市生活 文化会館
6 月 24 日	川崎市小児科 医会		川崎市小児科医会 症 例検討会	院内
9 月 30 日	川崎南部小児 アレルギーの 会	望月博之(東海大学医 学部小児科教授)	川崎南部小児アレルギー ーの会 「小児気管支喘息治療」	川崎日航ホ テル
10 月 17 日	川崎市小児科 医会	安藏慎	第 276 会川崎市小児科 医会学術研究会	中原区休日 急患診療所

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 10 月 30 日	10 病院の会 (川崎・新百合丘・けいゆう・横労・慶応など)	菅谷憲夫(けいゆう病院参事)	学術講演会 10 病院の会	横浜ベイシエラトンホテル&タワーズ
平成 27 年 1 月 22 日	川崎病院小児科		川崎病院・こうかんクリニック 症例検討会	院内
1 月 27 日	川崎市健康安全全部健康増進課	津村由紀	川崎市健康安全全部健康増進課 栄養士研修会 講演	川崎市役所 第 4 庁舎 4 階
2 月 23 日	川崎市小児科医会		第 356 回 川崎市小児科医会 研究研修会・症例検討会	院内
2 月 28 日	川崎市病院栄養管理部会	津村由紀	川崎市病院栄養管理部会研修会 「食物アレルギーの最前線」	川崎市総合自治会館
3 月 23 日	幸区医師会/ 川崎市立川崎病院/ アステラス製薬株式会社◆第 5 回 幸・川崎病診 Net	荒木耕生	「小児循環器科以外の先生にも 知っておいてほしい先天性心疾患のこと -増加する成人先天性心疾患を中心に-」	院内

(4) 新生児内科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 7 月	第 50 回日本周産期・新生児医学会	梶原久美子/古川律子 /福家智子/森和広	発熱に伴う皮膚乾燥と乏毛を契機に診断された外胚葉形成不全症の 1 例	シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル (浦安市)
11 月	第 59 回日本未熟児新生児学会・学術集会	白井千代/梶原久美子 /森和広	重症仮死で生まれ、応答の乏しい児と母との関係性の推移-臨床心理士が受けとめた母の語りを中心に考察する-	ひめぎんホール(松山市)

(5) 整形外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 7 月 24 日	川崎病院・大 田総合病院整 形外科	小柳貴裕	kawasaki orthopaedic conference	ミューザ川 崎
8 月 19 日	健康づくり三 地区合同講演 会	堀内行雄	「健康寿命 100 歳に向 けての取り組み」-ロコ モティブシンドローム 対策-	サンピアン かわさき (川崎市立 労働会館)
11 月 10 日	整形外科	小宮浩一郎	神奈川東部症例検討会	横浜

(6) 泌尿器科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 5 月 31 日	川崎市外科医 会	原智	前立腺癌の診断と治療	川崎日航ホ テル
12 月 24 日	泌尿器科、地 域医療部	原智	第 3 回泌尿器科病診連 携の会	院内

(7) 麻酔科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 4 月 18 日	オムロンコーリンビシ ネスパートナーズミー ティング	増田純一	手術室における情報共 有の有用性	
11 月 14 日	第 68 回国立病 院総合医学会	増田純一	手術室運営を変える情 報共有化-自治体病院の 現場改善事例-	横浜市

(8) 救急科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 6 月	第 40 回日本熱 傷学会・学術 総会	田熊清継	ABLS インストラクター	ラフレさい たま
7 月	済生会横浜市 東部病院	大城健一	災害医療講演会	
7 月	川崎警察署	大城健一	災害医療講演会	

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 7 月	神奈川県災害 時医療救護研 修会	大城健一	神奈川県災害時医療救 護研修会	
8, 10, 11 月	東京医科歯科 大学 他	大城健一	MIS-CRNE コース 講 師	
9 月	宮川病院	大城健一	災害医療講演会	
9 月	神奈川県警交 通捜査課	大城健一	災害医療講演会	
10 月	川崎市病院協 会	大城健一	災害医療講演会	
平成 27 年 2 月	警察大学校	大城健一	災害医療講演会	

(9) 歯科口腔外科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 4 月 17 日	川崎市歯科医 師会	鬼澤勝弘	知らないと怖い per (根 尖性歯周炎) の続発症	川崎市歯科 医師会館
6 月 26 日	川崎市歯科医 師会	鬼澤勝弘	こんなときどうする歯 科外科編	川崎市歯科 医師会館
7 月 2 日	NST 部会	安居孝純	口腔ケア	院内
7 月 3 日	12 階北病棟	佐藤仁	舌癌と術後のケア	院内
11 月 26 日	川崎 Dry Syndrome Meeting	安居孝純	口腔乾燥症の治療と口 腔ケアの重要性	川崎日航ホ テル
11 月 27 日	川崎市歯科医 師会	鬼澤勝弘	かかりつけ歯科医のた めの口腔癌検診のポイ ント	中原区歯科 医師会館
12 月 7 日	川崎市歯科医 師会	鬼澤勝弘	口腔癌検診	百合丘歯科 保健センター

(10) 検査科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 5 月 20 日	糖尿病診療連 携委員会	守屋久子	糖尿病教室	院内
6 月 17 日	糖尿病診療連 携委員会	安部さやか	糖尿病教室	院内

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 7 月 15 日	糖尿病診療連 携委員会	守屋久子	糖尿病教室	院内
8 月 12 日	糖尿病診療連 携委員会	安部さやか	糖尿病教室	院内
9 月 9 日	糖尿病診療連 携委員会	守屋久子	糖尿病教室	院内
10 月 15 日	糖尿病診療連 携委員会	安部さやか	糖尿病教室	院内
10 月 18 日	糖尿病診療連 携委員会	安部さやか	糖尿病市民公開講座	院内
10 月 28 日	放射線科, 検 査科, 薬剤部, 医用工学技士	安部さやか	交流勉強会: 業務紹介	院内
11 月 11 日	糖尿病診療連 携委員会	守屋久子	糖尿病教室	院内
12 月 3 日	糖尿病診療連 携委員会	安部さやか	糖尿病教室	院内
平成 27 年 1 月 27 日	糖尿病診療連 携委員会	守屋久子	糖尿病教室	院内
2 月 19 日	放射線科, 検 査科, 薬剤部, 医用工学技士	山崎麻未	交流勉強会: 脳梗塞につ いて	院内
2 月 22 日	神奈川県臨床 検査技師会病 理研究班	横屋瀬里香	薄切実習 (実技指導)	横浜市立大 学医学部
2 月 24 日	糖尿病診療連 携委員会	守屋久子	糖尿病教室	院内
3 月 5 日	教育指導部研 究部会	杉山早絵	新たなセルブロック作 成法の導入と今後の活 用方法について	院内

(11) 薬剤部

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 6 月	第 4 回神奈川 病院薬剤師感 染症フォーラ ム	小林岳	ファシリテーター: 院内 感染症における抗菌薬 のマネジメント(ワーク ショップ)	

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 11 月	第 5 回神奈川 病院薬剤師感 染症フォーラ ム	小林岳	ファシリテーター:重症 軟部組織感染症におけ る抗菌化学療法(ワーク ショップ)	
11 月	日本経済大学 大学院 医療 評価学研究 (第 10 回)	小林岳	医療機関での経営的視 点 (DPCを含む) で捉え た医薬品の評価方法「医 療経営と DPC制度」	
12 月	神奈川県病院 薬剤師会 バ ランスト・ス コアカードセ ミナー第 1 部	小林岳	ファシリテーター:SWOT 分析、クロス分析 (ワー クショップ)	
平成 27 年 1 月	神奈川県病院 薬剤師会 バ ランスト・ス コアカードセ ミナー第 2 部	小林岳	ファシリテーター:戦略 マップ、スコアカードの 作成 (ワークショップ)	
1 月	東京都病院薬 剤師会 薬務 薬制部ファーマ シーマネジ メント小委員 会ワークショ ップ 第 1 回	小林岳	ファシリテーター:SWOT 分析、クロス分析 (ワー クショップ)	
2 月	東京都病院薬 剤師会 薬務 薬制部ファーマ シーマネジ メント小委員 会ワークショ ップ 第 2 回	小林岳	ファシリテーター:戦略 マップ、スコアカードの 作成 (ワークショップ)	
2 月	第 30 回日本静 脈経腸栄養学 会学術集会	井上彰大/中野泰子/ 酒井絵梨可 /坪田結香/内海俊一/ 飯島尚志	脂肪乳剤の投与速度適 正化と合併症の発生率	神戸市

(12) 医療安全管理室

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成 26 年 4 月 1 日	教育指導部	医療安全担当課長	「医療安全・接遇」	院内
4 月 3 日	病院局	医療安全担当課長	「安全管理について」	フロンティア新川崎
5 月 17 日	川崎市立看護短期大学	医療安全担当課長	「看護短大 医療・看護の安全」	川崎市立看護短期大学
5 月 16 日	看護部	医療安全担当係長	「安全な看護を提供するという事」	院内
5 月 22 日 6 月 25 日 7 月 23 日 10 月 24 日 平成 27 年 1 月 27 日	医療安全管理室/ 院内救急対策部会	伊藤壮一	「チームステップ ス初級編」① 「チームステップ ス初級編」② 「チームステップ ス初級編」③ 「チームステップ ス初級編」④ 「チームステップ ス初級編」⑤	院内
平成 26 年 6 月 10 日	医療安全管理室	JMS テルモ 各担当	「輸液ポンプ・シリンジポンプ勉強会」	院内
6 月 21 日	川崎市立看護短期大学	医療安全担当課長	日々の看護に活かす KYT	川崎市立看護短期大学
7 月 3 日	教育指導部/ 医療安全管理室	救急科：指導医師	「CVC講習会」	院内
7 月 15 日 7 月 22 日 10 月 21 日	医療安全管理室	臨床工学技師	「人工呼吸器勉強会」初級編① 「人工呼吸器勉強会」初級編② 「人工呼吸器勉強会」中級編②	院内
11 月 11 日	医療安全管理室/ 医療安全管理委員会/ 医療安全管理部会	前田正一(慶應義塾大学大学院教授)	「臨床倫理の基礎知識」	院内

(13) 地域医療部

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成26年 4月1日	外科	(カンファレンス形式)	第6回川崎外科病診連 携会	院内
6月6日	整形外科・リ ウマチ膠原病 痛風センター	(カンファレンス形式)	第18回川崎リウマチ膠 原病懇話会	院内
6月24日	小児科	(カンファレンス形式)	小児病診連携の会	院内
6月27日	地域医療部	(カンファレンス形式)	地域包括ケアシステム を考える勉強会	院内
7月18日	感染対策室/ 安全管理室	市川高夫(新潟県立六 日町病院)	患者安全における手術 安全	院内
11月17日	外科	(カンファレンス形式)	第7回川崎外科病診連 携会	院内
11月18日	外科・看護部	井上聡(練馬総合病院 副院長・外科部長)	創傷センターでの慢性 創傷の治療	院内
11月21日	整形外科・リ ウマチ膠原病 痛風センター	(カンファレンス形式)	第19回川崎リウマチ膠 原病懇話会	院内
平成27年 2月23日	小児科	(カンファレンス形式)	小児病診連携の会	院内
2月24日	泌尿器科	(カンファレンス形式)	第3回泌尿器科病診連 携の会	院内
2月27日	整形外科	歯科口腔外科	第20回川崎病院歯科症 例検討会	院内

(14) 食養科

実施日	主催者 講演会名	講師	演題	開催場所
平成26年 7月1日	褥瘡対策委員 会	長澤恵梨子	褥瘡における栄養管理	院内
9月20日	糖尿病診療連 携委員会	清水谷弘美	糖尿病市民公開講座	院内
11月17日	9S勉強会	亀山亜希夫	経腸栄養について	院内
12月4日	NST部会	金澤美穂	嚥下調整食について	院内
12月18日	14S勉強会	金澤美穂	経腸栄養のポイント	院内

9 その他

(1) 内科・総合診療科

(講師) 岡野 裕. ランニング中の熱中症を予防しよう. 第3回 ONE TOKYOランニングクリニック. 2014年7月.

(講師) 岡野 裕. 体調や健康管理と内科的トラブルの対処法. 日本陸上競技連盟主催ランニングクリニック「市民ランナーのための長野マラソンレース直前対策講座とランニング相談会」. 2014年4月

(2) 精神科

(講師) 内田貴仁. Relapse after Successful ECT for Depression: What are the Predictors?. 慶應義塾大学. 2014年10月.

(3) 脳神経外科

(雑誌) 竹中信夫. 勤務医であり続けたわけ. 神奈川県医師会勤務医部会報. 2014年3月.

(4) 整形外科

(マスコミ) 小柳貴裕, 船尾陽生, 大門憲史. 腰椎手術 新器具で負担軽減. 読売新聞社(関西版). 2014年12月.

(マスコミ) 小柳貴裕, 船尾陽生, 大門憲史. 最小侵襲脊椎安定術. 読売新聞社(全国版). 2015年2月.

(マスコミ) 堀内行雄. ばね指. 健康(苫小牧民報). 2014年4月.

(特許) Aizawa M, Hoshikawa T, Ishii K, Funao H. Antibacterial medical equipment and method for producing the same. 米国 Patent number: 8877222. 2014年11月.

(特許) 相澤 守, 干川智之, 石井 賢, 船尾陽生. 抗菌性医療機器とその製造方法. 日本 第5590596号. 2014年8月.

(5) 救急科

(プログラムディレクター) 大城健一. 川崎 DMT 隊員養成研修 2015年1月.

(マスコミ) 田熊清継. 感染症 TODAY 救急・集中治療と耐性菌. 日経ラジオ. 2014年7月.

(講師) 大城健一. 消防局指令センター 2015年2月.

(講師) 大城健一. 神奈川 DMT-L 2014年9月.

(講師) 大城健一. 都道府県災害医療コーディネーター研修. 2015年3月.

(講師) 大城健一. 日本 DMT 統括 DMT 技能維持研修. 2014年7月.

(講師) 大城健一. 日本 DMT 隊員養成研修. 2015年1月.

(講師) 大城健一. 日本災害医療薬剤師学会研修. 2014年7月.

(6) 歯科口腔外科

(マスコミ) 鬼澤勝弘. お口の怖い病気. FMかわさき. 2015年2月.

(マスコミ) 鬼澤勝弘. 親知らずについて. FMかわさき. 2015年3月.

(講師) 鬼澤勝弘. お口の中の怖い病気. 川崎協同病院. 2014年12月.

(7) 検査科

(講師) 杉山早絵, 横屋瀬里香. 臨床検査体験(ヘルスチェック). 日本臨床衛生検査技師会 マタニティ&ベビーフェスタ 2014. 2014年4月.

(8) 薬剤部

(ファシリテーター) 小林 岳. :SWOT分析、クロス分析(ワークショップ). 神奈川県病院薬剤

師会 バランスト・スコアカードセミナー第1部. 2014年12月.

(ファシリテーター) 小林 岳. **SWOT**分析、クロス分析(ワークショップ). 東京都病院薬剤師会 薬務薬制部ファーマシーマネジメント小委員会ワークショップ 第1回. 2015年1月.

(ファシリテーター) 小林 岳. 院内感染症における抗菌薬のマネジメント(ワークショップ). 第4回神奈川病院薬剤師感染症フォーラム. 2014年6月.

(ファシリテーター) 小林 岳. 重症軟部組織感染症における抗菌化学療法(ワークショップ). 第5回神奈川病院薬剤師感染症フォーラム. 2014年11月.

(ファシリテーター) 小林 岳. 戦略マップ、スコアカードの作成(ワークショップ). 神奈川県病院薬剤師会 バランスト・スコアカードセミナー第2部. 2015年1月.

(ファシリテーター) 小林 岳. 戦略マップ、スコアカードの作成(ワークショップ). 東京都病院薬剤師会 薬務薬制部ファーマシーマネジメント小委員会ワークショップ 第2回. 2015年2月.

(講師) 小林 岳. 医療機関での経営的視点(**IPC**を含む)で捉えた医薬品の評価方法「医療経営と**IPC**制度」. 日本経済大学大学院 医療評価学研究(第10回). 2014年11月.

(9) 看護部

(雑誌) 伊東かつえ. ナースの確信. アストラゼネカが発行する看護師のための情報誌. 2014年5月.

(10) 感染対策室

(雑誌) 駒場瑠美子. 感染対策の地域連携 ～川崎市における活動について～. 丸石感染対策NEWS 2014年8月.

年報編集委員会

委員長	事務局長	柄崎 智	委員	薬剤部	坂井 義則
副委員長	看護部	千島 美奈子	〃	教育指導部	津村 和夫
委員	〃	岩崎 明美	〃	食養科	樋口 直美
〃	リウマチ膠原病・痛風センター	田口 博章	〃	庶務課	長谷川 幸雄
〃	産科・婦人科	金 善恵	〃	〃	鈴木 和文
〃	放射線診断科	狩野 真之介	〃	医事課	奥 知子
〃	検査科	坂井 瞳	書記	庶務課	矢口 昌枝

編集後記

この年報は、病院運営と活動の記録を取りまとめたものであります。当院の評価の指標となれば幸いです。また、今後の業務改善、改革のための参考資料となりますことを期待しております。

編集にあたり、忙しい日常の診療の合間を縫って原稿作成をお引き受けいただきました各診療科及び各部門の責任者と執筆者の皆様に深く感謝申し上げます。

年報編集委員長 柄崎 智

川崎市立川崎病院年報
第50号（平成26年度版）
平成27年8月31日発行
編集・発行 川崎市立川崎病院
〒210-0013 川崎市川崎区新川通12番1号
電話 044（233）5521代
FAX 044（245）9600
川崎病院ホームページ
(<http://www.city.kawasaki.jp/83byoin/kawasaki/index.html>)
印刷所 株式会社 共栄堂